

総合計画策定のための

南国市まちづくりアンケート調査

結果報告書

平成17年8月

南国市

目次

調査の概要及び回答者の属性

1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法	1
	(3) 配布数及び回収結果	1
	(4) 本調査結果報告書の留意点	2
2	回答者の属性	3
	(1) 性別	3
	(2) 年齢	3
	(3) 業種	3
	(4) 就学先・勤務先	4
	(5) 居住歴	4
	(6) 居住地	4

調査結果

1	まちの現状について	6
	(1) まちへの愛着度	6
	(2) 今後の定住意向	8
	(3) まちの各環境に対する満足度	11
	(4) まちの各環境に対する重要度	18
	(5) 優先度	25
	(5) 総合的にみたまちの暮らしやすさ	28
2	これからのまちづくりについて	30
	(1) 今後のまちづくり	30
	(2) 今後の重点施策の要望	33
3	生活環境について	36
	(1) 以前の生活環境との比較	36
	(2) 必要な施設整備	37
4	消防・防災対策について	38
	(1) 消防・防災対策	38
5	土地利用について	39
	(1) 土地利用	39
	(2) 優先的に整備していくべき用地	40
	(3) 農地の土地利用	41
6	保健・医療・福祉について	42

(1) 保健・医療対策について.....	42
(2) 社会福祉について.....	43
(3) 高齢社会への対応について.....	44
(4) 障害者福祉について.....	45
(5) 子育て環境の充実について.....	46
7 産業振興について.....	49
(1) 農業振興について.....	49
(2) 林業振興について.....	51
(3) 水産業振興について.....	52
(4) 商業振興について.....	53
(5) 工業振興について.....	54
(6) 観光・レクリエーション開発・振興について.....	55
8 教育・文化・スポーツについて.....	56
(1) 子供の健全育成について.....	56
(2) 学習・文化、スポーツ活動振興について.....	57
(3) 生涯学習について.....	58
(4) 学びたい・参加してみたいことについて.....	60
9 情報化、国際化、地域間交流について.....	61
(1) 高度情報化社会への対応.....	61
(2) 国際化に向け必要な取り組み.....	62
(3) 地域間交流について必要な取り組み.....	63
10 コミュニティ活動について.....	64
(1) コミュニティ活動.....	64
(2) 参加したい活動.....	66
11 ボランティア活動について.....	67
(1) ボランティア活動について.....	67
(2) 参加したいボランティア活動.....	69
12 行財政について.....	71
(1) 行財政で重点をおくべき項目.....	71
13 広域行政について.....	73
(1) 広域行政で必要な取り組み.....	73
14 市のキャッチフレーズ及び自由意見について.....	75
(1) 市のキャッチフレーズ.....	75
(2) 自由意見.....	84

調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、南国市総合計画（平成 18 年度～27 年度）の策定に当たって、まちの現状評価や定住意向をはじめ、今後期待するまちづくりの方向や各分野における重点施策要望など、市民の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものである。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	南国市に居住する 16 歳以上の男女
配布数	2,000
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	平成 17 年 6 月
調査地域	南国市全域。ただし分析上は地域的傾向を把握するため、以下の地区区分した 北部 中部 南部

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,000
有効回収数	772
有効回収率	38.6%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。

基数となるべき実数は、“n = ”として掲載し、各比率はnを100%として算出した。

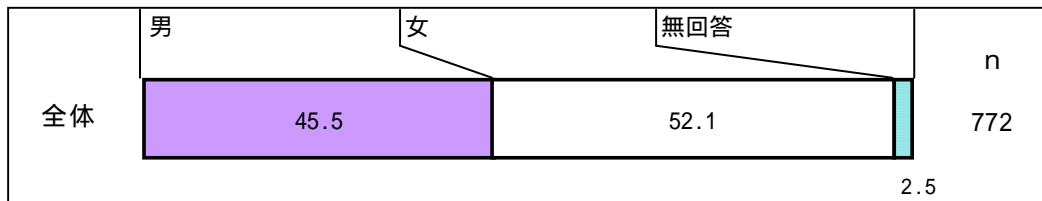
質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

問の中には「～に をつけた方にうかがいます。」などいろいろな制限があり、回答者の数が少ない問が含まれる。またクロス分析においても項目によっては回答者数が少なく、有意性が低いものもある。

2 回答者の属性

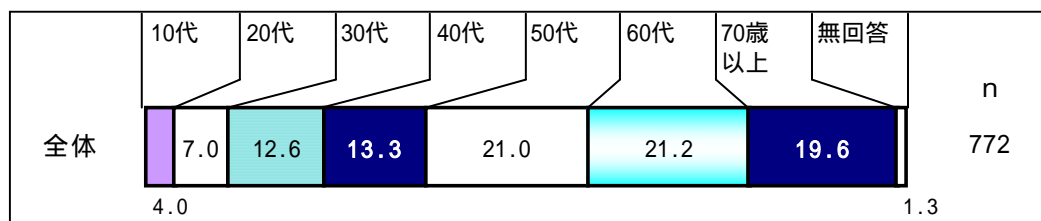
(1) 性別

回答者の性別構成は、「男」が45.5%、「女」が52.1%となっている。



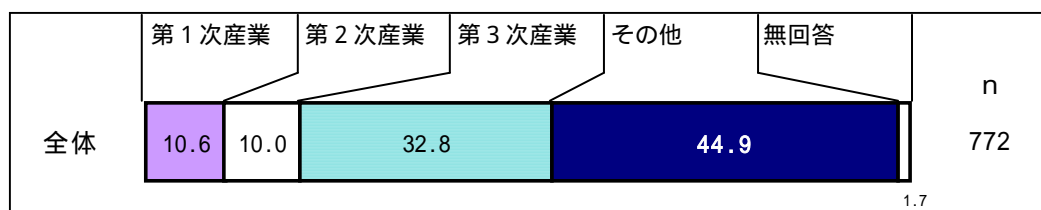
(2) 年齢

年齢構成は「60代」が21.2%で最も多く、続いて「50代」(21.0%)、「70歳以上」(19.6%)、「40代」(13.3%)、「30代」(12.6%)、「20代」(7.0%)、「10代」(4.0%)の順となっている。



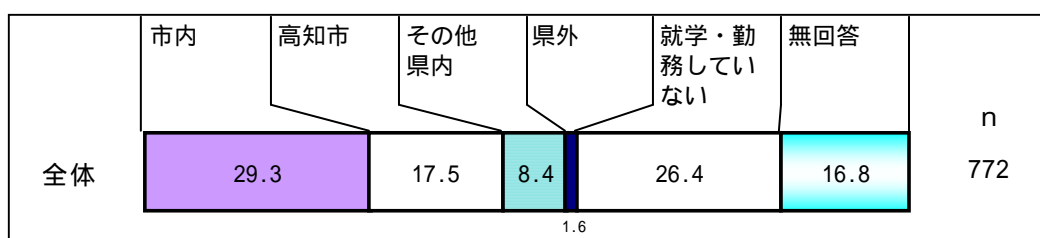
(3) 業種

業種は「その他(主婦・無職・学生・その他)」が44.9%で最も多く、次いで「第3次産業」(32.8%)、「第1次産業」(10.6%)、「第2次産業」(10.0%)の順となっている。



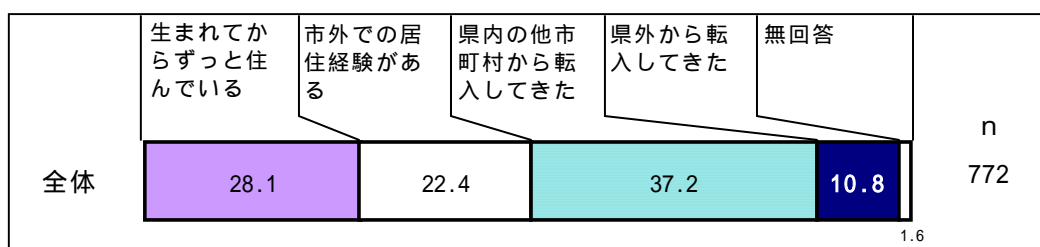
(4) 就学先・勤務先

就学先・勤務先は「就学・勤務していない」を除くと、「市内」が29.3%で最も多く、次いで「高知市」(17.5%)、「その他県内」(8.4%)、「県外」(1.6%)の順となっている。なお、「就学・勤務していない」は26.4%であった。



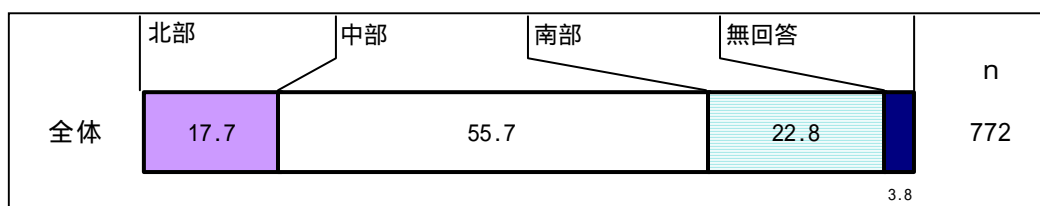
(5) 居住歴

居住歴は「県内の他の市町村から転入してきた」が37.2%で最も多く、次いで「南国市に生まれてからずっと住んでいる」(28.1%)、「南国市出身だが、市外での居住経験がある」(22.4%)、「県外から転入してきた」(10.8%)の順となっている。



(6) 居住地

居住地は「中部」が55.7%で最も多く、次いで「南部」(22.8%)、「北部」(17.7%)の順となっている。



調查結果

1 まちの現状について

(1) まちへの愛着度

問2 あなたは、南国市に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

“愛着を感じている”が75.2%。一方、“愛着を感じていない”は23.3%。

市民の市に対する愛着度を把握するため、「愛着を感じている」、「愛着をやや感じている」、「愛着をあまり感じていない」、「愛着を感じていない」の中から1つを選んでもらった。

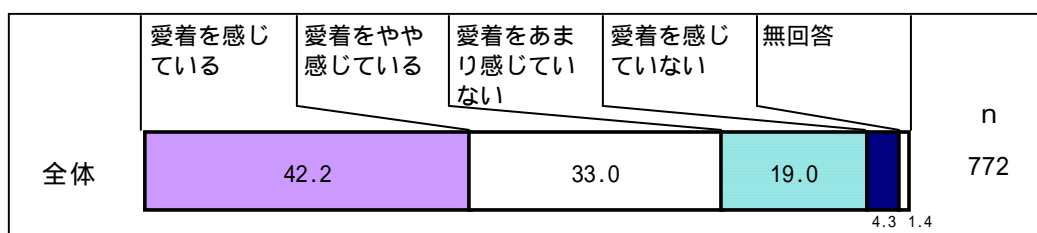
その結果、「愛着を感じている」と回答した人が42.2%で最も多く、次いで「愛着をやや感じている」という人が33.0%で続き、これらをあわせた“愛着を感じている”という人が75.2%にのぼる。これに対して、“愛着を感じていない”(「愛着をあまり感じていない」19.0%及び「愛着を感じていない」4.3%の合計)は23.3%にとどまり、市への愛着度は高いといえる。[図表1参照]

これを属性別でみていくと、性別では、“愛着を感じている”率は男性(76.1%)、女性(75.1%)ともに7割を超え、男女ともに愛着度の高いことがうかがえる。

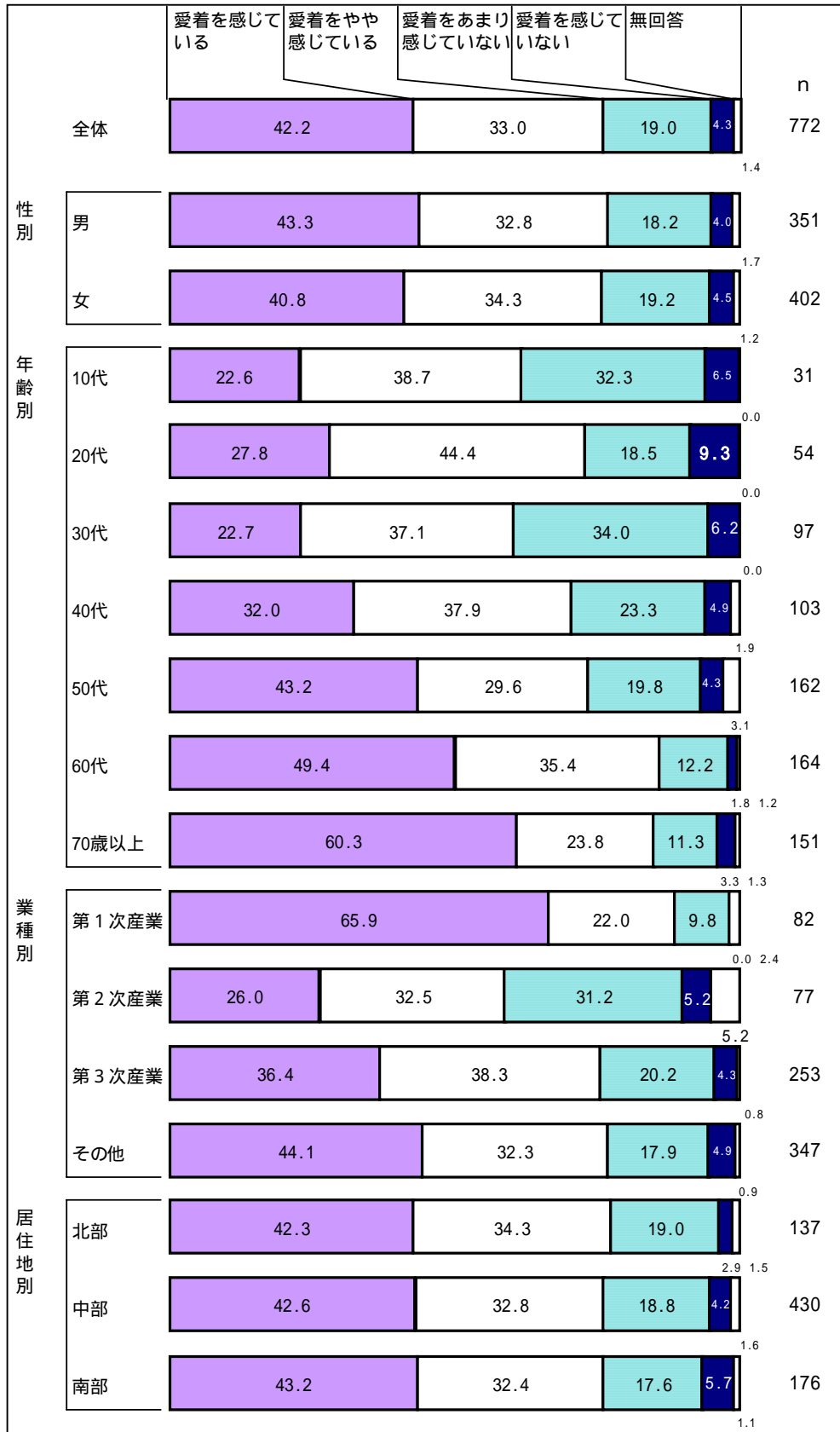
年齢別でみると、「愛着を感じている」率に顕著な違いがみられ、70歳以上で60.3%と6割強にのぼる一方で、10代では22.6%にとどまる。しかし、「愛着をやや感じている」率を加えた“愛着を感じている”率は、30代で59.8%と6割弱であるものの、そのほかの層では6割を超えており、総体的に愛着度は高い結果となっている。

業種別では、第1次産業従事者の“愛着を感じている”率が87.9%と高い傾向がみられる。なお、居住地別で“愛着を感じている”率の大きな違いは見られなかった。[図表2参照]

図表1 まちへの愛着度(全体)



図表2 まちへの愛着度（全体、性別、年齢別、業種別、居住地別）



(2) 今後の定住意向

問3 あなたは、これからも南国市に住み続けたいと思いますか。
 問3付問 その主な理由はなんですか。【“住みたくない”と回答した人のみ/複数回答】

“住み続けたい”が81.1%。一方、“住みたくない”は17.0%。
 “住みたくない”理由は「道路事情や交通の便が悪いから」が第1位。

市民の定住意向を探るため、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらったところ、「住み続けたい」と答えた人が最も多く47.7%と5割弱にのぼり、これに「どちらかといえば住み続けたい」(33.4%)をあわせた8割強(81.1%)の人が“住み続けたい”という意向を示している。一方、「どちらかといえば住みたくない」(15.3%)及び「住みたくない」(1.7%)と答えた“住みたくない”という人の合計は17.0%にとどまり、愛着度と同様に定住意向も強いといえる。[図表3参照]

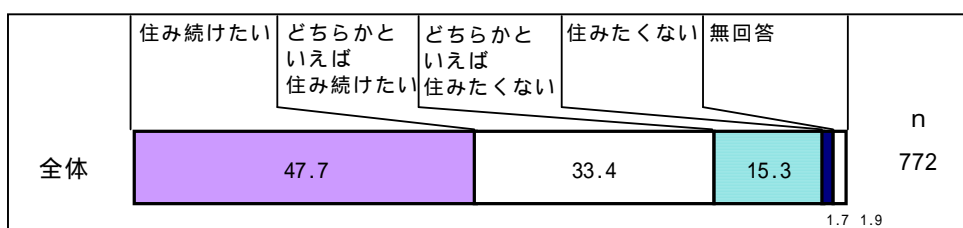
性別で“住み続けたい”率をみると、男性(84.3%)、女性(78.4%)ともに7割を超え、男女とも定住意向は強い結果となっている。

年齢別でみると、明確に「住み続けたい」と回答した率に顕著な違いがみられ、70歳以上で70.2%と7割を超える一方で、10代では25.8%、20代では24.1%、30代では27.8%にとどまる。しかし、「どちらかといえば住み続けたい」率を加えた“住み続けたい”率は、すべての年代で6割を超えており、総合的な定住意向は強いといえる。

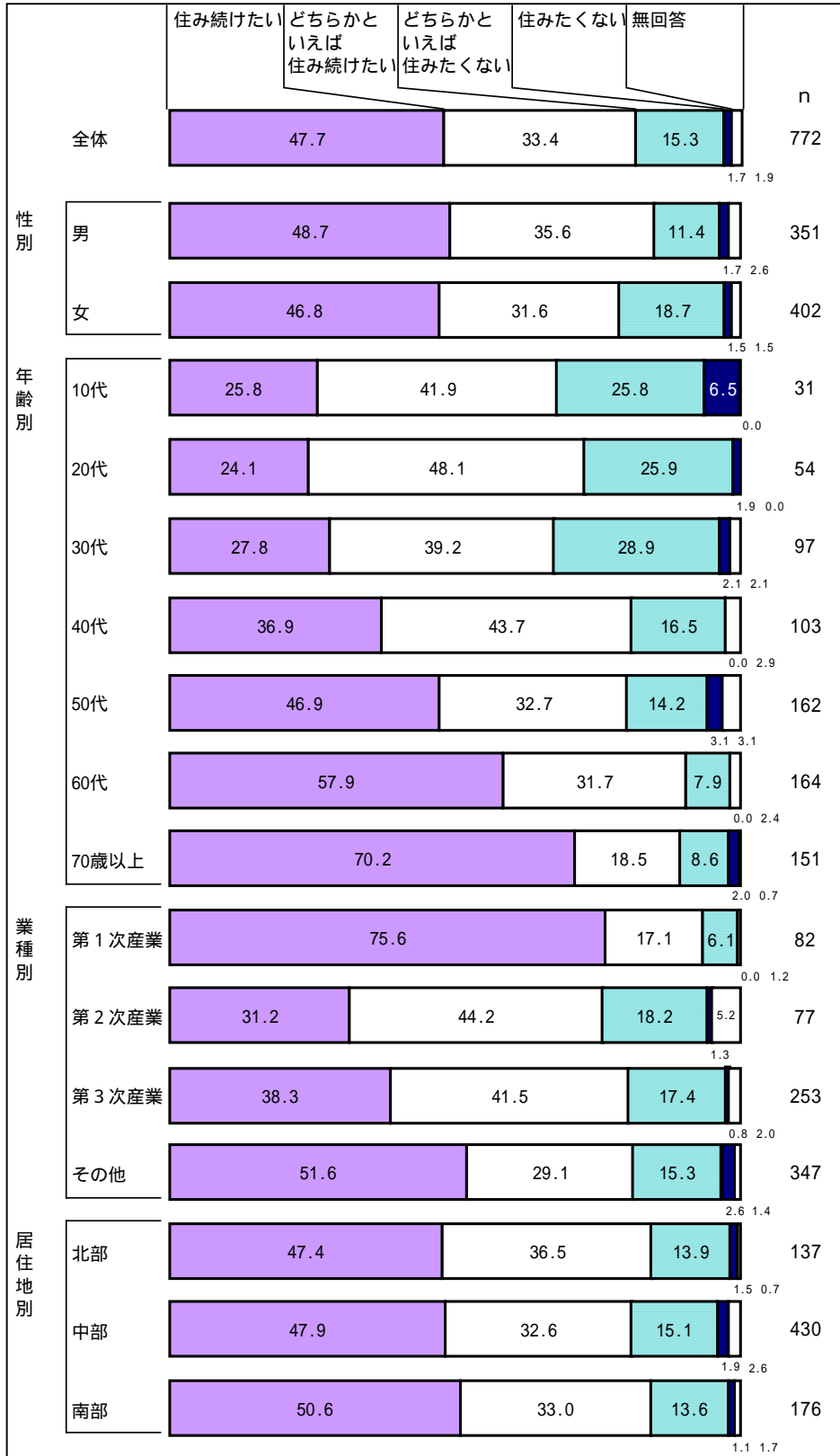
業種別では、第1次産業従事者の定住意向、特に「住み続けたい」率が75.6%と非常に高い傾向がみられる。さらに居住地別では、“住み続けたい”率がすべての地区で8割を超えている。[図表4参照]

また、“住みたくない”と回答した人(全体の17.0%・131人)に、その理由をたずねたところ、「道路事情や交通の便が悪いから」(30.5%)が第1位に挙げられ、次いで「スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分だから」(22.1%)、「上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから」(18.3%)などの順となっている。なお、年齢別の70歳以上では、「日常の買物が不便だから」との回答は37.5%となっており、他の年齢層より多い傾向がみられる。[図表5参照]

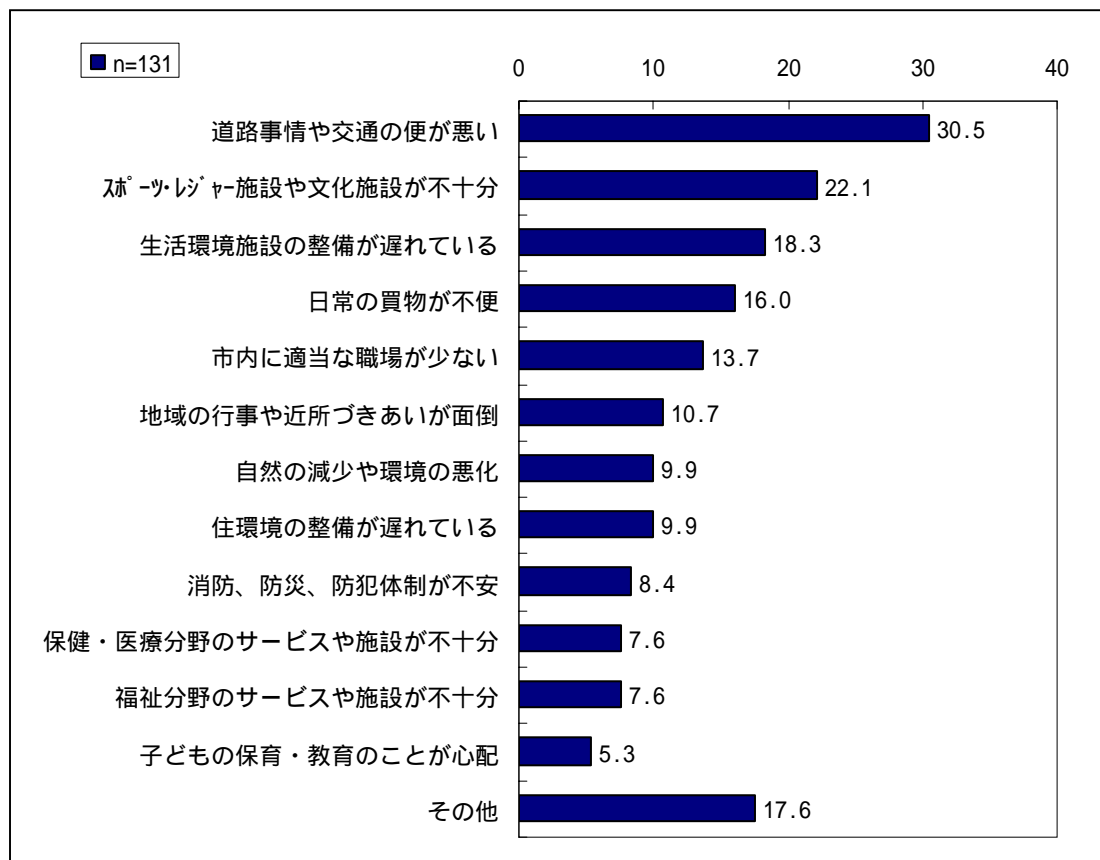
図表3 今後の定住意向(全体)



図表4 今後の定住意向（全体、性別、年齢別、業種別、居住地別）



図表5 住みたくない主な理由(“住みたくない”と回答した人のみ・全体/複数回答)



(3) まちの各環境に対する満足度

問4 あなたは南国市の各環境について、どの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに 印をつけてください。

満足度の最も高い項目は「自然環境の豊かさ」。次いで「水道の整備状況」、「ごみの収集・処理の状況」の順。

満足度の最も低い項目は「道路の整備状況」。次いで「働きがいのある職場」、「生涯学習活動、芸術・文化活動や施設整備の状況」の順。

南国市の各環境について、どの程度満足しているかを把握するため、自然環境や生活基盤、福祉・教育・文化環境、施設など各分野にわたる22項目を設定し、項目ごとに「満足している」、「やや満足している」、「どちらともいえない」、「やや不満である」、「不満である」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点(満足度：最高点10点、最低点-10点)を算出した。

これによる全体での満足度評価は、「自然環境の豊かさ」(4.15点)が最も高く、次いで第2位が「水道の整備状況」(2.92点)、第3位が「ごみの収集・処理の状況」(2.60点)と続き、以下、「日常の買物の便利さ」(2.27点)、「人情味や地域の連帯感」(1.91点)などの順となっている。また、満足度評価の低い方からみると、「道路の整備状況」(-2.30点)が最も低く、次いで「働きがいのある職場」(-2.08点)、「生涯学習活動、芸術・文化活動や施設整備の状況」(-1.66点)と続いている。総合すると、満足度がプラス評価の項目が9項目、マイナス評価の項目が13項目となっている。〔図表6～7参照〕

また、居住地別に満足度の上位項目と下位項目をみていくと、以下のとおりにとめられる。その特徴をみると、すべての地区で「自然環境の豊かさ」が満足度評価の上位に挙げられている。〔図表8～10参照〕

北部

満足度の上位3項目は第1位が「自然環境の豊かさ」(4.58点)、第2位が「ごみの収集・処理の状況」(3.52点)、第3位が「水道の整備状況」(2.18点)の順。一方、下位3項目は第1位が「交通機関の便利さ」(-2.72点)、第2位が「道路の整備状況」(-2.66点)、第3位が「働きがいのある職場」(-2.50点)の順。

設定した22項目のうちプラス評価の項目は7項目、マイナス評価の項目は14項目であった。

中部

満足度の上位3項目は第1位が「日常の買い物の便利さ」(4.13点)、第2位が「自然環境の豊かさ」(3.76点)、第3位が「水道の整備状況」(3.09点)の順。一

方、下位3項目は第1位が「道路の整備状況」(-2.46点)、第2位が「公園・緑地・広場の整備状況」(-2.08点)、第3位が「生涯学習活動、芸術・文化活動や施設整備の状況」(-1.94点)の順。

設定した22項目のうちプラス評価の項目は11項目、マイナス評価の項目は11項目であった。

南部

満足度の上位3項目は第1位が「自然環境の豊かさ」(4.70点)、第2位が「水道の整備状況」(3.35点)、第3位が「ごみの収集・処理の状況」(2.23点)の順。一方、下位3項目は第1位が「交通機関の便利さ」(-2.96点)、第2位が「働きがいのある職場」(-2.43点)、第3位が「道路の整備状況」(-1.81点)の順。

設定した22項目のうちプラス評価の項目は9項目、マイナス評価の項目は13項目であった。

加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」} \\ \text{「やや満足している」} \\ \text{「どちらともいえない」} \\ \text{「やや不満である」} \\ \text{「不満である」の回答} \\ \text{者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-10点に近くなるほど評価が低くなる。

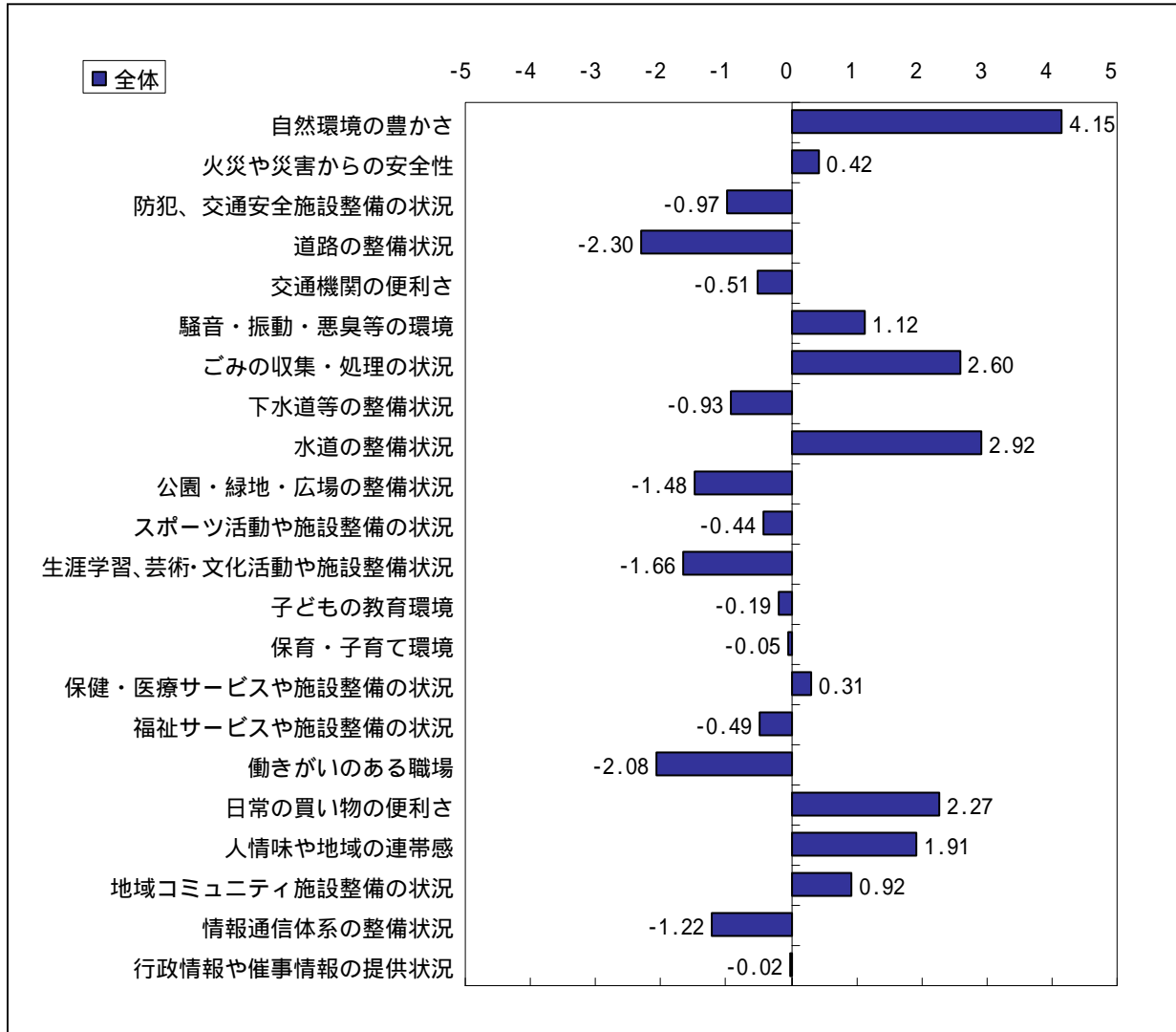
図表6 市の現状評価について(全体、居住地別 / 満足度)

(単位：評価点)

	全体	居住地別		
		北部	中部	南部
自然環境の豊かさ	4.15	4.58	3.76	4.70
火災や災害からの安全性	0.42	-0.40	0.96	-0.21
防犯、交通安全施設整備の状況	-0.97	-1.55	-0.81	-0.94
道路の整備状況	-2.30	-2.66	-2.46	-1.81
交通機関の利便さ	-0.51	-2.72	1.13	-2.96
騒音・振動・悪臭等の環境	1.12	1.97	0.76	1.68
ごみの収集・処理の状況	2.60	3.52	2.49	2.23
下水道等の整備状況	-0.93	-1.28	-1.09	-0.46
水道の整備状況	2.92	2.18	3.09	3.35
公園・緑地・広場の整備状況	-1.48	-1.27	-2.08	-0.55
スポーツ活動や施設整備の状況	-0.44	-0.73	-0.93	0.70
生涯学習、芸術・文化活動や施設整備の状況	-1.66	-1.84	-1.94	-1.22
子どもの教育環境	-0.19	0.00	-0.39	0.09
保育・子育て環境	-0.05	-0.12	-0.05	-0.06
保健・医療サービスや施設整備の状況	0.31	0.24	0.62	-0.41
福祉サービスや施設整備の状況	-0.49	-0.49	-0.37	-0.84
働きがいのある職場	-2.08	-2.50	-1.83	-2.43
日常の買物の利便さ	2.27	-1.38	4.13	0.46
人情味や地域の連帯感	1.91	1.55	1.97	2.15
集会所など地域コミュニティ施設整備の状況	0.92	0.68	1.06	0.84
インターネット環境など情報通信体系の整備状況	-1.22	-1.83	-0.99	-1.34
行政情報や催事情報の提供状況	-0.02	-0.44	0.18	-0.16

図表7 市の現状評価について(全体/満足度)

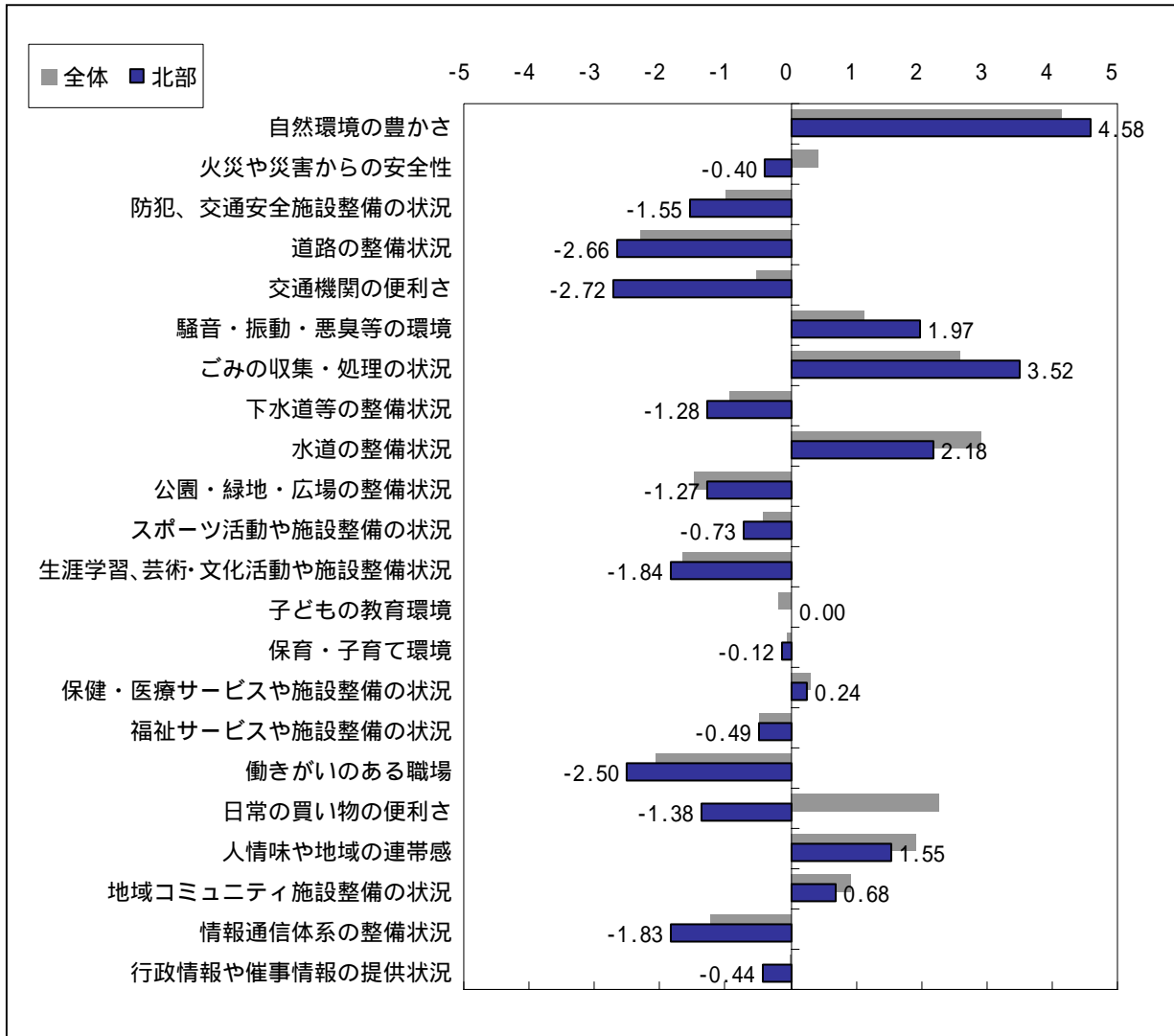
(単位：評価点)



図表 8 市の現状評価について(居住地別 / 満足度)

北部

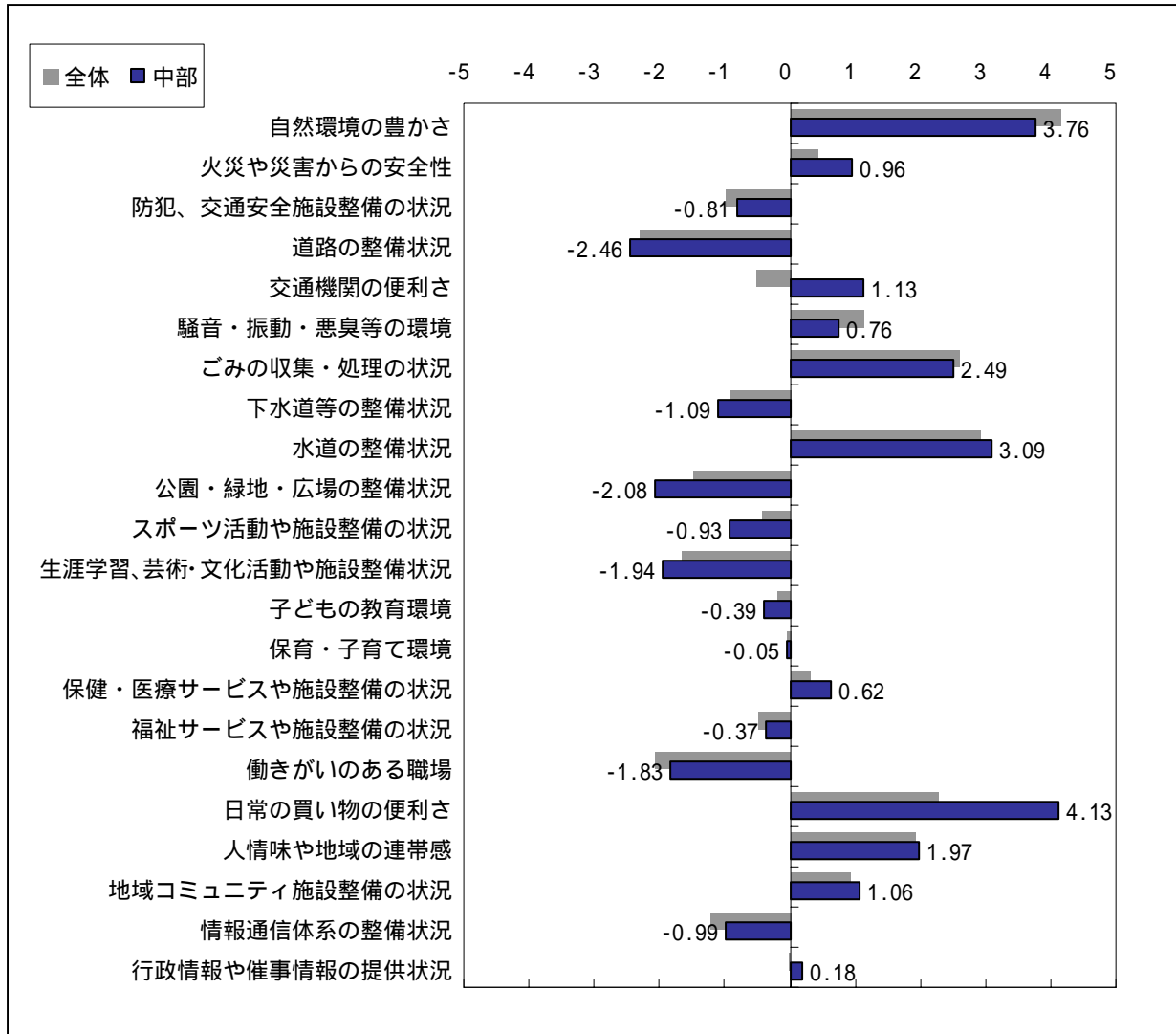
(単位：評価点)



図表9 市の現状評価について(居住地別/満足度)

中部

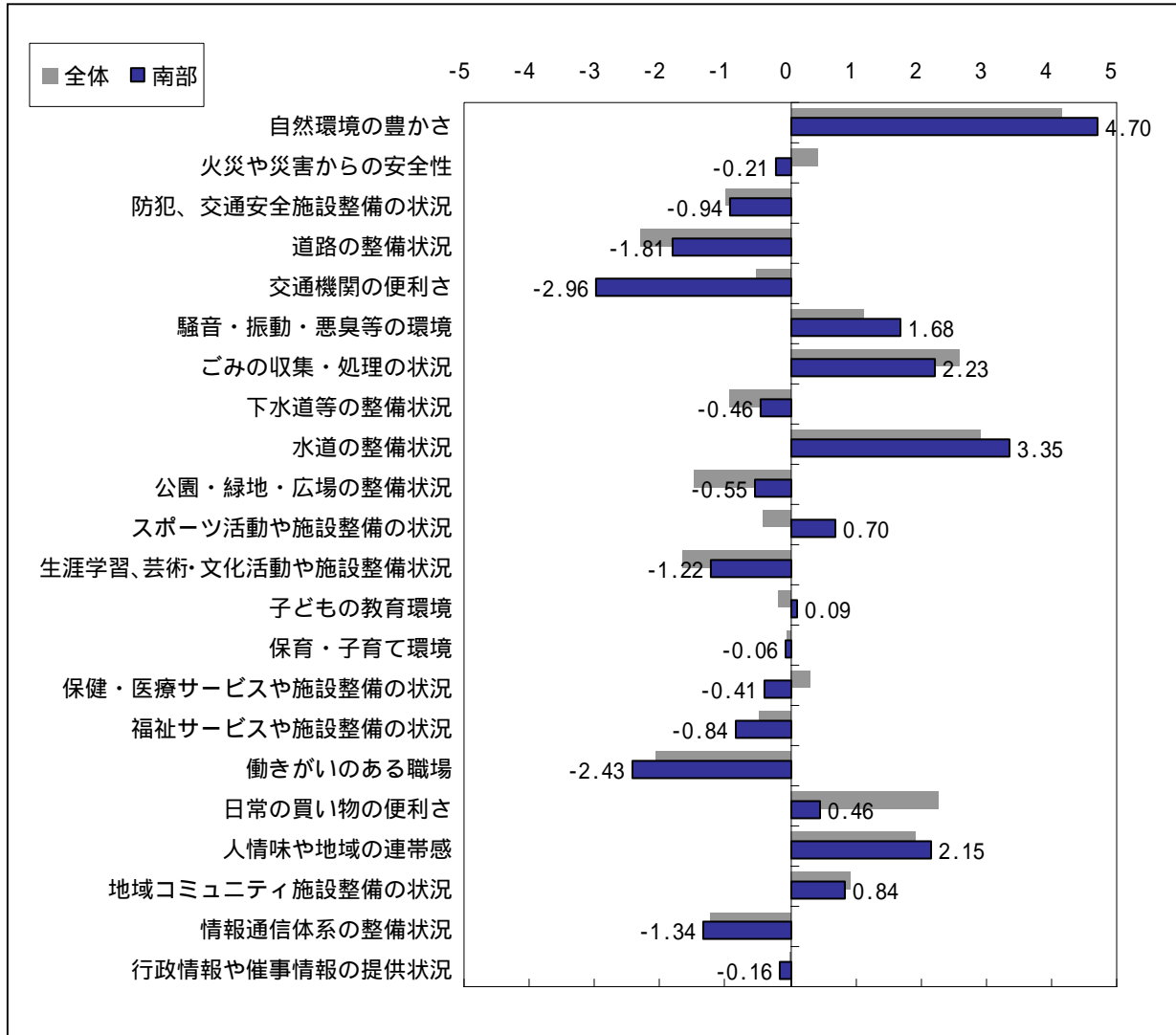
(単位：評価点)



図表 10 市の現状評価について(居住地別 / 満足度)

南部

(単位：評価点)



(4) まちの各環境に対する重要度

問4 あなたは南国市の各環境についてどの程度重視していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに 印をつけてください。

重要度の最も高い項目は「火災や災害からの安全性」。次いで「防犯、交通安全施設整備の状況」、「自然環境の豊かさ」の順。

南国市の各環境について、どの程度重視しているかを把握するため、自然環境や生活基盤、福祉・教育・文化環境、施設など各分野にわたる22項目を設定し、項目ごとに「重視している」、「やや重視している」、「どちらともいえない」、「あまり重視していない」、「重視していない」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値〔後述参照〕による数量化で評価点(重要度：最高点10点、最低点-10点)を算出した。

これによる全体での重要度評価は、「火災や災害からの安全性」(6.76点)が最も高く、次いで「防犯、交通安全施設整備の状況」(6.10点)、「自然環境の豊かさ」(5.89点)と続き、以下、「ごみの収集・処理の状況」(5.87点)、「保健・医療サービスや施設整備の状況」(5.84点)などの順となっている。

また、居住地別に重要度の上位項目をみていくと、以下のとおりにまとめられる。
〔図表11～15参照〕

北部

重要度の上位項目は第1位が「防犯、交通安全施設整備の状況」(6.75点)、第2位が「火災や災害からの安全性」(6.52点)、第3位が「自然環境の豊かさ」(6.14点)と続き、以下、「道路の整備状況」(5.93点)、「保健・医療サービスや施設整備の状況」(5.58点)などの順となっている。

中部

重要度の上位項目は第1位が「火災や災害からの安全性」(6.88点)、第2位が「防犯、交通安全施設整備の状況」(6.18点)、第3位が「保健・医療サービスや施設整備の状況」(6.15点)、第4位が「ごみの収集・処理の状況」(6.12点)と続き、以下、「道路の整備状況」(5.89点)などの順となっている。

南部

重要度の上位項目は第1位が「火災や災害からの安全性」(6.88点)、第2位が「自然環境の豊かさ」(6.37点)、第3位が「ごみの収集・処理の状況」(5.67点)と続き、以下、「防犯、交通安全施設整備の状況」(5.65点)、「子どもの教育環境」(5.57点)などの順となっている。

加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(重要度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \left[\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重視している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重視していない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right]}{\left[\begin{array}{l} \text{「重視している」}、\text{「やや重視している」}、 \\ \text{「どちらともいえない」}、\text{「あまり重視していない」}、 \\ \text{「重視していない」の回答者数} \end{array} \right]}$$

この算出方法により、評価点(重要度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高くなり、逆に-10点に近くなるほど評価が低くなる。(今回の調査では重要度がマイナス評価となる項目はみられなかった。)

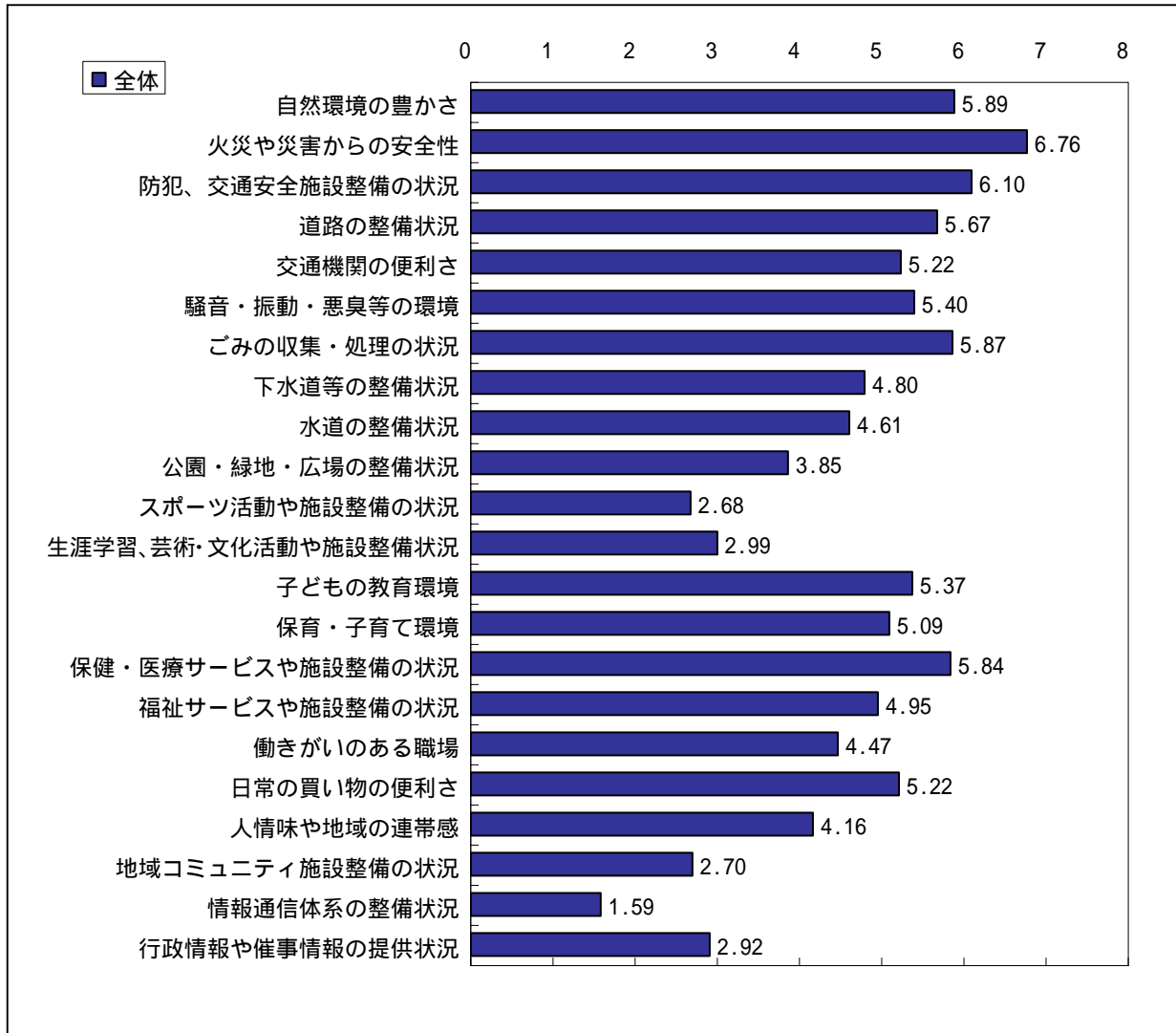
図表 11 市の現状評価について(全体、居住地別 / 重要度)

(単位：評価点)

	全体	居住地別		
		北部	中部	南部
自然環境の豊かさ	5.89	6.14	5.76	6.37
火災や災害からの安全性	6.76	6.52	6.88	6.88
防犯、交通安全施設整備の状況	6.10	6.75	6.18	5.65
道路の整備状況	5.67	5.93	5.89	5.03
交通機関の利便さ	5.22	5.50	5.63	4.30
騒音・振動・悪臭等の環境	5.40	5.45	5.69	4.74
ごみの収集・処理の状況	5.87	5.49	6.12	5.67
下水道等の整備状況	4.80	4.15	5.31	4.29
水道の整備状況	4.61	4.14	4.90	4.52
公園・緑地・広場の整備状況	3.85	3.03	4.40	3.25
スポーツ活動や施設整備の状況	2.68	2.46	2.71	2.91
生涯学習、芸術・文化活動や施設整備の状況	2.99	2.85	3.27	2.68
子どもの教育環境	5.37	5.16	5.49	5.57
保育・子育て環境	5.09	4.92	5.31	5.06
保健・医療サービスや施設整備の状況	5.84	5.58	6.15	5.54
福祉サービスや施設整備の状況	4.95	4.63	5.22	4.81
働きがいのある職場	4.47	4.33	4.40	4.66
日常の買物の利便さ	5.22	4.39	5.58	5.06
人情味や地域の連帯感	4.16	3.72	4.20	4.56
集会所など地域コミュニティ施設整備の状況	2.70	2.70	2.71	2.93
インターネット環境など情報通信体系の整備状況	1.59	1.49	1.82	1.22
行政情報や催事情報の提供状況	2.92	2.34	3.01	3.26

図表 12 市の現状評価について(全体 / 重要度)

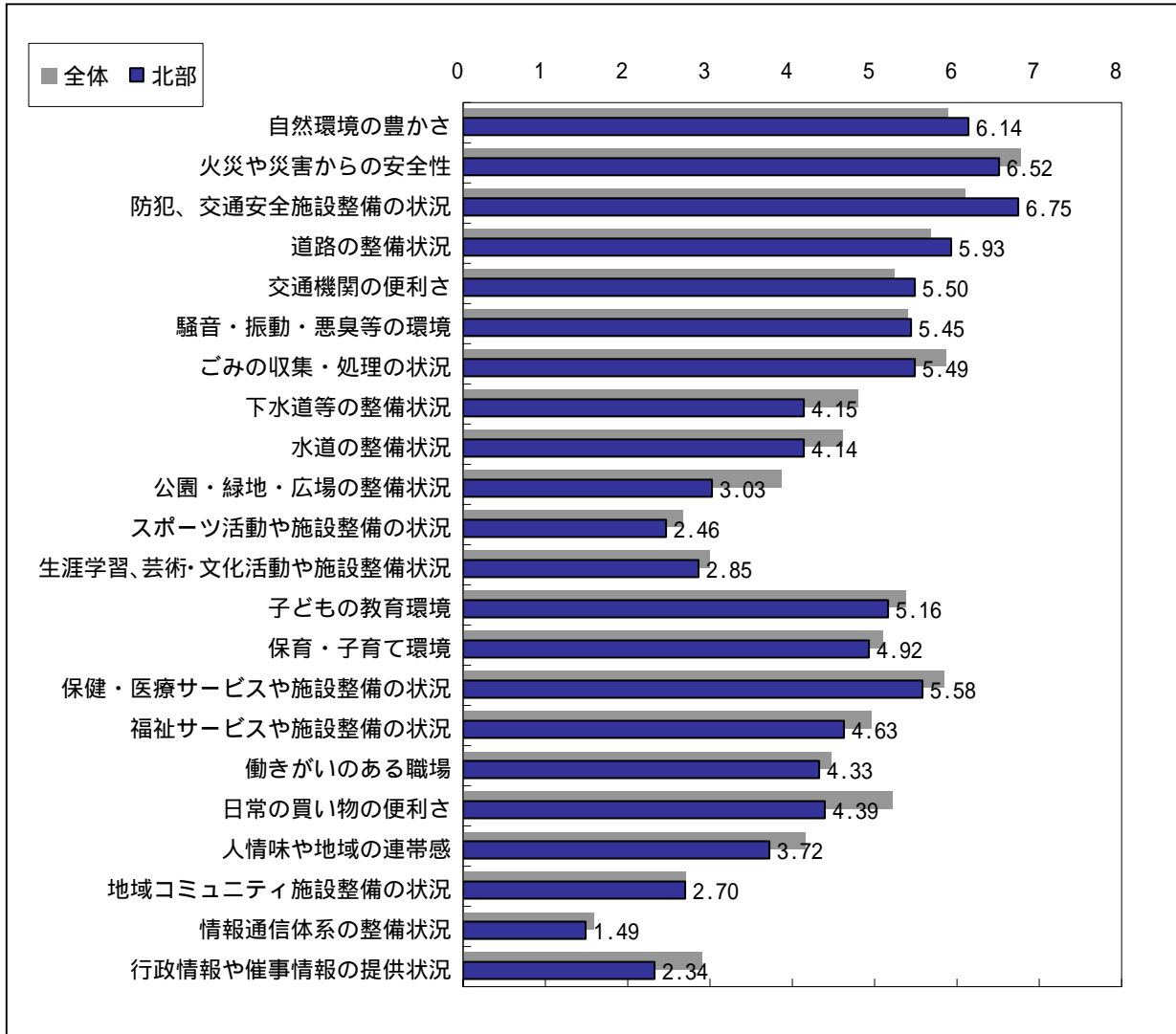
(単位：評価点)



図表 13 市の現状評価について(居住地別 / 重要度)

北部

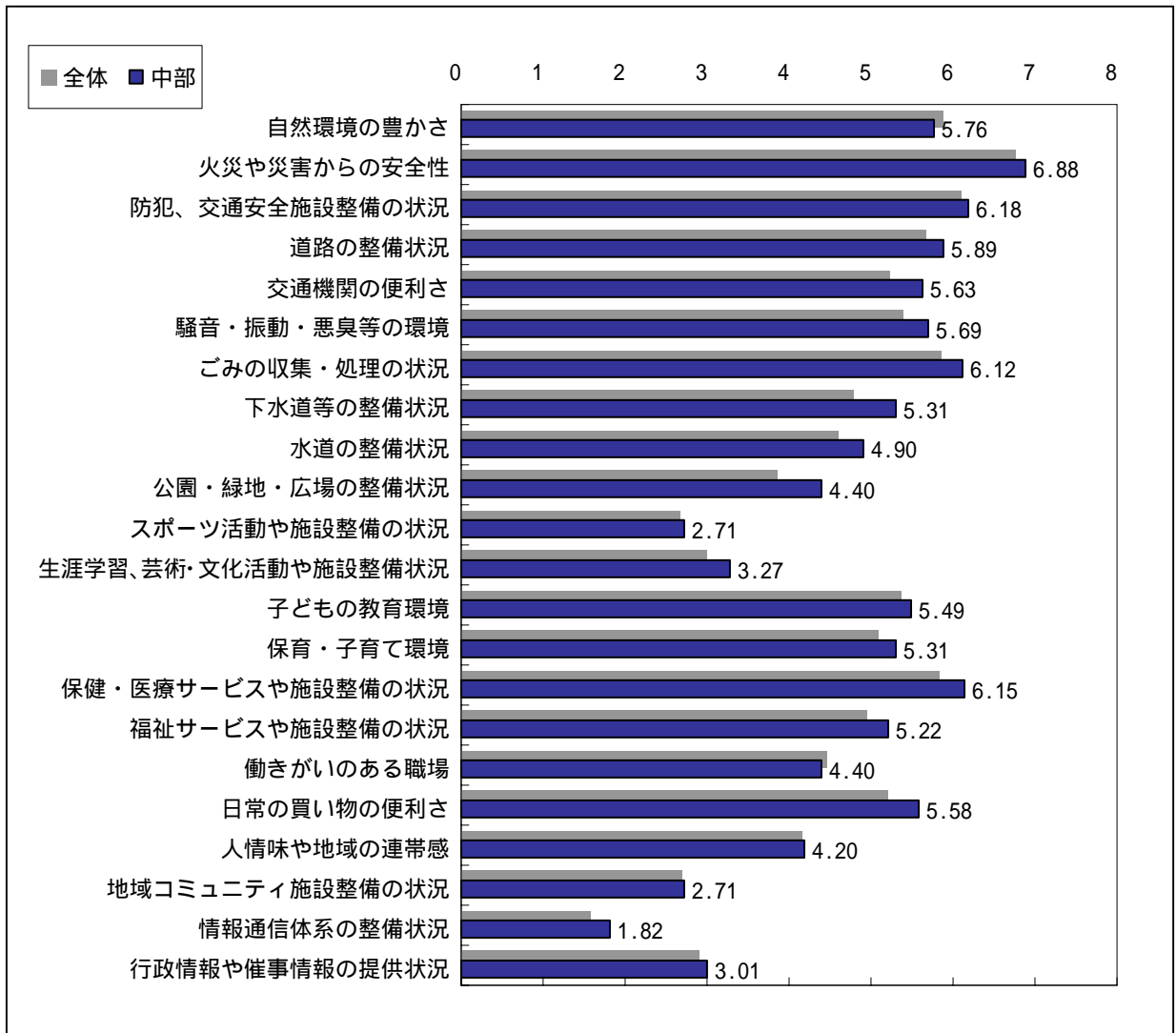
(単位：評価点)



図表 14 市の現状評価について(居住地別 / 重要度)

中部

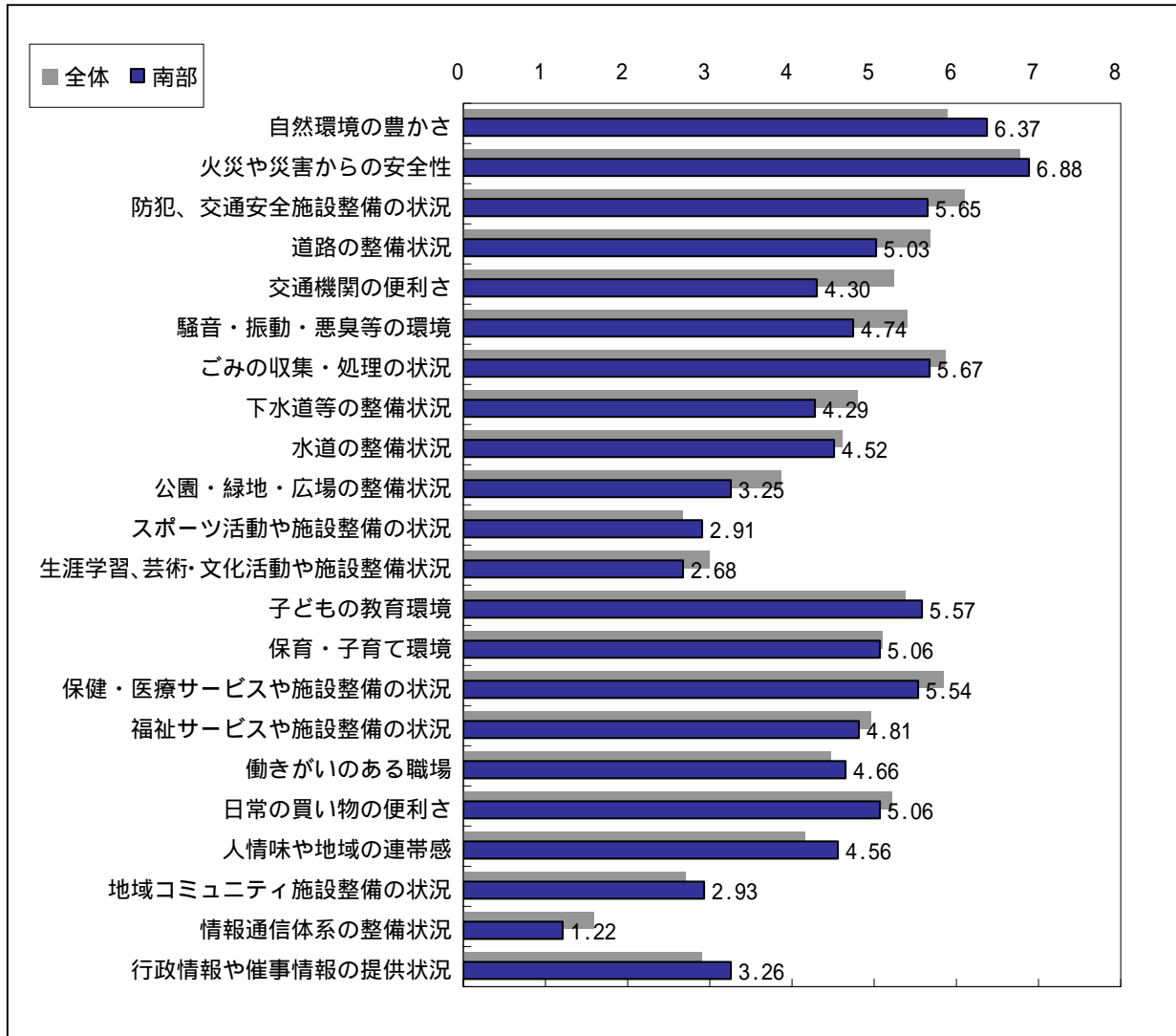
(単位：評価点)



図表 15 市の現状評価について(居住地別 / 重要度)

南部

(単位：評価点)



(5) 優先度

優先度が最も高い項目は「道路の整備状況」。次いで「防犯、交通安全施設整備の状況」、「火災や災害からの安全性」の順。

これまでみてきた満足度と重要度から、さらに市の現状評価や行政ニーズを把握するため、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成した。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高、重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなる。この散布図をもとにCS（顧客満足度）分析〔後述参照〕による数量化で優先度（評価点：最高点 35.36 点、中間点 0 点、最低点 -35.36 点）を算出した。

この結果をみると優先度は、「道路の整備状況」（13.30 点）が最も高く、次いで「防犯、交通安全施設整備の状況」（10.98 点）、「火災や災害からの安全性」（7.08 点）、「交通機関の便利さ」（5.86 点）、などの順となっており、評価点が高い項目ほど重点的な対応が求められる項目であると考えられる。〔図表 16～17 参照〕

優先度の算出方法

散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。

例：「道路の整備状況」 満足度偏差値 35.42、重要度偏差値 57.66

で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。

例：「交通機関の便利さ」 $16.46 = \sqrt{(-14.58)^2 + (7.66)^2}$

平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。

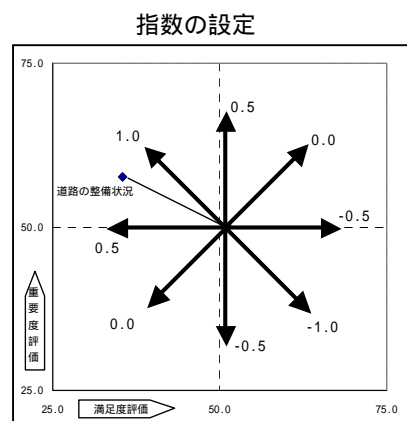
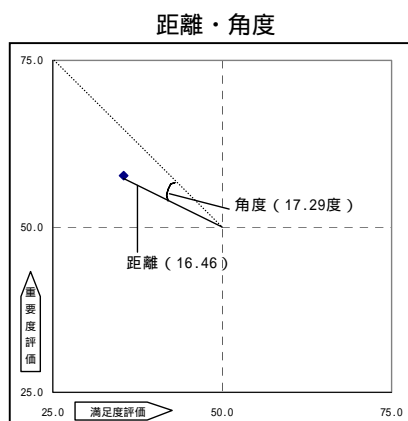
例：「交通機関の便利さ」 17.29 度

で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）

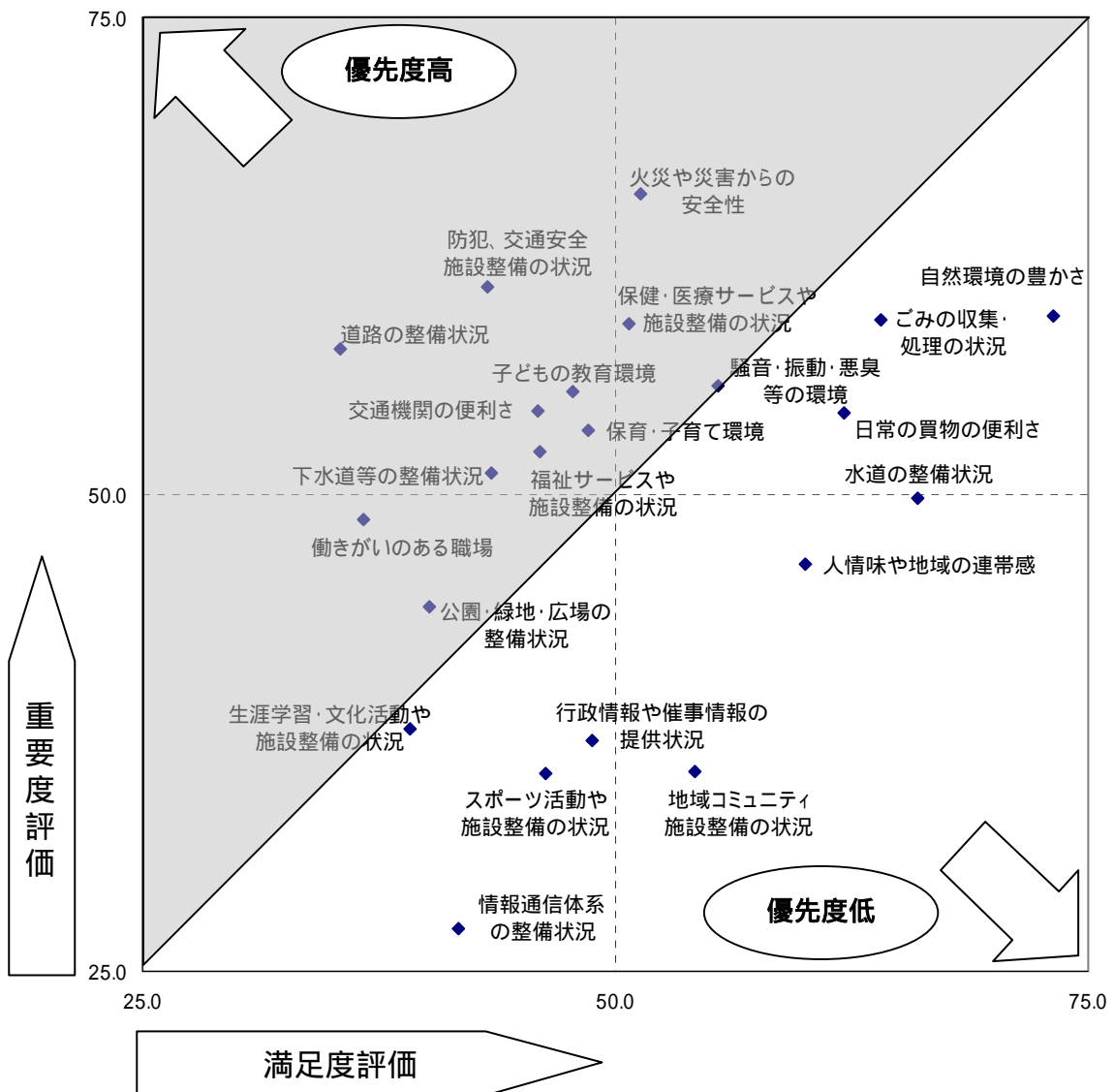
例：「交通機関の便利さ」 $0.808 = (90 - 17.29) \times (1 \div 90)$

で算出された平均（中心）からの距離と で算出された修正指数から優先度を算出する。

例：「交通機関の便利さ」 $13.30 = 16.46 \times 0.808$



図表 16 市の現状評価について（満足度と重要度の相関、全体）



満足度、重要度の評価点のばらつきを標準化するため偏差値化を行い、グラフを作成した。ここでは最小値を 25.0、最大値を 75.0 に設定している。

このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高、重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなる。

図表 17 市の現状評価について（全体 / 優先度）

（単位：評価点）

項目	優先度	全体
(1)自然環境の豊かさ		-6.38
(2)火災や災害からの安全性		7.08
(3)防犯、交通安全施設整備の状況		10.98
(4)道路の整備状況		13.30
(5)交通機関の便利さ		5.86
(6)騒音・振動・悪臭等の環境		0.09
(7)ごみの収集・処理の状況		-2.23
(8)上水道の整備状況		4.06
(9)下水道の整備状況		-15.80
(10)公園・緑地・広場の整備状況		1.79
(11)スポーツ活動や施設整備の状況		-5.16
(12)生涯学習・文化活動や施設整備の状況		-0.66
(13)子どもの教育環境		4.42
(14)保育・子育て環境		2.77
(15)保健・医療サービスや施設整備の状況		4.03
(16)福祉サービスや施設整備の状況		3.84
(17)働きがいのある職場		5.84
(18)日常の買物の便利さ		-3.65
(19)人情味や地域の連帯感		-8.33
(20)地域コミュニティ施設整備の状況		-10.28
(21)情報通信体系の整備状況		-6.73
(22)行政情報や催事情報の提供状況		-5.65

(5) 総合的にみたまちの暮らしやすさ

問5 全体的にみた、南国市の暮らしやすさについてどのように感じていますか。

“満足している”が50.6%、「どちらともいえない」が25.5%、“不満である”が22.7%。

南国市の住民が全体的にまちの暮らしやすさに満足しているかどうかをたずねたところ、「やや満足している」(41.5%)が4割強を占めて最も多く、「満足している」(9.1%)とあわせた“満足している”という人が50.6%となっている。一方で“不満である”(「やや不満である」17.4%及び「不満である」5.3%の合計)は22.7%となっており、全体的に満足している住民が多数を占めているといえる。[図表18参照]

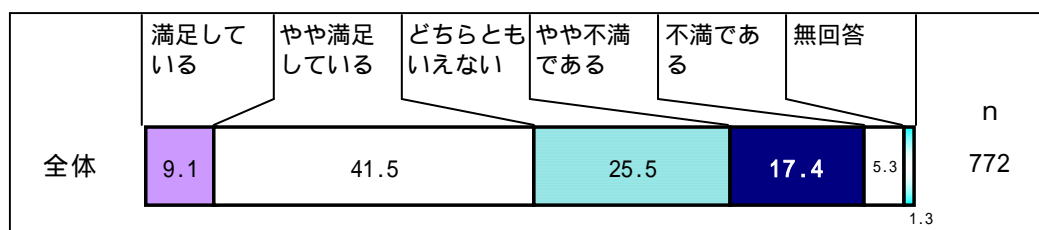
性別で“満足している”率をみると、男性(52.7%)、女性(49.2%)ともに半数近くを占めている。

年齢別で“満足している”率をみると、高い順から70歳以上(55.0%)、50代(51.8%)、40代(50.5%)、60代(50.0%)、10代・30代(同率48.4%)、20代(44.4%)の順となっている。

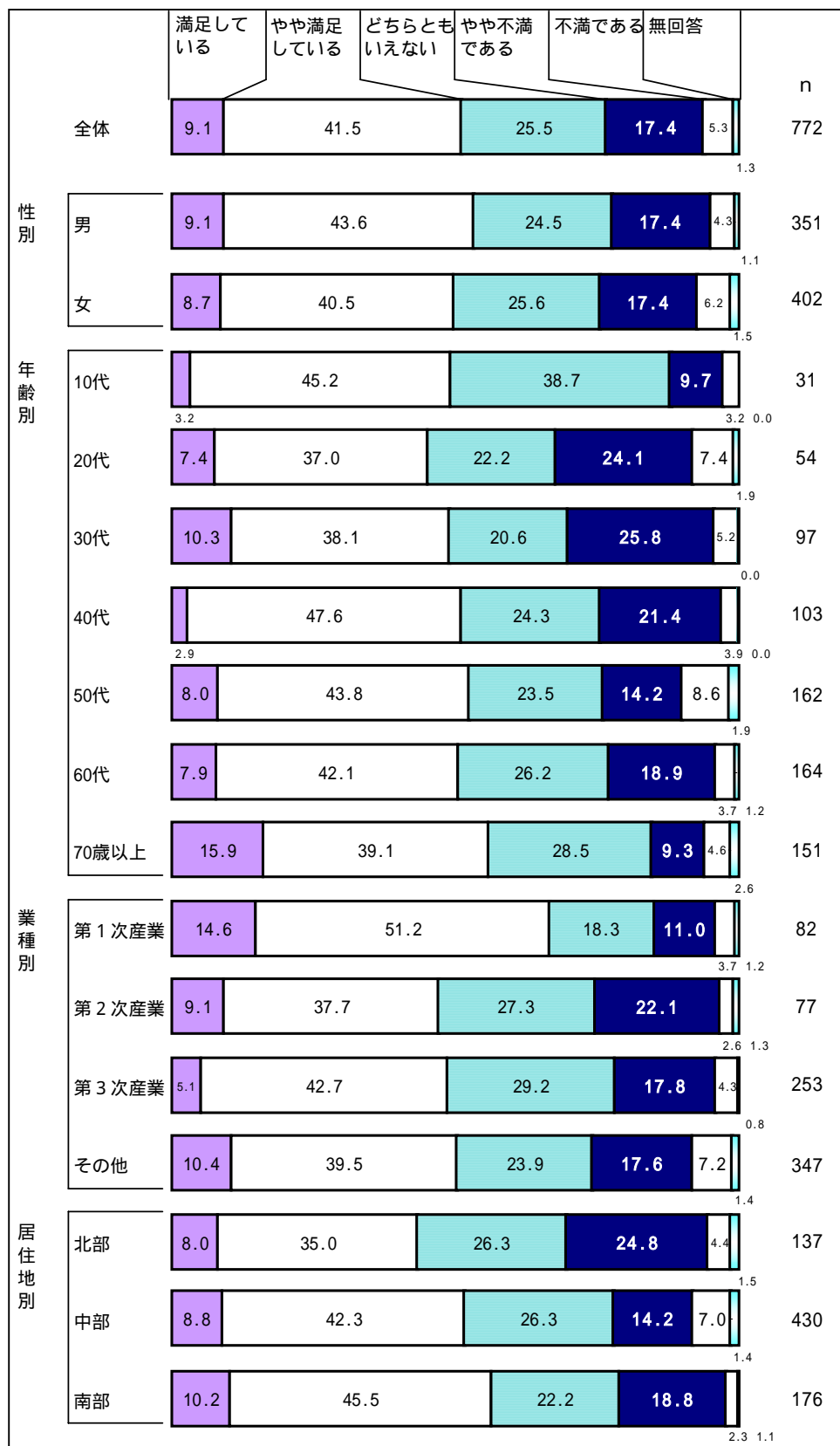
業種別でみると、第1次産業従事者(65.8%)で“満足している”率が最も高く、第2次産業従事者(46.8%)で最も低い傾向がみられる。

また、居住地別で“満足している”率をみると南部(55.7%)で最も高く、次いで中部(51.1%)、北部(43.0%)の順となっている。[図表19参照]

図表18 総合的にみたまちの暮らしやすさ(全体)



図表 19 総合的にみたまちの暮らしやすさ（全体、性別、年齢順、業種別、居住地別）



2 これからのまちづくりについて

(1) 今後のまちづくり

問6 あなたは、今後のまちづくりについて、南国市をどのようなまちにしたいと思いますか。【複数回答】

「健康福祉のまち」、「快適住環境のまち」及び「環境保全のまち」が上位3位を占める。

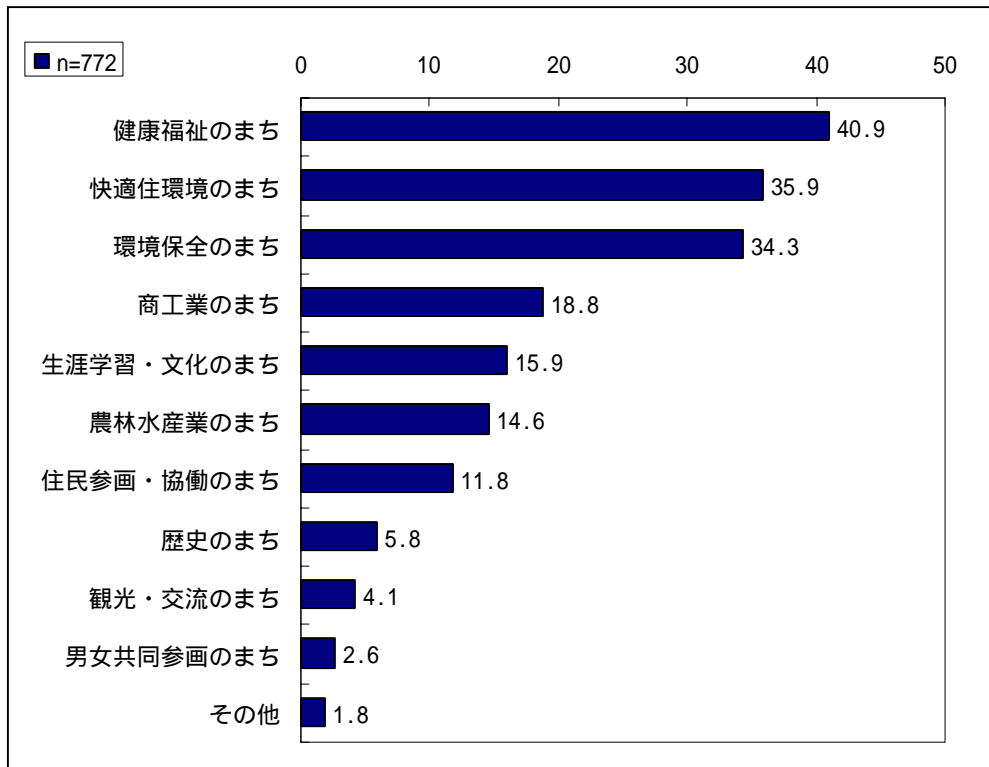
今後のまちづくりについてたずねたところ、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実を進める健康福祉のまち」(40.9%)及び「快適で安全な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」(35.9%)、「自然や環境の保護・保全を優先する環境保全のまち」(34.3%)、が上位を占め、“保健・医療・福祉”、“生活基盤”、“環境”分野を中心としたまちづくりに関心が集まっていることがうかがえる。その他では「企業誘致や地場産業の振興による商工業のまち」(18.8%)、「生涯学習活動や芸術・文化・スポーツ活動が活発な生涯学習・文化のまち」(15.9%)、「農林水産業を中心として発展する農林水産業のまち」(14.6%)などの順となっている。[図表20参照]

これを性別で見ると、男性では「快適で安全な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」(35.6%)が第1位に挙げられ、以下「自然や環境の保護・保全を優先する環境保全のまち」・「人にやさしい保健・医療・福祉の充実を進める健康福祉のまち」(同率33.0%)が上位に挙げられている。一方、女性では「人にやさしい保健・医療・福祉の充実を進める健康福祉のまち」(47.8%)が第1位に挙げられ、以下「快適で安全な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」(36.3%)、「自然や環境の保護・保全を優先する環境保全のまち」(35.1%)の順となっており、男性と女性で上位回答の傾向に若干の違いがみられる。

年齢別で見ると、10～40代では「快適で安全な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち」(51.6%・37.0%・45.4%・49.5%)、50代～70歳以上では「人にやさしい保健・医療・福祉の充実を進める健康福祉のまち」(38.3%・46.3%・49.0%)がそれぞれ第1位に挙げられており、10～40代では“生活基盤”、50代～70歳以上では“保健・医療・福祉”を中心としたまちづくりに関心が強い傾向がみられる。

居住地別で第1位回答をみると、3地区のすべてで「人にやさしい保健・医療・福祉の充実を進める健康福祉のまち」となっている。[図表21参照]

図表 20 今後のまちづくり（全体 / 複数回答）



図表 21 今後のまちづくり（全体、性別、年齢別、居住地別 / 複数回答）

（上位 5 位）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全体		健康福祉の まち 40.9	快適住環境の まち 35.9	環境保全の まち 34.3	商工業のまち 18.8	生涯学習・文化 のまち 15.9
性別	男	快適住環境の まち 35.6	環境保全のまち / 健康福祉のま ち 33.0		商工業のまち 24.2	農林水産業の まち 19.7
	女	健康福祉の まち 47.8	快適住環境の まち 36.3	環境保全の まち 35.1	生涯学習・文化 のまち 16.2	商工業のまち 14.9
年齢別	10代	快適住環境の まち 51.6	環境保全の まち 45.2	健康福祉の まち 29.0	生涯学習・文化 のまち 22.6	商工業のまち 12.9
	20代	快適住環境の まち 37.0	環境保全の まち 33.3	健康福祉の まち 29.6	商工業のまち 24.1	生涯学習・文化 のまち 16.7
	30代	快適住環境の まち 45.4	健康福祉の まち 43.3	環境保全の まち 41.2	商工業のまち 12.4	住民参画・協働 のまち 10.3
	40代	快適住環境の まち 49.5	健康福祉の まち 31.1	環境保全の まち 30.1	生涯学習・文化 のまち 24.3	商工業のまち 18.4
	50代	健康福祉の まち 38.3	環境保全の まち 37.0	快適住環境の まち 34.0	商工業のまち 22.2	生涯学習・文化 のまち 17.3
	60代	健康福祉の まち 46.3	環境保全の まち 30.5	快適住環境の まち 29.9	商工業のまち 20.1	生涯学習・文化 のまち 17.7
	70歳以上	健康福祉の まち 49.0	環境保全の まち 32.5	快適住環境の まち 25.8	農林水産業の まち 21.9	商工業のまち 17.9
業種別	第 1 次産業	農林水産業の まち 61.0	環境保全の まち 32.9	健康福祉の まち 28.0	快適住環境の まち 23.2	商工業のまち 18.3
	第 2 次産業	環境保全の まち 40.3	健康福祉のま ち 35.1	快適住環境の まち 28.6	商工業のまち 20.8	生涯学習・文化 のまち 16.9
	第 3 次産業	快適住環境の まち 46.6	環境保全の まち 34.8	健康福祉の まち 34.0	商工業のまち 20.9	生涯学習・文化 のまち 17.0
	その他	健康福祉の まち 49.6	環境保全の まち 34.0	快適住環境の まち 32.6	生涯学習・文化 のまち 18.4	商工業のまち 17.3
居住地別	北部	健康福祉の まち 40.9	快適住環境の まち 37.2	環境保全の まち 34.3	商工業のまち 21.9	農林水産業の まち 16.8
	中部	健康福祉の まち 40.2	快適住環境の まち 35.3	環境保全の まち 33.7	商工業のまち 18.8	生涯学習・文化 のまち 18.6
	南部	健康福祉の まち 40.9	環境保全の まち 36.4	快適住環境の まち 35.8	商工業のまち 15.9	農林水産業の まち 14.8

(2) 今後の重点施策の要望

問7 あなたは、市の行政の中で、今後、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。
【複数回答】

「道路網の整備」、「高齢者福祉の充実」、「医療体制の充実」が3大要望。

重点的に取り組むべき施策をたずねたところ、「道路網の整備」(32.8%)が第1位に挙げられ、次いで「高齢者福祉の充実」(30.2%)が3割強で続き、以下「医療体制の充実」(26.3%)、「若者の定住促進のための施策」(25.9%)、「交通安全・防犯対策」(24.7%)などの順となっており、上位回答をみると、“道路”をはじめ、“高齢者福祉”、“医療”に関する施策への関心が強い傾向がみられた。[図表 22 参照]

これを性別でみると、男性では「道路網の整備」(36.2%)、女性では「高齢者福祉の充実」(31.8%)が第1位となっている。

年齢別で第1位回答をみると、10代では「自然保護・公害防止等の環境保全施策」・「医療体制の充実」(同率 35.5%)、20代では「公共交通機関の充実」・「児童福祉・子育て支援の充実」(同率 31.5%)、30代・40代では「道路網の整備」(43.3%・35.0%)、50代では「若者の定住促進のための施策」(30.9%)、60代・70歳以上では「高齢者福祉の充実」(43.3%・46.4%)となっている。なお、10代と20代では「スポーツ・レクリエーション環境の充実」という回答(25.8%・18.5%)が、他の年齢層より多い傾向がみられる。

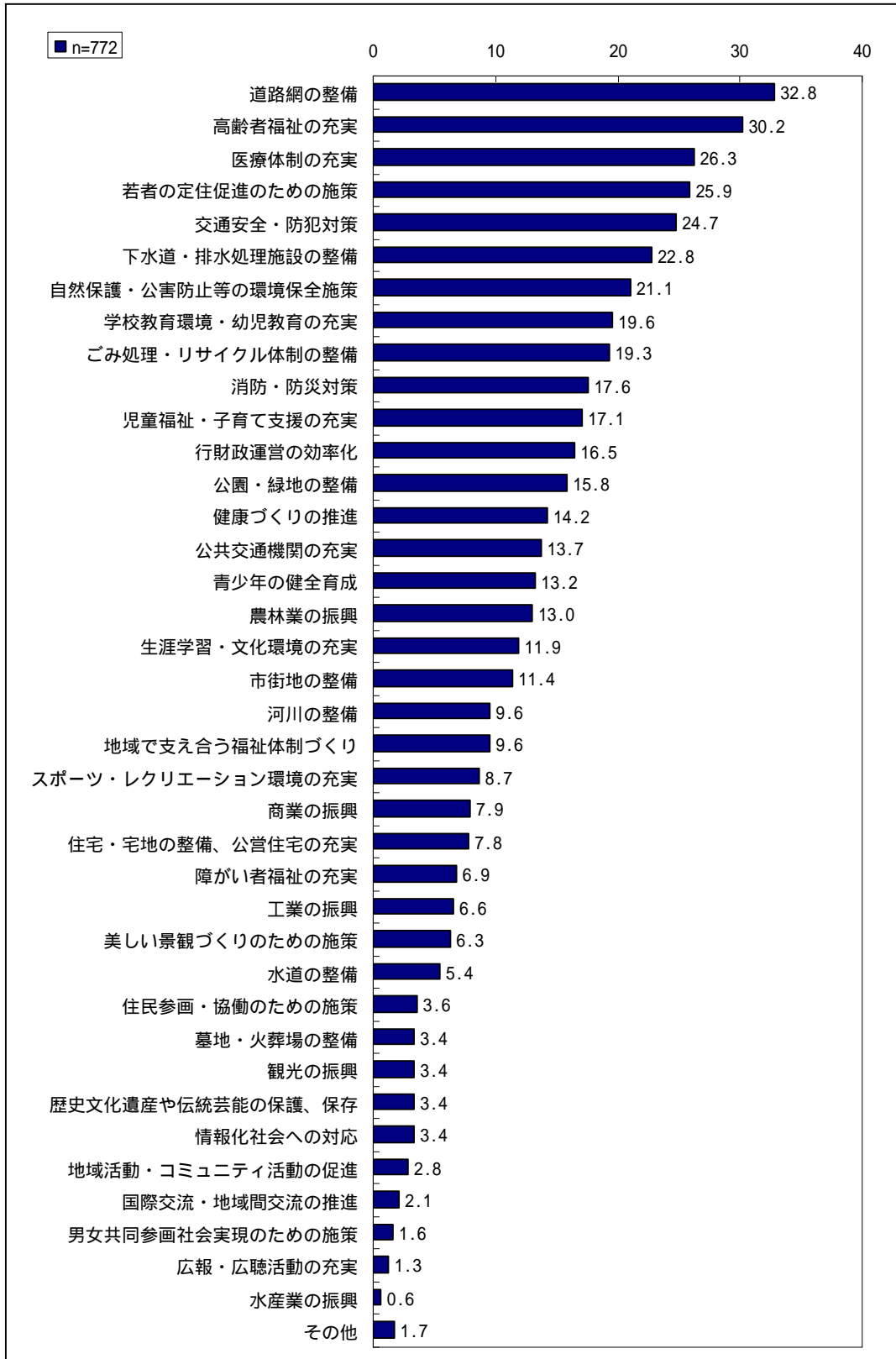
業種別でみると、第1次産業従事者では「農林業の振興」(50.0%)、第2次産業従事者・第3次産業従事者では「道路網の整備」(35.1%・35.2%)がそれぞれ第1位となっている。

居住地別でみると、北部・中部では「道路網の整備」(35.8%・35.3%)、南部では「医療体制の充実」(36.9%)が第1位となっている。[図表 23 参照]

図表 22 今後の重点施策の要望（全体、性別、年齢別、業種別、居住地別 / 複数回答）
（上位 5 位）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全体		道路網の整備 32.8	高齢者福祉の充実 30.2	医療体制の充実 26.3	若者の定住促進のための施策 25.9	交通安全・防犯対策 24.7
性別	男	道路網の整備 36.2	高齢者福祉の充実 28.2	若者の定住促進のための施策 23.9	交通安全・防犯対策 23.6	下水道・排水処理施設の整備 23.1
	女	高齢者福祉の充実 31.8	医療体制の充実 31.3	道路網の整備 29.9	若者の定住促進のための施策 27.4	交通安全・防犯対策 26.4
年齢別	10代	自然保護・公害防止等の環境保全施策 / 医療体制の充実 35.5		交通安全・防犯対策 32.3	消防・防災対策 25.8	スポーツ・レクリエーション環境の充実 25.8
	20代	公共交通機関の充実 / 児童福祉・子育て支援の充実 31.5		公園・緑地の整備 27.8	道路網の整備 / 学校教育環境・幼児教育の充実 25.9	
	30代	道路網の整備 43.3	児童福祉・子育て支援の充実 35.1	医療体制の充実 33.0	交通安全・防犯対策 / 学校教育環境・幼児教育の充実 27.8	
	40代	道路網の整備 35.0	ごみ処理・リサイクル体制の整備 31.1	学校教育環境・幼児教育の充実 28.2	自然保護・公害防止等の環境保全施策 25.2	消防・防災対策 24.3
	50代	若者の定住促進のための施策 30.9	道路網の整備 30.2	下水道・排水処理施設の整備 29.6	自然保護・公害防止等の環境保全施策 27.2	交通安全・防犯対策 24.1
	60代	高齢者福祉の充実 43.3	道路網の整備 34.8	若者の定住促進のための施策 31.1	医療体制の充実 29.9	交通安全・防犯対策 23.8
	70歳以上	高齢者福祉の充実 46.4	道路網の整備 33.1	若者の定住促進のための施策 29.8	医療体制の充実 28.5	交通安全・防犯対策 26.5
業種別	第 1 次産業	農林業の振興 50.0	道路網の整備 46.3	高齢者福祉の充実 34.1	河川の整備 23.2	消防・防災対策 / 若者の定住促進のための施策 / 行財政運営の効率化 22.0
	第 2 次産業	道路網の整備 35.1	下水道・排水処理施設の整備 / 公園・緑地の整備 28.6		ごみ処理・リサイクル体制の整備 / 交通安全・防犯対策 / 児童福祉・子育て支援の充実 / 高齢者福祉の充実 / 若者の定住促進のための施策 24.7	
	第 3 次産業	道路網の整備 35.2	下水道・排水処理施設の整備 25.7	若者の定住促進のための施策 24.9	交通安全・防犯対策 24.1	消防・防災対策 22.9
	その他	高齢者福祉の充実 35.2	医療体制の充実 32.3	道路網の整備 28.2	若者の定住促進のための施策 27.1	交通安全・防犯対策 26.5
居住地別	北部	道路網の整備 35.8	高齢者福祉の充実 / 若者の定住促進のための施策 26.3		交通安全・防犯対策 24.1	自然保護・公害防止等の環境保全施策 22.6
	中部	道路網の整備 35.3	高齢者福祉の充実 31.4	若者の定住促進のための施策 25.8	交通安全・防犯対策 24.9	下水道・排水処理施設の整備 24.0
	南部	医療体制の充実 36.9	高齢者福祉の充実 29.5	道路網の整備 26.7	自然保護・公害防止等の環境保全施策 / 若者の定住促進のための施策 26.1	

図表 23 今後の重点施策の要望（全体 / 複数回答）



3 生活環境について

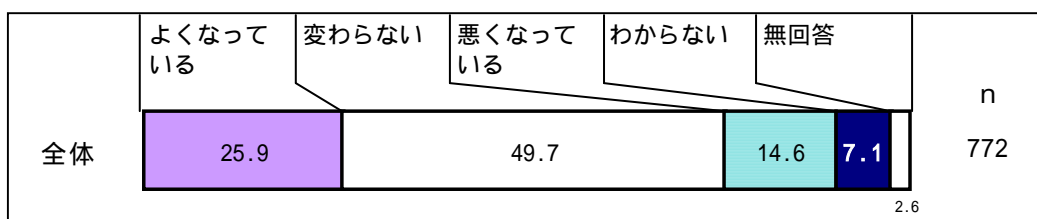
(1) 以前の生活環境との比較

問8 あなたのお住まいのまわりの生活環境は、全体的にみて以前よりよくなっていると思いますか。

以前と「変わらない」が半数近い。

生活環境についてたずねたところ、以前と比べて「変わらない」(49.7%)が最も多く、次いで「よくなっている」との回答は25.9%、「悪くなっている」との回答は14.6%だった。[図表24参照]

図表24 以前と比べた生活環境(全体)



(2) 必要な施設整備

問9 あなたがお住まいの身近な生活環境のなかで、特にどのような施設の整備充実が必要だと思いますか。【複数回答】

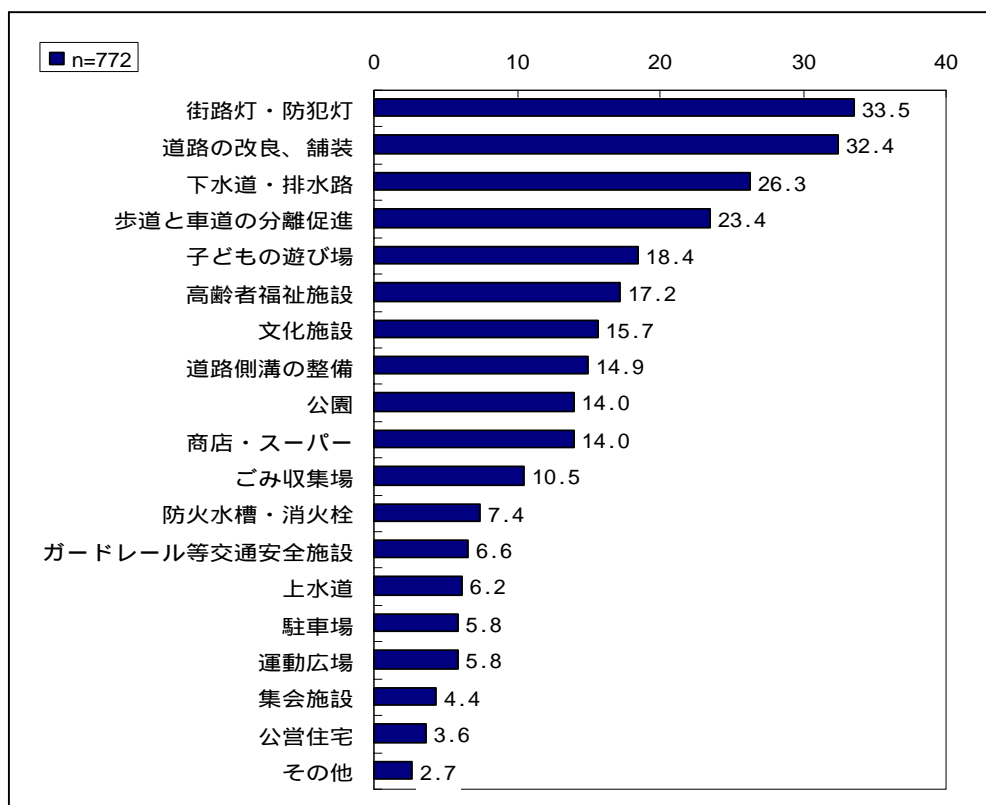
「街路灯・防犯灯」及び「道路の改良、舗装」が2大要望。

身近な生活環境で必要と思う施設整備についてたずねたところ、「街路灯・防犯灯」(33.5%)が第1位に挙げられ、次いで「道路の改良、舗装」(32.4%)が続きこれらが他をやや引き離して2大要望となっている。その他では「下水道・排水路」(26.3%)、「歩道と車道の分離促進」(23.4%)、「子どもの遊び場(ひろば)」(18.4%)などの順となっている。上位回答をみると、道路施設に関する項目が上位に挙げられており、関心が高いことがうかがえる。[図表25参照]

性別でみると、男性では「道路の改良、舗装」(36.5%)、女性では「街路灯・防犯灯」(38.1%)が第1位に挙げられている。

年齢別でみると、10代・40代・50代では「街路灯・防犯灯」(48.4%・37.9%・40.7%)、20代・60代・70歳以上では「道路の改良、舗装」(37.0%・36.6%・34.4%)、30代では「歩道と車道の分離促進」(40.2%)が第1位であった。

図表25 必要な施設整備



4 消防・防災対策について

(1) 消防・防災対策

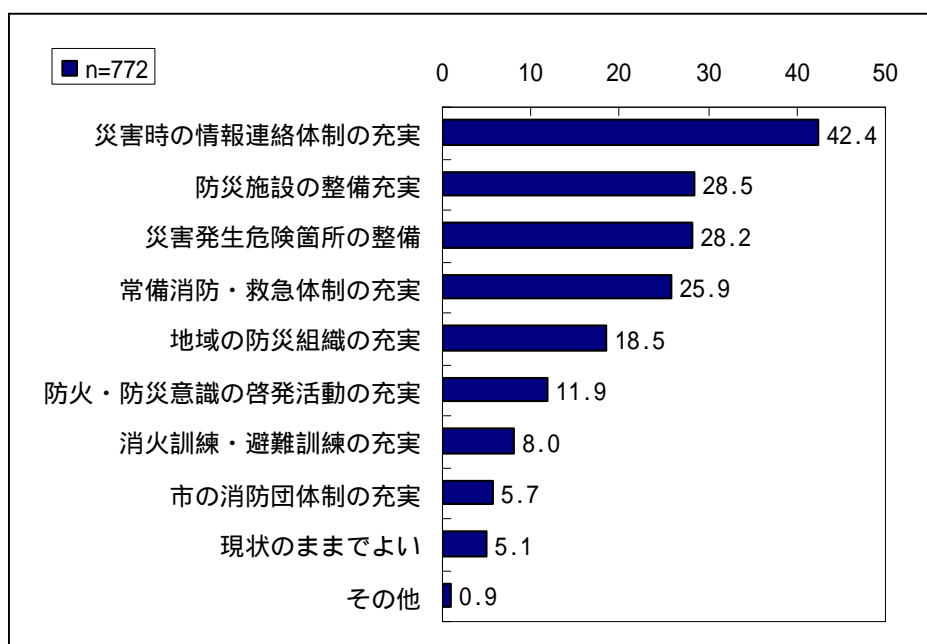
問 10 あなたは、市の消防・防災対策について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「災害時の情報連絡体制の充実」が第1位。次いで「防災施設の整備充実」、
「災害発生危険箇所の整備」の順。

市の消防・防災体制で重視すべき点をたずねたところ、「災害時の情報連絡体制の充実」(42.4%)が第1位に挙げられ、迅速な災害情報伝達への要望が強いことがうかがえる。次いで「防災施設(避難場所や防火水槽など)の整備充実」(28.5%)、「災害発生危険箇所の整備」(28.2%)、「常備消防・救急体制(消防署)の充実」(25.9%)が続き、以下、「地域の防災組織の充実」(18.5%)、「防火・防災意識の啓発活動の充実」(11.9%)などの順となっている。[図表 26 参照]

また、年齢別で第1位回答をみると、すべての年代で「災害時の情報連絡体制の充実」が第1位に挙げられている。

図表 26 消防・防火対策(複数回答)



5 土地利用について

(1) 土地利用

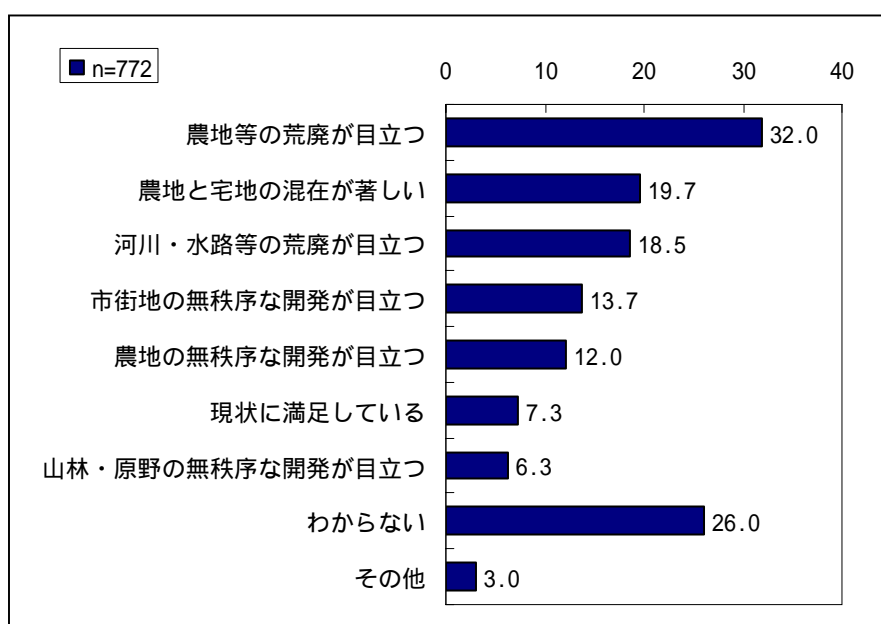
問11 土地（農地、山林、河川、道路、宅地、公園等）の使われ方のことを「土地利用」といいますが、南国市全体の土地利用について、あなたはどのように思いますか。【複数回答】

「農地等の荒廃が目立つ」が第1位。

現在の南国市の土地利用についてたずねたところ、「現状に満足している」は7.3%にとどまり、「農地等の荒廃が目立つ」(32.0%)が第1位に挙げられ、農地の荒廃に問題意識を感じている人が多い結果となっている。次いで「農地と宅地の混在が著しい」(19.7%)が続く。なお、「わからない」は26.0%であった。[図表27参照]

これを業種別で見ると、第1次産業従事者では「農地等の荒廃が目立つ」が50.0%と高率であり、居住地別で見ると、3つの地区すべてで「農地等の荒廃が目立つ」が第1位に挙げられている。

図表27 土地利用（全体／複数回答）



(2) 優先的に整備していくべき用地

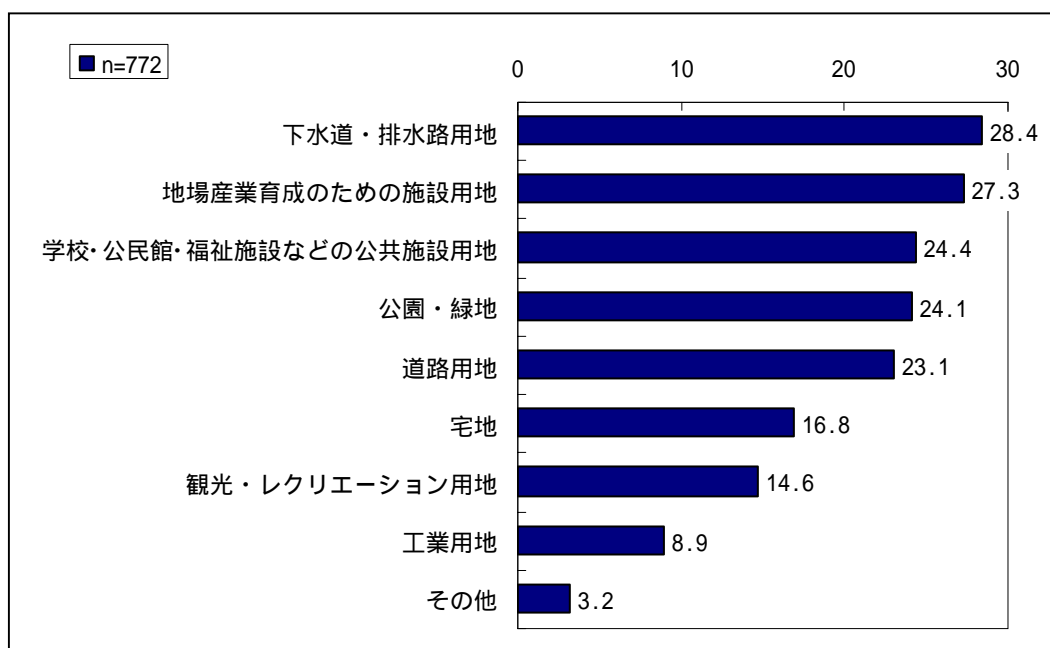
問 12 今後の市勢の発展に向けて、計画的な土地の利用を進めていくことが必要になりますが、優先的に整備していくとしたらどの用地だと思いますか。【複数回答】

「下水道・排水路用地」が第1位、次いで「地場産業育成のための施設用地」、「学校、公民館、福祉施設などの公共施設用地」の順。

今後のまちの発展に向けて、優先的に整備すべき用地をたずねたところ、「下水道・排水路用地」(28.4%)が第1位に挙げられ、下水道や排水路の用地整備が求められている。その他では「地場産業育成のための施設用地」(27.3%)、「学校、公民館、福祉施設などの公共施設用地」(24.4%)などの順であった。[図表 28 参照]

これを年齢別で見ると、10代・20代では「公園・緑地」(41.9%・40.7%)、30代では「学校、公民館、福祉施設などの公共施設用地」(32.0%)、50代で「下水道・排水路用地」(34.0%)、40代、60代、70歳以上で「地場産業育成のための施設用地」(33.0%・32.9%・33.1%)がそれぞれ第1位となっている。

図表 28 優先的に整備していくべき用地（全体 / 複数回答）



(3) 農地の土地利用

問 13 農地について今後どのように土地利用を進めていくべきだと思いますか。

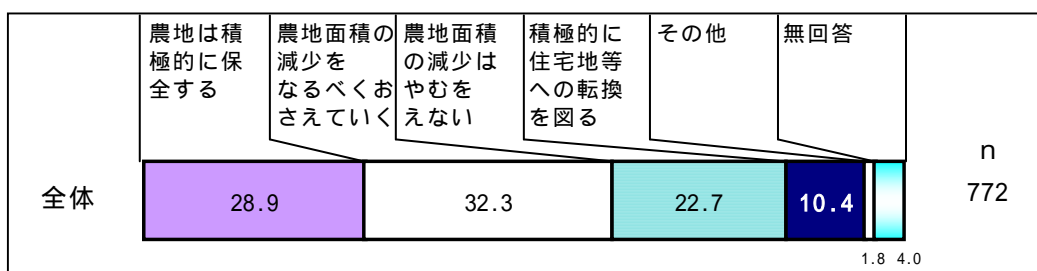
「今後、農地面積の減少はなるべくおさえていく」がおよそ3人に1人。

農地について今後の土地利用をたずねたところ、「今後、農地面積の減少はなるべくおさえていく」が32.3%でもっとも多く、次いで「農地は積極的に保全する」が28.9%、「今後、農地面積の減少はやむをえない」が22.7%となっている。[図表29参照]

これを年齢別で見ると、10代・20代・50代・60代・70歳以上では「今後、農地面積の減少はなるべくおさえていく」(45.2%・33.3%・32.1%・34.8%・35.8%)、30代・40代では「農地は積極的に保全する」(29.9%・35.9%)が最も多くなっている。

業種別で見ると、第1次産業従事者では「農地は積極的に保全する」・「今後、農地面積の減少はなるべくおさえていく」(同率30.5%)、第2次産業従事者では「今後、農地面積の減少はなるべくおさえていく」・「今後、農地面積の減少はやむをえない」(同率31.2%)、第3次産業従事者では「今後、農地面積の減少はなるべくおさえていく」(32.8%)がそれぞれ第1位となっている。

図表 29 農地の土地利用（全体）



6 保健・医療・福祉について

(1) 保健・医療対策について

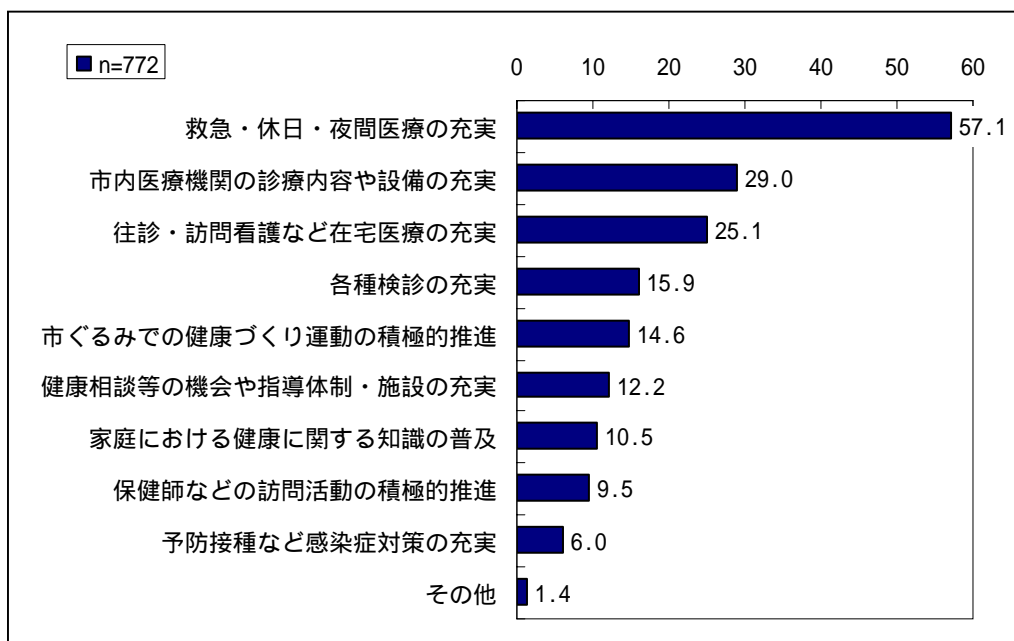
問 14 あなたは、保健・医療対策について特にどのようなことを望まれますか。【複数回答】

「救急・休日・夜間医療の充実」が第1位。

保健・医療対策について望むことをたずねたところ、「救急・休日・夜間医療の充実」(57.1%)が他を大きく引き離しており、救急医療体制整備への要望が強い結果となっている。その他では「市内医療機関の診療内容や設備の充実」(29.0%)、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」(25.1%)、「各種検診の充実」(15.9%)、「市ぐるみでの健康づくり運動の積極的推進」(14.6%)などの順となっている。[図表 30 参照]

これを性別、年齢別、居住地別でも、すべての層で全体と同様に「救急・休日・夜間医療の充実」への要望が第1位となっている。

図表 30 保険・医療対策について（全体 / 複数回答）



(2) 社会福祉について

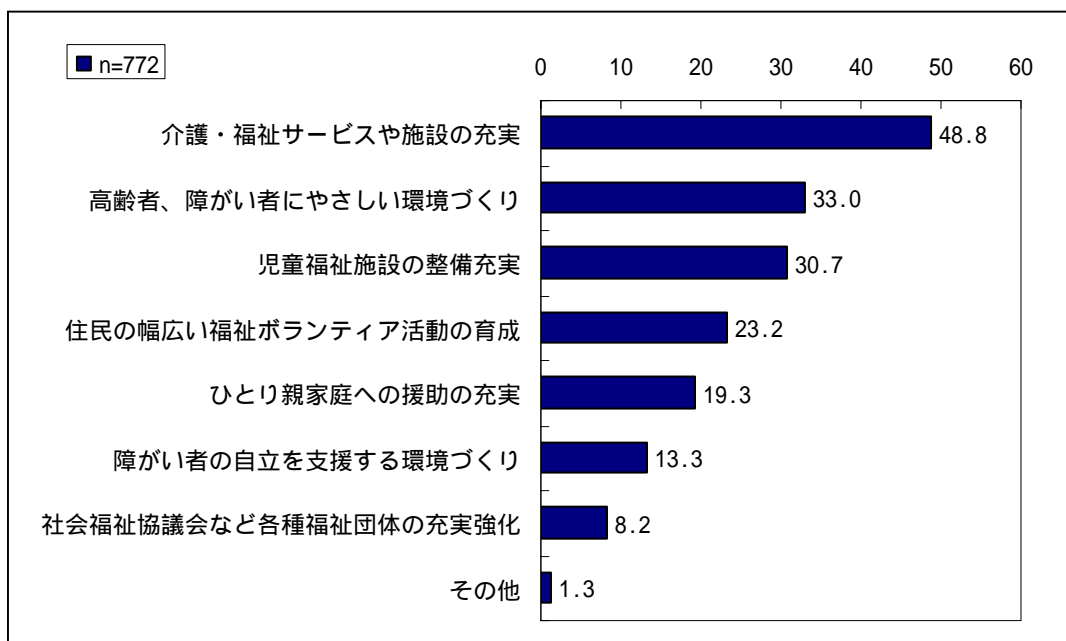
問 15 社会福祉をさらに充実させるためには、どのような施策が特に重要だと思われますか。【複数回答】

「介護・福祉サービスや施設の充実」が第1位。次いで「高齢者、障がい者にやさしい環境づくり」の順。

社会福祉充実のために重視すべき施策については、「高齢者に対する介護・福祉サービスや施設の充実」(48.8%)が第1位に挙げられ、次いで「バリアフリーなど高齢者、障がい者にやさしい環境づくり」(33.0%)となっており、高齢者や障がい者にやさしいまちづくりが求められていることがうかがえる。その他は「保育所や児童遊園など児童福祉施設の整備充実」(30.7%)、「住民の幅広い福祉ボランティア活動の育成」(23.2%)などの順となっている。[図表31参照]

これを性別、年齢別でみてもすべての層で、高齢者、障がい者に対する施策は、上位に挙げられている。

図表 31 社会福祉について（全体 / 複数回答）



(3) 高齢社会への対応について

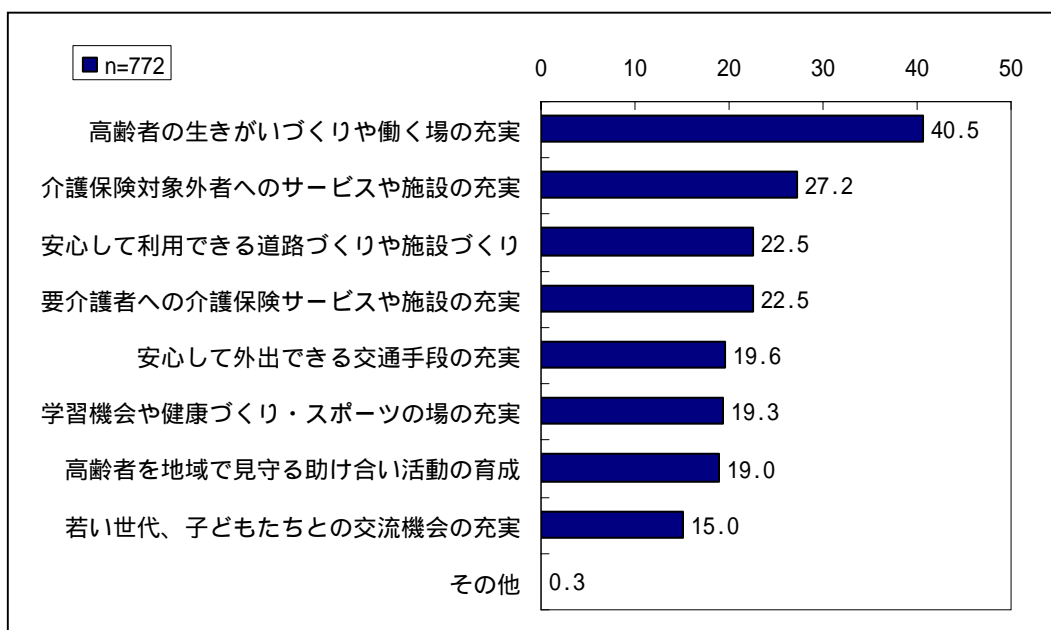
問 16 高齢者が安心して暮らせる社会を築くため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「高齢者の生きがいがづくりや働く場の充実」が第1位。次いで「介護保険対象外者へのサービスや施設の充実」の順。

高齢化社会に対応するために重視すべきことは、「高齢者の生きがいがづくりや働く場の充実」(40.5%)が第1位に挙げられ、高齢者の就労の場の確保や生きがいがづくりが求められていることがうかがえる。次いで「介護保険対象外の高齢者に対する保健福祉サービスや施設の充実」(27.2%)、「高齢者でも安心して利用できる道路づくりや施設づくり」・「要介護高齢者等に対する介護保険サービスや施設の充実」(同率 22.5%)、「高齢者でも安心して外出できるような中山間地域等の交通手段の充実」(19.6%)などの順となっている。[図表 32 参照]

これを性別、年齢別で見ると、ほとんどの層で「高齢者の生きがいがづくりや働く場の充実」が第1位となっているが、当事者である年齢別の70歳以上では「介護保険対象外の高齢者に対する保健福祉サービスや施設の充実」(29.8%)が第1位に挙げられている。

図表 32 高齢社会への対応について (全体 / 複数回答)



(4) 障害者福祉について

問 17 障がい者が生き生きと暮らせるようにするため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

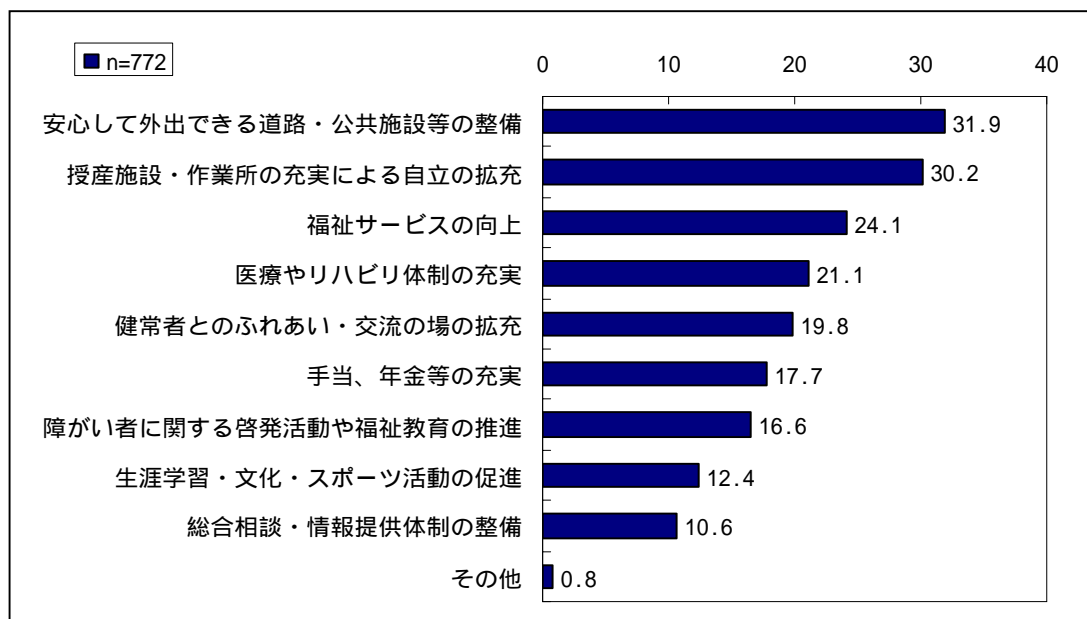
「障がい者が安心して外出できる道路・公共施設等の整備」が第1位。次いで「授産施設・作業所の充実による自立の拡充」、「福祉サービスの向上」の順。

障害者福祉についてたずねたところ、「障がい者が安心して外出できるための道路・公共施設等の整備」(31.9%)が第1位に挙げられ、次いで「授産施設・作業所の充実や就労促進等による自立の場の拡充」(30.2%)、「障がい者に対する福祉サービスの向上」(24.1%)、「障がい者のための医療やリハビリ体制の充実」(21.1%)、「健常者とのふれあい・交流の場の拡充」(19.8%)が続き、多様な取り組みが求められていることがうかがえる。[図表 33 参照]

これを性別でみると、男性では「障がい者が安心して外出できるための道路・公共施設等の整備」(30.2%)、女性では「授産施設・作業所の充実や就労促進等による自立の場の拡充」(33.6%)が第1位となっている。

年齢別でみると、10代・30代・40代・60代・70歳以上では「障がい者が安心して外出できるための道路・公共施設等の整備」(35.5%・37.1%・36.9%・34.1%・26.5%)、20代では「障がい者のための医療やリハビリ体制の充実」(31.5%)、50代では「授産施設・作業所の充実や就労促進等による自立の場の拡充」(35.8%)が第1位となっている。

図表 33 障害者福祉について (全体 / 複数回答)



(5) 子育て環境の充実について

問 18 子育て環境を充実していくために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

問 18 付問 具体的にどのような内容ですか。【“保育所を充実する”と回答した人のみ】

「保育所の充実」と「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」が2大要望。

保育所の充実要望は「低年齢児保育の充実」が他を引き離して第1位。次いで「保育時間の延長」、「保育所の施設の充実」の順。

子育て環境の充実のために重視すべき施策についてたずねたところ、「保育所を充実する」(38.3%)が第1位に挙げられ、次いで「子育てに関する相談・学習・交流の場を充実する」(36.9%)、「学童保育を充実する」(25.1%)、「児童虐待の予防・解消対策を進める」(23.1%)、「児童遊園地・公園を整備する」(20.5%)などの順となっている。[図表 34 参照]

これを性別で見ると、男性では「保育所を充実する」・「子育てに関する相談・学習・交流の場を充実する」(同率 38.2%)、女性では「保育所を充実する」(38.3%)が第1位となっており、男性・女性ともに保育所の充実への要望が高いことがうかがえる。

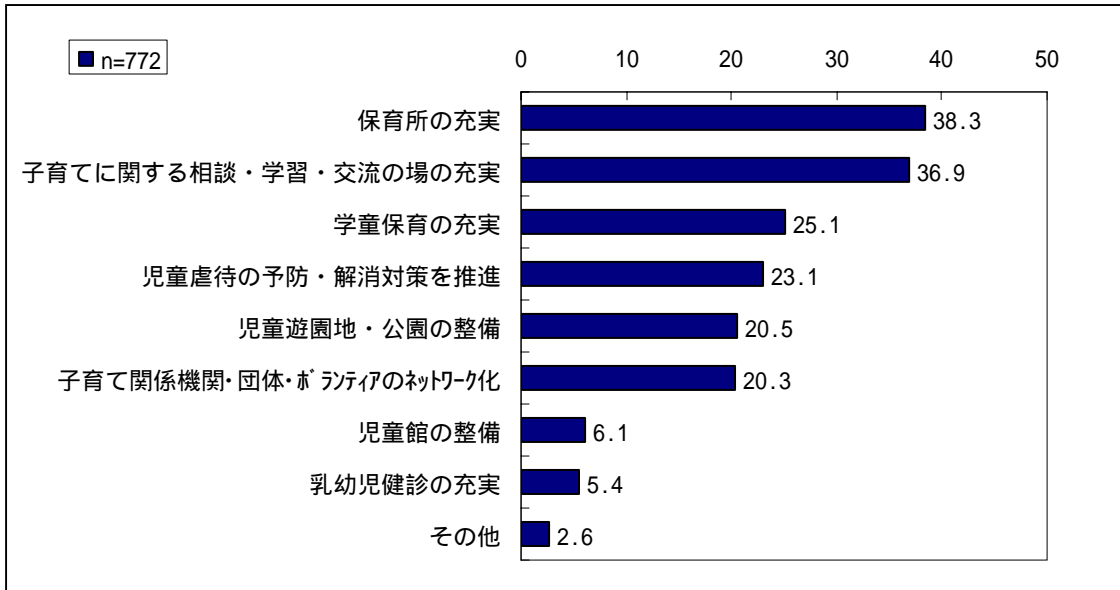
年齢別で見ると、10代では「子育てに関する相談・学習・交流の場を充実する」・「児童虐待の予防・解消対策を進める」(同率 41.9%)、40代・50代・60代では「子育てに関する相談・学習・交流の場を充実する」(35.9%・41.4%・43.9%)が第1位となっているが、20代・30代・70歳以上では「保育所を充実する」(46.3%・52.6%・38.4%)が第1位となっている。

また、「保育所を充実する」と回答した人(全体の 38.3%・296人)に、その具体的な内容をたずねたところ、「低年齢児保育の充実」(36.8%)が最も多く、次いで「保育時間の延長」(29.1%)、「保育所の施設の充実」(16.2%)などとなっている。

[図表 35 参照]

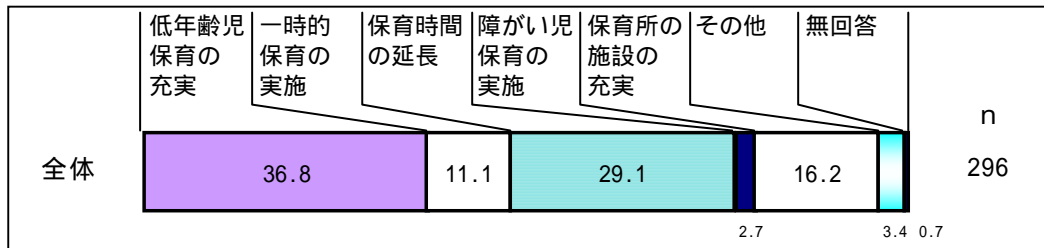
これを性別、年齢別、業種別、居住地別で見ても、ほとんどの層で「低年齢児保育の充実」及び「保育時間の延長」への要望が高いことがうかがえる。[図表 36 参照]

図表 34 子育て環境の充実について（全体 / 複数回答）



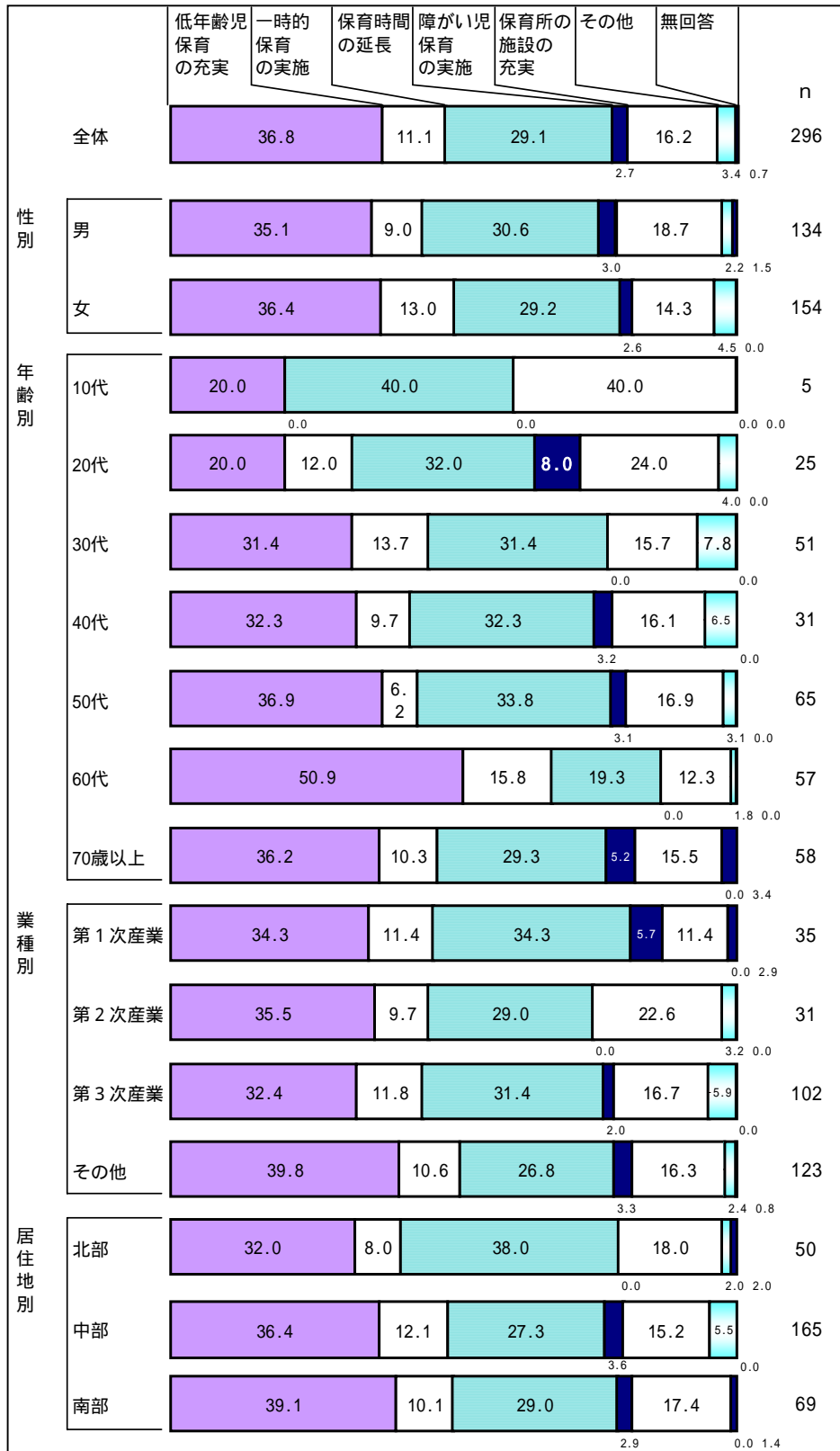
図表 35 保育所を充実する具体的内容

（“ 保育所を充実させる ” と回答した人のみ・全体）



図表 36 保育所を充実する具体的内容

(“ 保育所を充実させる ” と回答した人のみ・全体、性別、年齢別、業種別、居住地別)



7 産業振興について

(1) 農業振興について

問 19 あなたは、市の農業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「農業後継者の育成」が第1位。次いで「低農薬など環境にやさしい農業の振興」の順。

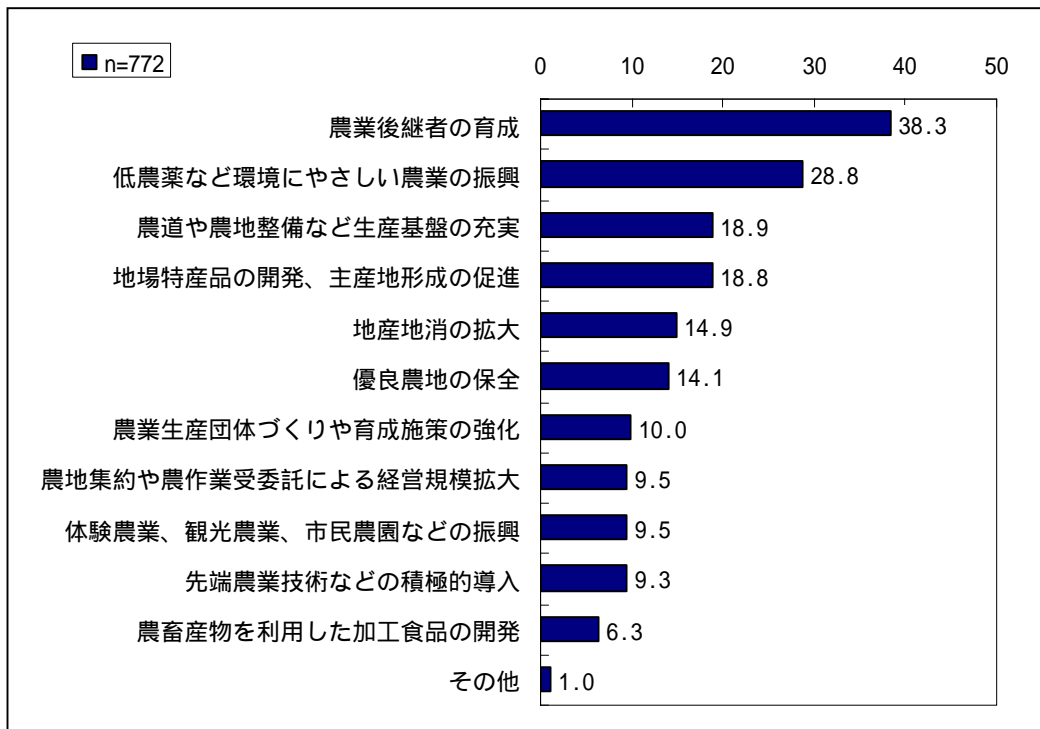
第1次産業従事者の回答では「農道や農地整備など生産基盤の充実」への要望が強い。

農業の振興に必要な取り組みについては、「農業後継者の育成」(38.3%)が第1位、以下「低農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興」(28.8%)が続いており、農業後継者対策や環境に配慮した農業の振興が求められているといえる。その他は「農道、用・排水施設の整備や農地整備など生産基盤の充実」(18.9%)、「地場特産品の開発、主産地形成の促進」(18.8%)、「地産地消の拡大」(14.9%)などの順となっている。

[図表 37 参照]

これに対して業種別の分類による第1次産業従事者(全体の10.6%・82人)の回答をみると、第1位が「農道、用・排水施設の整備や農地整備など生産基盤の充実」(50.0%)、第2位に「農業後継者の育成」(35.4%)、第3位に「地場特産品の開発、主産地形成の促進」(17.1%)が続き、以下、「低農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興」(15.9%)などの順となっている。全体と比較すると、「農業後継者の育成」が重要課題となっていることに変わりはないが、全体で第3位の「農道、用・排水施設の整備や農地整備など生産基盤の充実」が第1位に挙げられており、農業生産基盤の整備に対する要望が強い結果となっている。

図表 37 農業振興について（全体 / 複数回答）



(2) 林業振興について

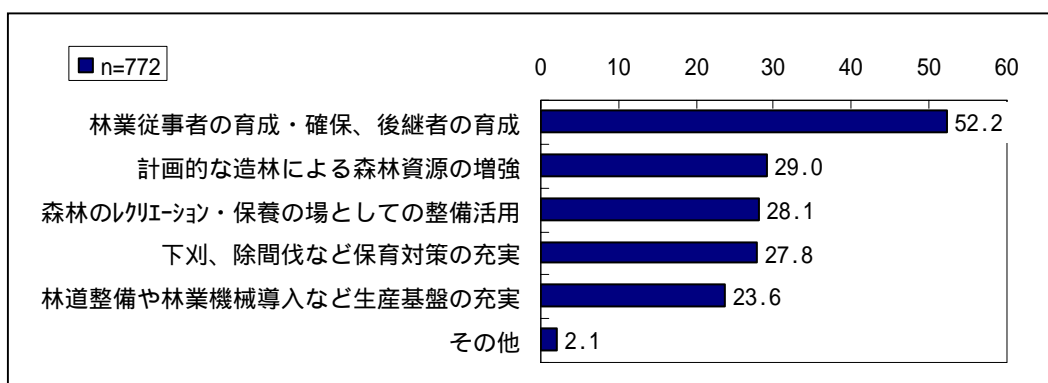
問20 あなたは、市の林業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「林業従事者の育成・確保、後継者の育成」が第1位。
第1次産業従事者の回答では「林道整備や林業機械の導入など生産基盤の充実」が第1位、次いで「林業従事者の育成・確保、後継者の育成」の順。

林業の振興に必要な取り組みについては、「林業従事者の育成・確保、後継者の育成」(52.2%)が他を大きく引き離し第1位に挙げられ、「計画的な造林による森林資源の増強」(29.0%)が第2位、以下「森林のレクリエーション・保養の場としての整備活用」(28.1%)などの順となっている。

これに対して業種別の分類による第1次産業従事者(全体の10.6%・82人)の回答をみると、「林道の整備や林業機械の導入など生産基盤の充実」(43.9%)が第1位に挙げられ、次いで「林業従事者の育成・確保、後継者の育成」(41.5%)、「下刈、除間伐など保育対策の充実」(30.5%)などの順となっている。全体で第5位の「林道の整備や林業機械の導入など生産基盤の充実」が、第1次産業従事者では第1位に挙げられており、林業生産基盤の整備に対する要望が強い結果となっている。
[図表 38 参照]

図表 38 林業振興について(全体/複数回答)



(3) 水産業振興について

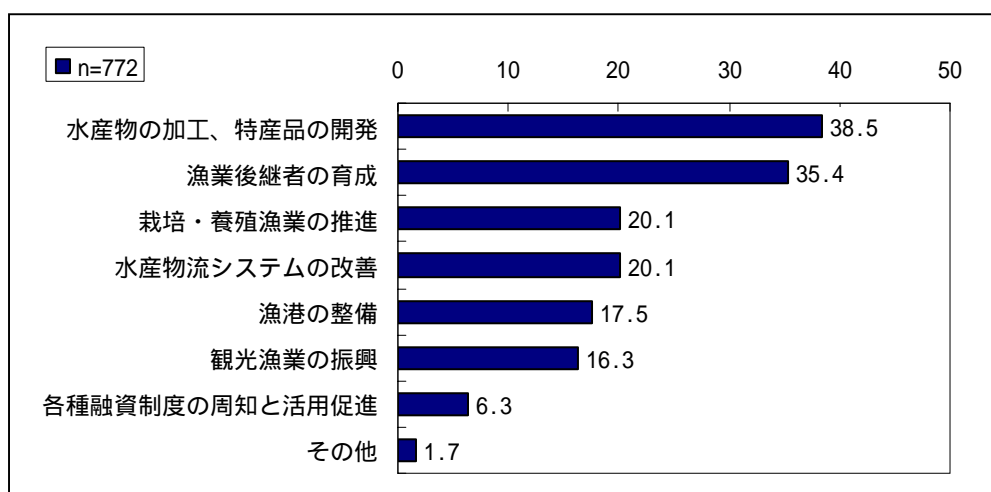
問 21 あなたは、市の水産業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「水産物の加工、特産品の開発」と「漁業後継者の育成」が2大要望。
第1次産業従事者の回答では「栽培・養殖漁業の推進」が第1位。次いで「水産物の加工、特産品の開発」の順。

水産業の振興に必要な取り組みについては、「水産物の加工、特産品の開発」(38.5%)が第1位、僅差で「漁業後継者の育成」(35.4%)が続いており、加工品・特産品への取り組みや漁業後継者対策が求められているといえる。その他は「栽培・養殖漁業の推進」・「水産物流システムの改善」(同率20.1%)、「漁港の整備」(17.5%)などの順となっている。[図表39参照]

これに対して業種別の分類による第1次産業従事者(全体の10.6%・82人)の回答をみると、第1位が「栽培・養殖漁業の推進」(35.4%)、第2位に「水産物の加工、特産品の開発」(29.3%)、第3位に「漁業後継者の育成」(28.0%)が続いている。全体と比較すると、「水産物の加工、特産品の開発」が重要課題となっていることに変わりはないが、全体で第3位の「栽培・養殖漁業の推進」が第1位に挙げられており、“つくり育てる水産業”への要望が強い結果となっている。

図表39 水産業振興について(全体/複数回答)



(4) 商業振興について

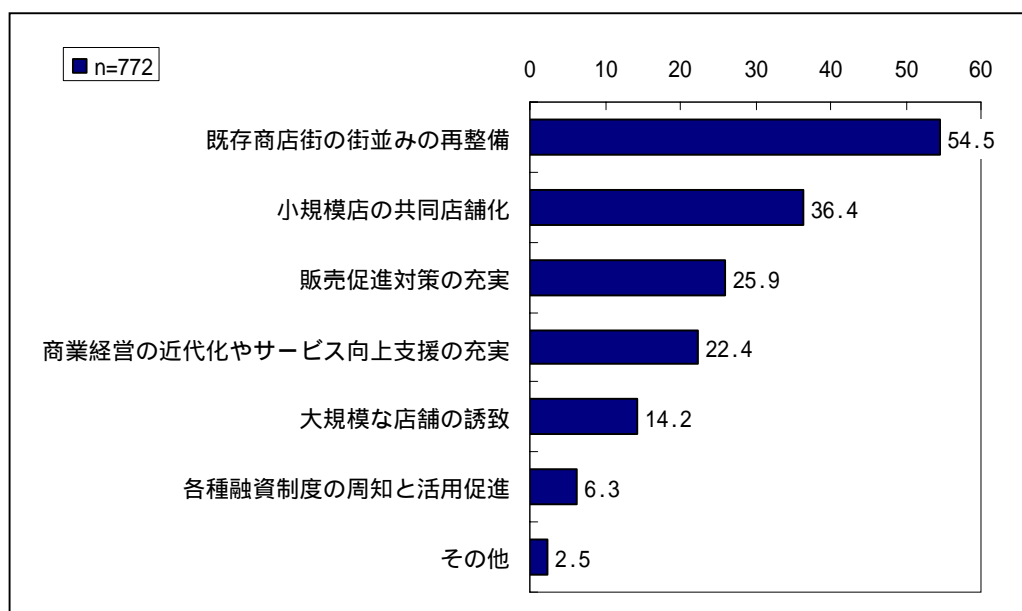
問 22 あなたは、市の商業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「既存商店街の街並みの再整備」が第1位。次いで、「小規模店の共同店舗化による新たな商業核づくり」の順。

商業の振興に必要な取り組みについては、「いこいの場や駐車場の整備、景観づくりなど既存商店街の街並みの再整備」(54.5%)が第1位に挙げられ、次いで「小規模店の共同店舗化による新たな商業核づくり」(36.4%)、「商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実」(25.9%)、「商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実」(22.4%)が続き、以下、「大規模な店舗(スーパーなど)の誘致」(14.2%)などの順となっている。[図表40参照]

これを属性別でみると、すべての属性において「いこいの場や駐車場の整備、景観づくりなど既存商店街の街並みの再整備」が第1位となっており、既存商店街の街並みの再整備への要望が強いことがうかがえる。

図表 40 商業振興について(全体/複数回答)



(5) 工業振興について

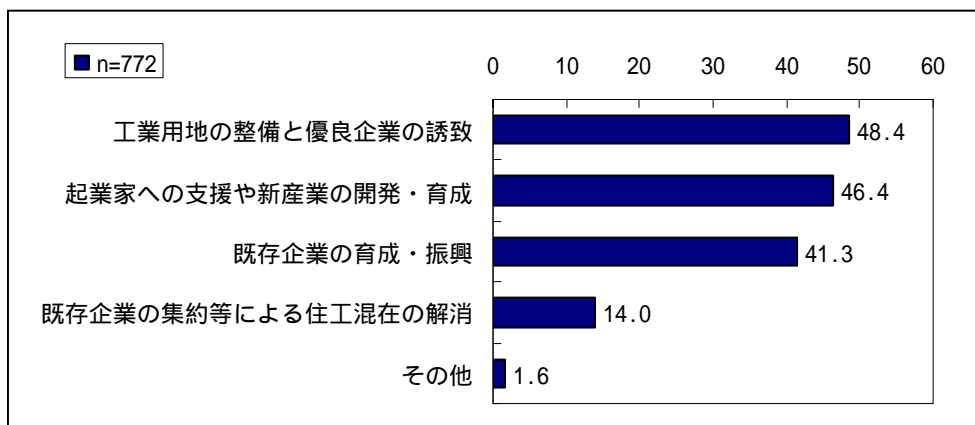
問 23 あなたは、市の工業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「工業用地の整備と優良企業の誘致」が第1位。次いで「起業家への支援や新産業の開発・育成」、「既存企業の育成・振興」の順。

工業の振興に必要な取り組みについては、「工業用地の整備と優良企業の誘致」(48.4%)が第1位に挙げられ、企業誘致による工業の振興が強く求められている結果となっている。次いで「起業家への支援や新産業の開発・育成」(46.4%)、「既存企業の育成・振興」(41.3%)などの順となっている。[図表41参照]

これを業種別にみると、第1次産業従事者と第3次産業従事者では「工業用地の整備と優良企業の誘致」(58.5%・50.2%)が第1位に挙げられ、第2次産業従事者では「既存企業の育成・振興」(45.5%)が第1位となっている。

図表 41 工業振興について(全体/複数回答)



(6) 観光・レクリエーション開発・振興について

問 24 あなたは、市の観光・レクリエーション開発・振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

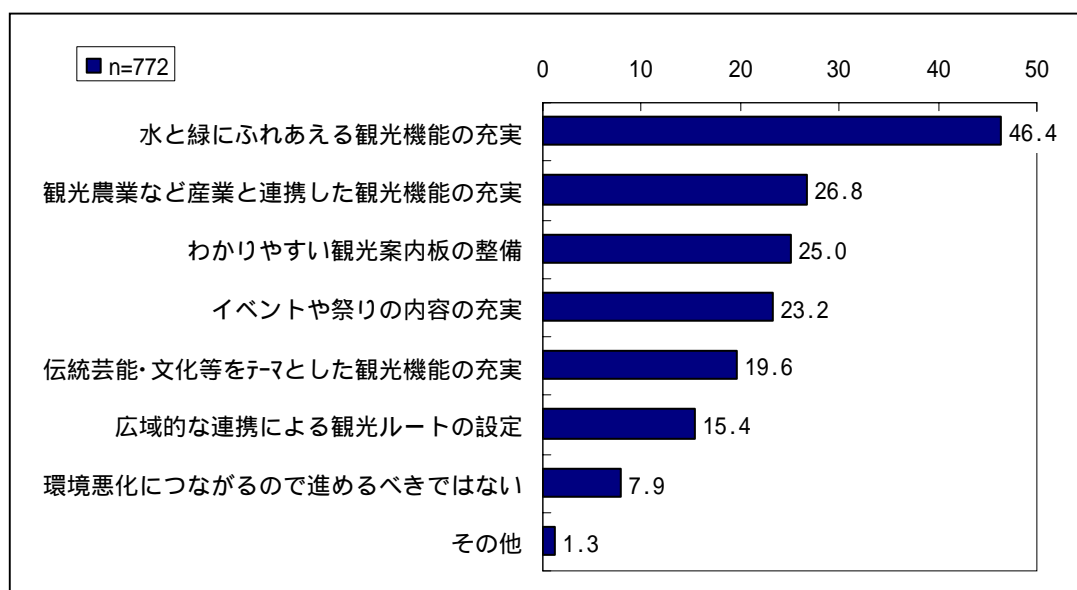
「水と緑にふれあえる観光機能の充実」が第1位。次いで「観光農業など産業と連携した観光機能の充実」が続く。

観光の振興に必要な取り組みについては、「海や河川、森林を利用した水と緑にふれあえる観光機能の充実」(46.4%)が第1位に挙げられ、次いで「観光農業など市の産業と連携した観光機能の充実」(26.8%)が続き、豊かな自然や市の産業など地域資源を活用した観光開発に関心が集まっていることがうかがえる。その他では「わかりやすい観光案内板の整備」(25.0%)、「イベントや祭りの内容の充実」(23.2%)、「伝統芸能・文化遺産をテーマとした観光機能の充実」(19.6%)などの順となっている。なお、「観光開発は、自然環境や生活環境の悪化につながりかねないので進めるべきではない」という意見は7.9%であった。[図表 42 参照]

これを性別で見ると、男性・女性ともに「河川や森林を利用した水と緑にふれあえる観光機能の充実」(47.9%・46.0%)が第1位に挙げられている。

また、年齢別で見ると、10代での第1位回答である「イベントや祭りの内容の充実」は67.7%、20代では第2位回答ながらも42.6%と他の年齢層より多く、若年層では充実したイベントなどの開催による活性化を望んでいる様子が見られる。そのほかの層では「海や河川、森林を利用した水と緑にふれあえる観光機能の充実」が第1位となっている。

図表 42 観光・レクリエーション開発・振興について(全体/複数回答)



8 教育・文化・スポーツについて

(1) 子供の健全育成について

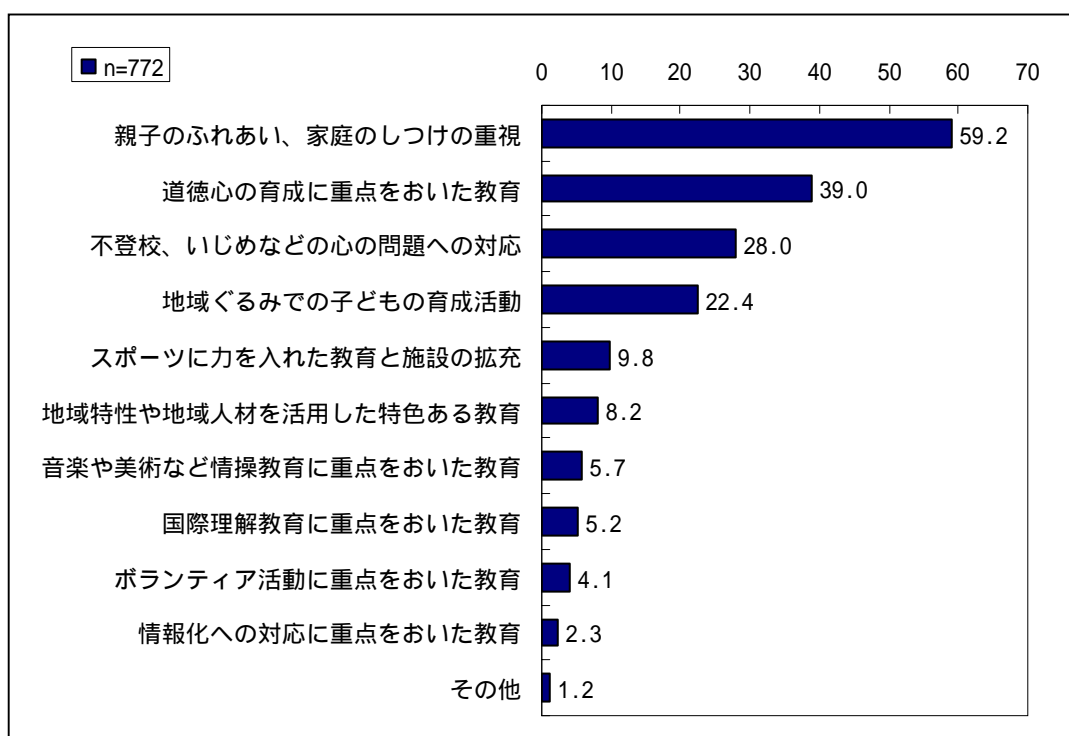
問 25 子供の健全育成が大きな社会的課題となっていますが、豊かな人間教育のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

「親子のふれあい、家庭のしつけ」が他を大きく引き離して第1位。

子供の健全育成について重視すべき点をたずねたところ、「親子のふれあい、家庭のしつけの重視」(59.2%)が他を大きく引き離して第1位に挙げられ、家庭教育の重要性を認識していることがうかがえる。次いで「道徳心の育成に重点をおいた教育」(39.0%)、「不登校、いじめなどの心の問題への対応」(28.0%)、「地域ぐるみでの子供の育成活動」(22.4%)などの順となっている。[図表 43 参照]

これを性別、年齢別でみると、10代で「不登校、いじめなどの心の問題への対応」(45.2%)が第1位となっているが、そのほかの層では「親子のふれあい、家庭のしつけの重視」が第1位となっている。

図表 43 子供の健全育成について（全体 / 複数回答）



(2) 学習・文化、スポーツ活動振興について

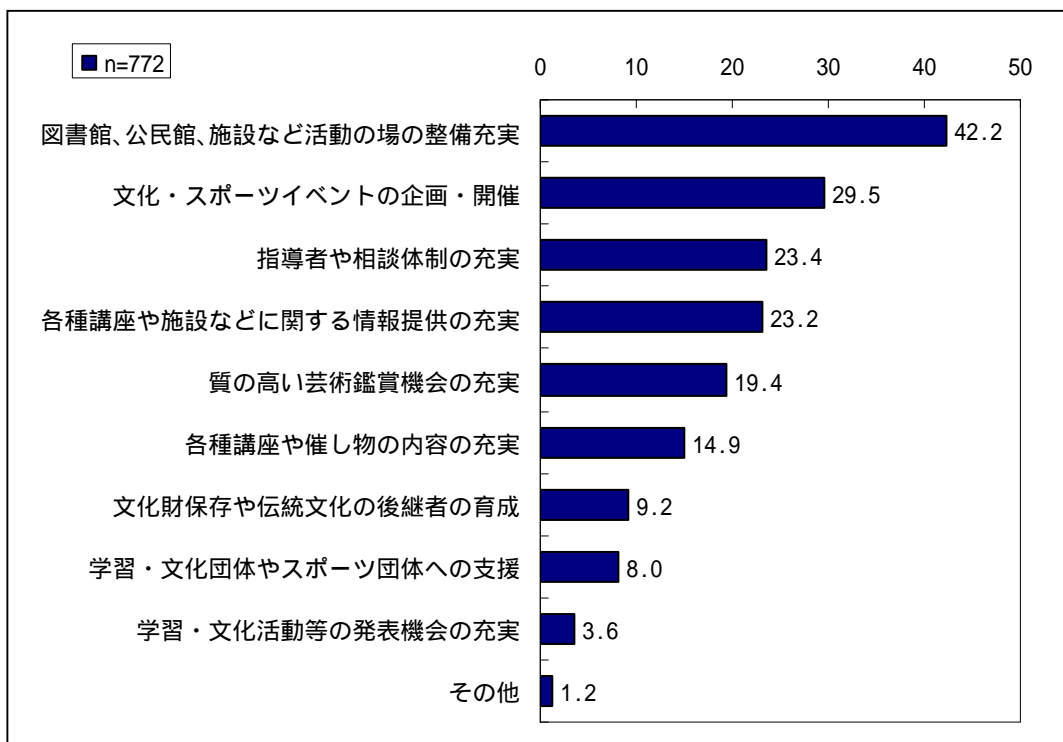
問 26 あなたは、学習活動や文化活動、スポーツ活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。【複数回答】

「図書館、公民館、施設など活動の場の整備充実」が第1位。次いで「文化・スポーツイベントの企画・開催」、 「指導者や相談体制の充実」の順。

学習活動や文化活動、スポーツ活動を活性化するために必要なことは、「図書館や公民館、スポーツ施設など活動の場の整備充実」(42.2%)が第1位に挙げられ、次いで「多くの市民が参加できる文化・スポーツイベントの企画・開催」(29.5%)、「指導者や相談体制の充実」(23.4%)、「各種講座や催し物、施設などに関する情報提供の充実」(23.2%)が続く結果となっており、多様な取り組みが求められていることがうかがえる。[図表 44 参照]

これを性別・年齢別でみると、すべての層で「図書館や公民館、スポーツ施設など活動の場の整備充実」が第1位となっており、各種活動の場の整備充実に対する要望が強いことがうかがえる。なお、10代では「学習・文化活動等の発表機会の充実」との回答が16.1%となっており、他の年齢層より文化活動等への要望が強い傾向がみられる。

図表 44 学習・文化、スポーツ活動振興について(全体/複数回答)



(3) 生涯学習について

問 27 人生を豊かで充実したものにするために、自らが進んで学習活動やスポーツ活動、文化活動、趣味活動などに取り組む「生涯学習」の必要性が叫ばれていますが、あなたは、現在、何か学習をしていますか。また、今後学習をしたいと思いませんか。

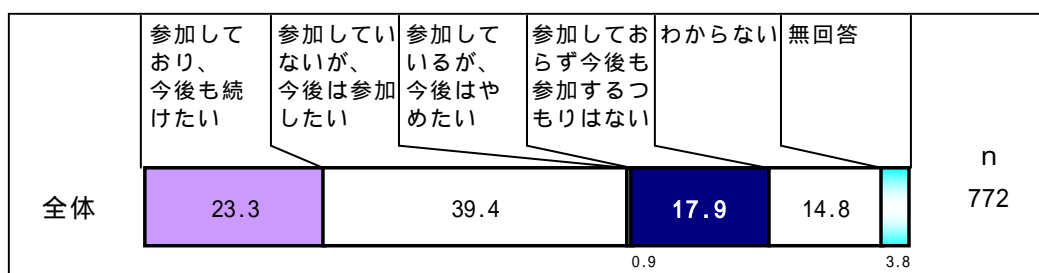
“参加希望”は6割強。

生涯学習への参加状況及び今後の意向についてたずねたところ、「現在は学習に参加していないが、今後は参加したい」(39.4%)が4割弱で最も多く、「現在何らかの学習に参加しており、今後も続けたい」(23.3%)とあわせた“参加希望”は62.7%にのぼっている。

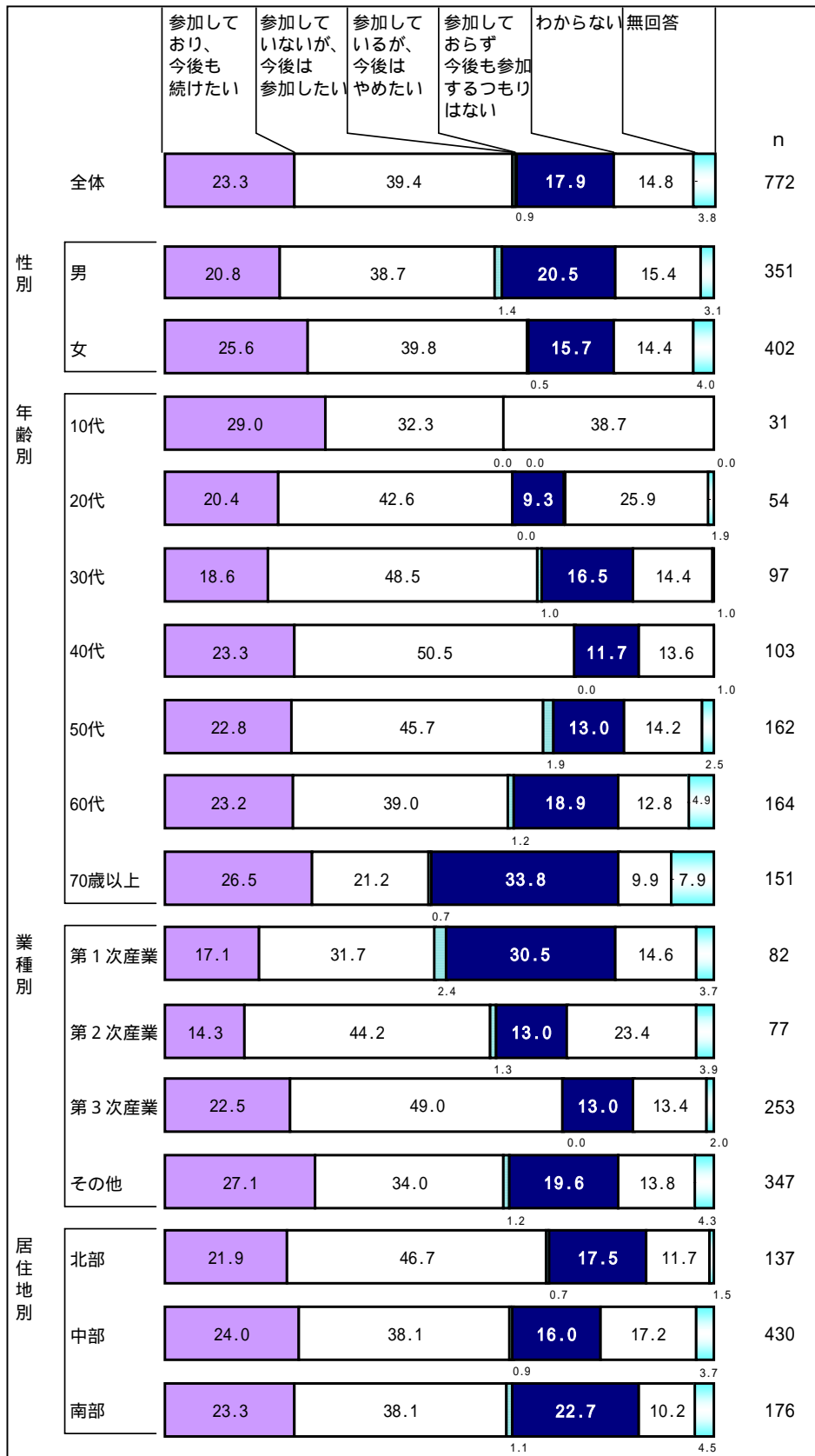
また、“現在参加している”(「現在何らかの学習に参加しており、今後も続けたい」と「現在何らかの学習に参加しているが、今後はやめたい」の合計)という人は24.2%、“現在参加していない”人(「現在は学習に参加していないが、今後は参加したい」と「今も学習に参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の合計)は57.3%となっている。[図表45参照]

性別・年齢別にみると、10代では「わからない」(38.7%)、70歳以上では「今も学習に参加しておらず、今後も参加するつもりはない」(33.8%)という答えが最も多くなっているが、そのほかの層では「現在は学習に参加していないが、今後は参加したい」という答えが最も多くなっており、生涯学習参加への前向きな姿勢がうかがえる。[図表46参照]

図表 45 生涯学習について(全体)



図表 46 生涯学習について（全体、性別、年齢別、業種別、居住地別）



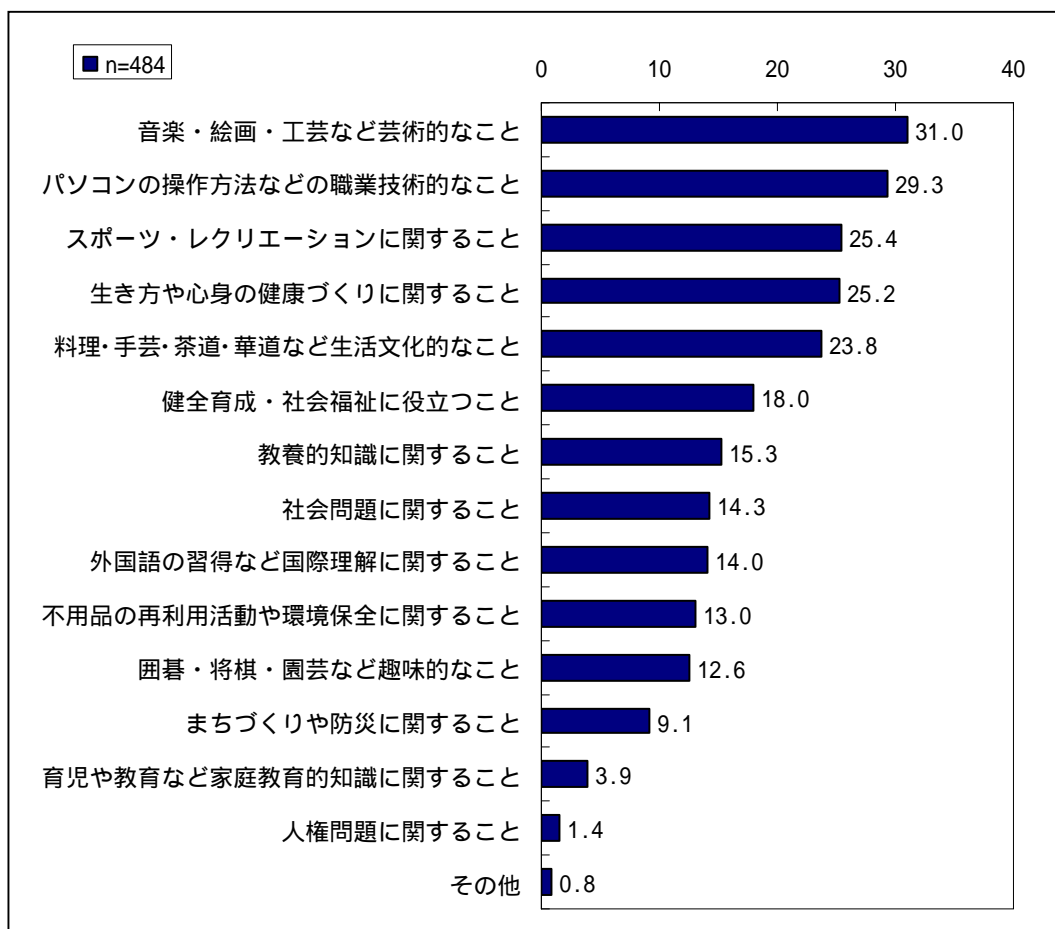
(4) 学びたい・参加してみたいことについて

問 27 付問 あなたは、今どのようなことについて特に学びたい、参加してみたいと思われませんか。【“参加”と回答した人のみ/複数回答】

「音楽・絵画・工芸など芸術的なこと」が第1位。次いで「パソコンの操作方法などの職業技術的なこと」の順。

問 27 において“参加希望”の人(全体の 62.7%・484 人)に具体的な内容についてたずねたところ、「音楽・絵画・工芸など芸術的なこと」(31.0%)が第1位、次いで「パソコンの操作方法などの職業技術的なこと」(29.3%)、「スポーツ・レクリエーションに関すること」(25.4%)などの順となっている。なお、年齢別の10代では「音楽・絵画・工芸など芸術的なこと」という回答が 52.6%となっており、他の年齢層より、芸術への関心が高い様子がうかがえる。[図表 47 参照]

図表 47 学びたい・参加してみたいことについて(全体/複数回答)



9 情報化、国際化、地域間交流について

(1) 高度情報化社会への対応

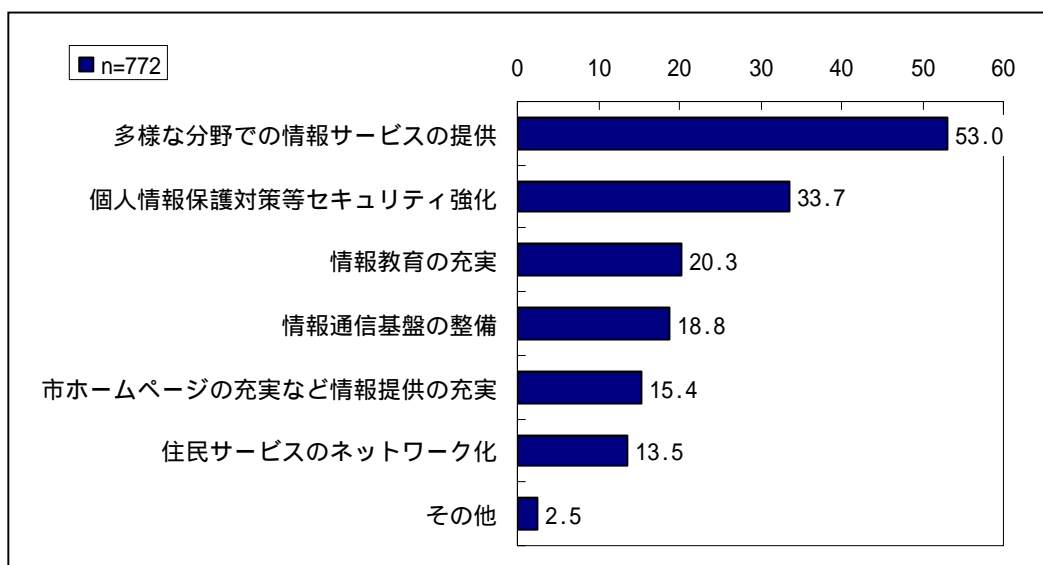
問 28 あなたは、高度情報化社会(情報通信技術の発展により生活利便性が向上する社会)
に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

「多様な分野での情報サービスの提供」が他を大きく引き離して第1位。
次いで「個人情報保護対策等セキュリティ強化」、「情報教育の充実」の順。

高度情報化社会に対応するために必要な取り組みについてたずねたところ、「保健・医療・福祉、生涯学習・文化・スポーツをはじめとする多様な分野での情報サービスの提供」(53.0%)が他を大きく引き離して第1位となり、暮らしに役立つ情報サービスの提供へのニーズが高いことがうかがえる。次いで「情報化に対応した個人情報保護対策等セキュリティ強化」(33.7%)、「学校教育・生涯学習などでの情報教育の充実」(20.3%)などの順となっている。[図表 48 参照]

これを属性別でも、ほとんどの層で全体と同様に「保健・医療・福祉、生涯学習・文化・スポーツをはじめとする多様な分野での情報サービスの提供」が第1位となっているが、年齢別の10代では「情報化に対応した個人情報保護対策等セキュリティ強化」(45.2%)が第1位となっている。

図表 48 高度情報社会への対応 (全体 / 複数回答)



(2) 国際化に向け必要な取り組み

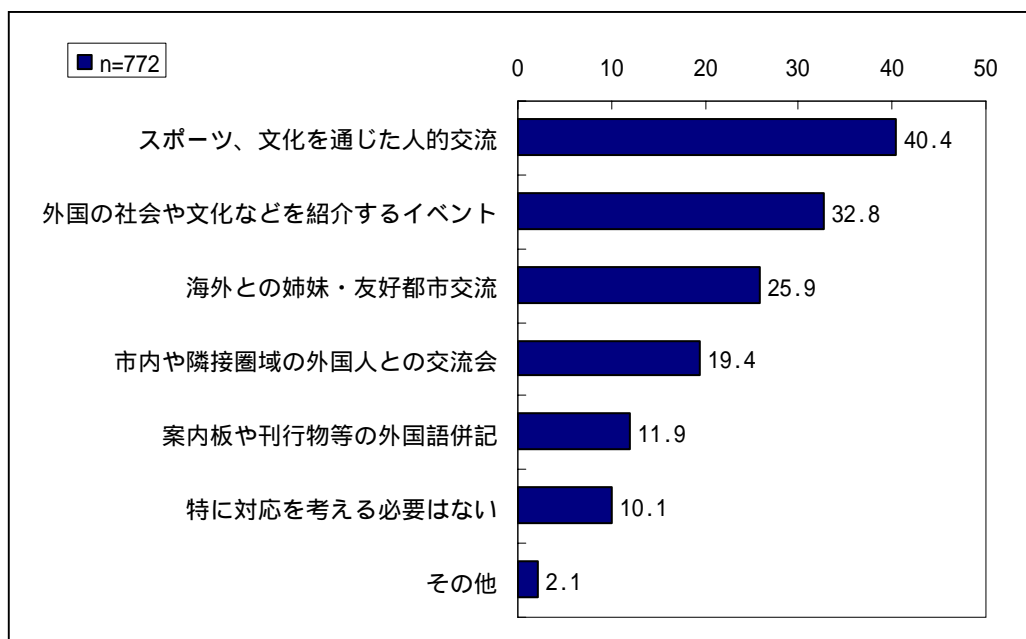
問 29 あなたは、国際化に向けた活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

「スポーツ、文化を通じた人的交流」が第1位。次いで「外国の社会や文化などを紹介するイベント」、「海外との姉妹・友好都市交流」の順。

国際化に向けて必要な取り組みについてたずねたところ、「スポーツ、文化を通じた人的交流」(40.4%)が第1位に挙げられ、次いで「外国の社会や文化などを紹介するイベント」(32.8%)、「海外との姉妹・友好都市交流」(25.9%)、「市内や隣接圏域の外国人との交流会」(19.4%)などの順となっており、「特に対応を考える必要はない」という回答は10.1%であった。[図表 49 参照]

これを属性別で第1位回答をみると、性別の男性・女性とも「スポーツ、文化を通じた人的交流」(41.3%・40.3%)となっている。また、年齢別の10代では「海外との姉妹・友好都市交流」・「スポーツ、文化を通じた人的交流」(同率48.4%)、60代では「スポーツ、文化を通じた人的交流」・「外国の社会や文化などを紹介するイベント」(同率37.8%)、20代・30代・40代・50代・70歳以上では「スポーツ、文化を通じた人的交流」(42.6%・40.2%・42.7%・46.3%・35.1%)がそれぞれ第1位となっている。

図表 49 国際化に向け必要な取り組み(全体/複数回答)



(3) 地域間交流について必要な取り組み

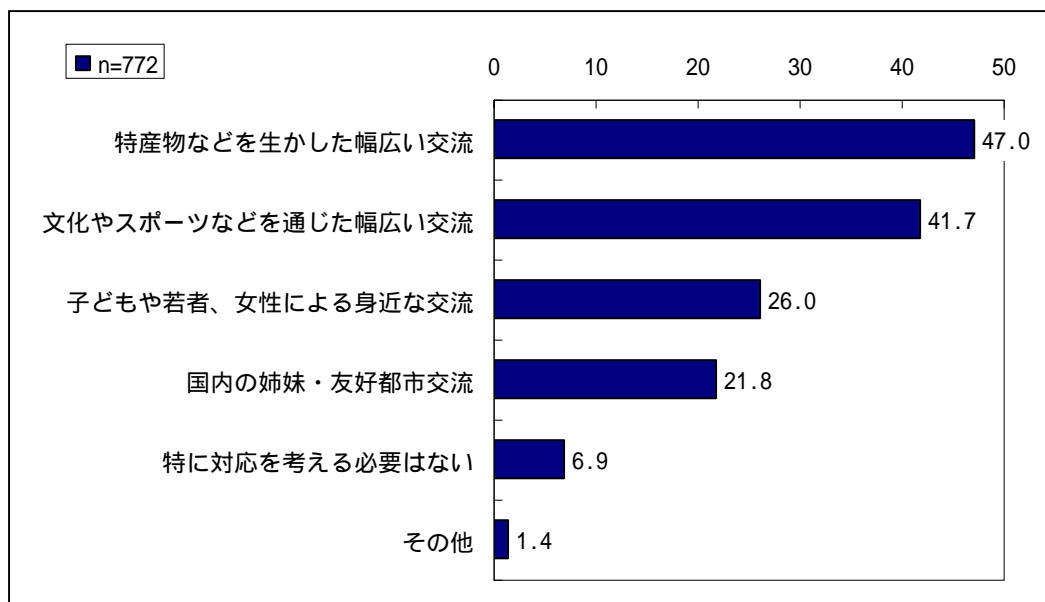
問 30 あなたは、地域間交流について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】

「特産物などを生かした幅広い交流」が第1位。次いで「文化やスポーツなどを通じた幅広い交流」が続く。

地域間交流活動で必要な取り組みについてたずねたところ、「特産物などを生かした幅広い国内地域との交流」(47.0%)が第1位に挙げられ、次いで「文化やスポーツなどを通じた幅広い国内地域との交流」(41.7%)、「子どもや若者、女性による身近な国内地域との交流」(26.0%)、「国内の姉妹・友好都市交流」(21.8%)などの順であった。[図表 50 参照]

これを年齢別で見ると、10代・20代・30代・40代では「文化やスポーツなどを通じた幅広い国内地域との交流」(48.4%・48.1%・38.1%・52.4%)、50代・60代・70歳以上では「特産物などを生かした幅広い国内地域との交流」(53.1%・57.3%・42.4%)が第1位となっている。

図表 50 地域間交流について必要な取り組み（全体 / 複数回答）



10 コミュニティ活動について

(1) コミュニティ活動

問31 地区やグループなどで行われている、さまざまなコミュニティ活動(地域活動)は、これからのまちづくりを進める上で大きな原動力となるものです。あなたは、コミュニティ活動にどの程度参加していますか。

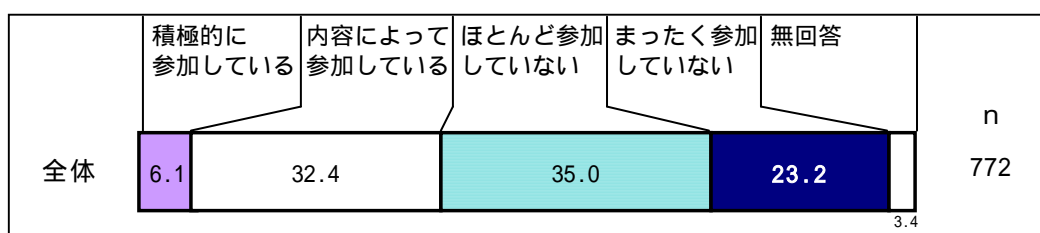
“参加している”は38.5%、“参加していない”は58.2%。

地域活動への参加状況についてたずねたところ、「内容によって参加している」(32.4%)が3割強で最も多く、「積極的に参加している」(6.1%)とあわせた“参加している”という人は38.5%、一方、“参加していない”(「ほとんど参加していない」と「まったく参加していない」の合計)という人は58.2%となっている。[図表51参照]

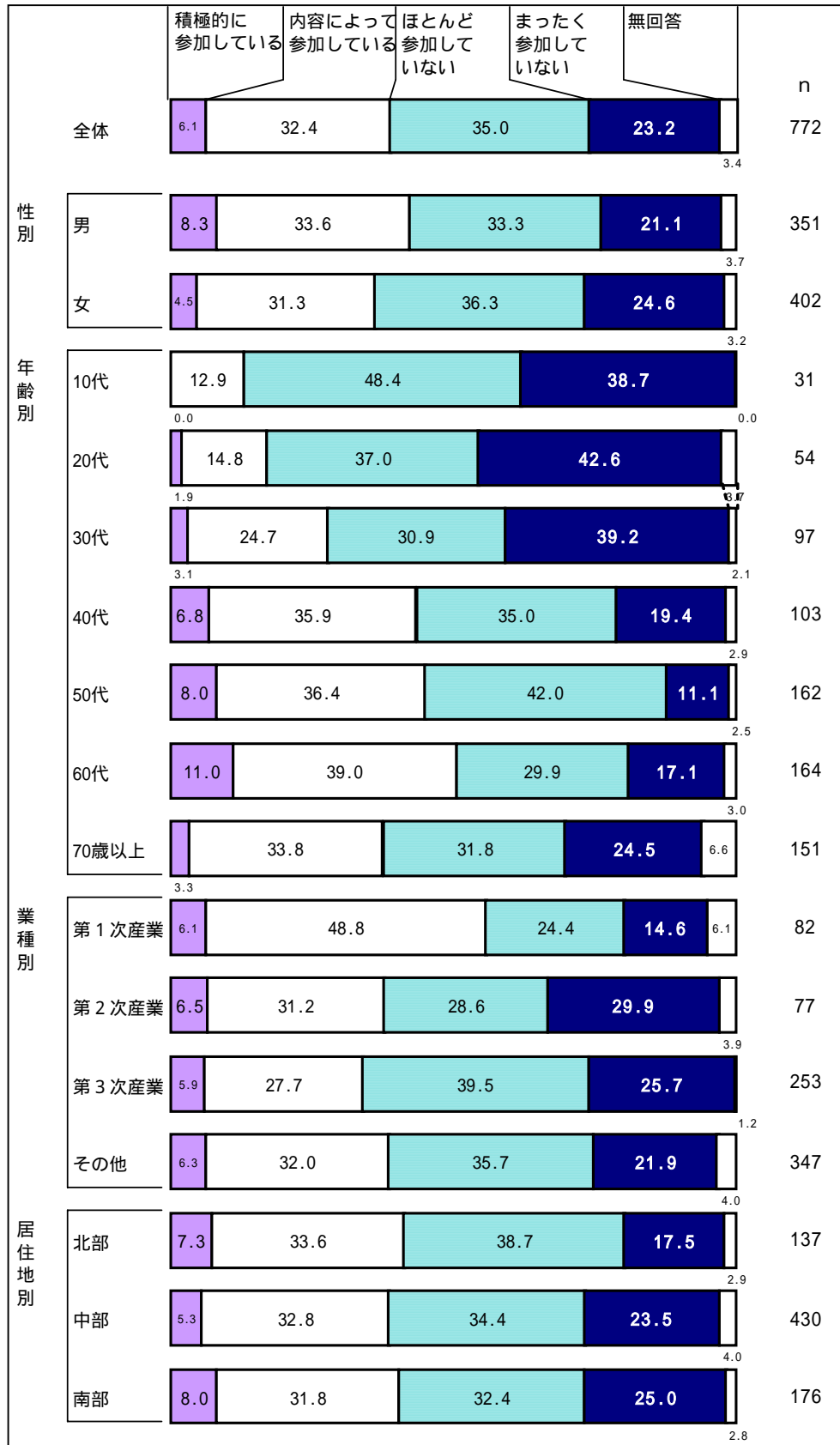
性別で“参加している”率をみると、男性の41.9%に対して、女性では35.8%と若干低くなっている。

年齢別でみると、“参加している”は60代(50.0%)で最も高く、次いで50代(44.4%)、40代(42.7%)、70歳以上(37.1%)、30代(27.8%)、20代(16.7%)、10代(12.9%)の順となっており、10代・20代では“参加していない”(87.1%・79.6%)が“参加している”を大きく上回る。[図表52参照]

図表51 コミュニティ活動(全体)



図表 52 コミュニティ活動（全体、性別、年齢別、業種別、居住地別）



(2) 参加したい活動

問 32 あなたは、次の活動の中で今後(今後とも)参加したいと思われるものは何ですか。
【複数回答】

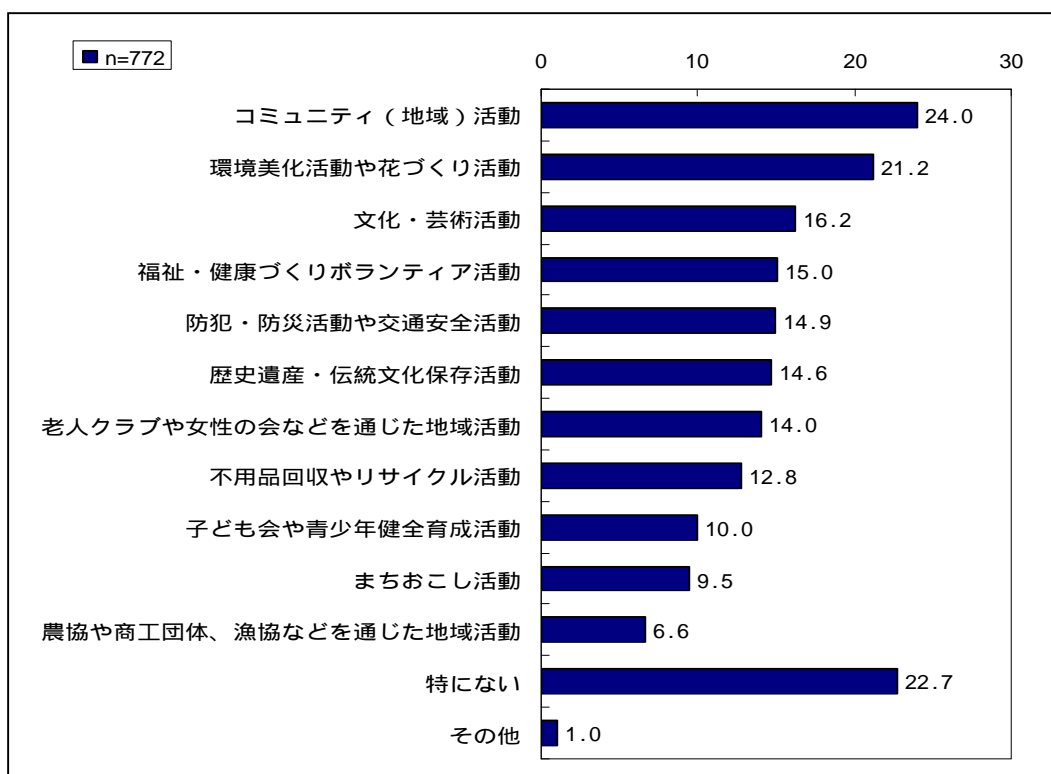
「コミュニティ(地域)活動」が第1位。参加希望の内容は多様。

参加したい活動の具体的な内容についてたずねたところ、「コミュニティ(地域)活動」(24.0%)が第1位、次いで「環境美化活動や花づくり活動」(21.2%)、「文化・芸術活動」(16.2%)、「福祉・健康づくりボランティア活動」(15.0%)、「防犯・防災活動や交通安全活動」(14.9%)などの順となっている。[図表 53 参照]

性別にみると、男性では「コミュニティ(地域)活動」(29.1%)、女性では「環境美化活動や花づくり活動」(23.4%)がそれぞれ第1位となっている。

年齢別にみると、10代では「文化・芸術活動」(32.3%)、20代では「環境美化活動や花づくり活動」・「まちおこし活動」(同率 20.4%)、30代では「子ども会や青少年健全育成活動」・「文化・芸術活動」(同率 22.7%)、40代・50代・60代で「コミュニティ(地域)活動」(26.2%・29.6%・31.7%)、70歳以上では「老人クラブや女性の会(婦人会活動)などを通じた地域活動」(32.5%)が第1位となっており、参加したい活動は性別・年齢別にみても多様であることがうかがえる。

図表 53 参加したい活動(全体/複数回答)



11 ボランティア活動について

(1) ボランティア活動について

問 33 自分の本来の仕事とは別に、地域や社会のために時間や労力・技術などを無償で提供する奉仕活動をボランティア活動といますが、あなたは、今後、ボランティア活動に参加したいと思いますか。

“参加”が47.4%。一方、“不参加”は45.9%。

ボランティア活動への参加意向をたずねたところ、「どちらかといえば参加したくない」が36.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば参加したい」が33.5%、「参加したい」は13.9%、「参加したくない」は9.5%であった。

これを“参加”(「参加したい」及び「どちらかといえば参加したい」の合計)と“不参加”(「どちらかといえば参加したくない」及び「参加したくない」の合計)でみると、“参加”は47.4%、“不参加”は45.9%となっており、“参加”が“不参加”を若干のポイント上回る。[図表 54 参照]

性別でみると、男性・女性ともに“参加”(49.0%・46.0%)が“不参加”(47.0%・45.0%)を上回る。

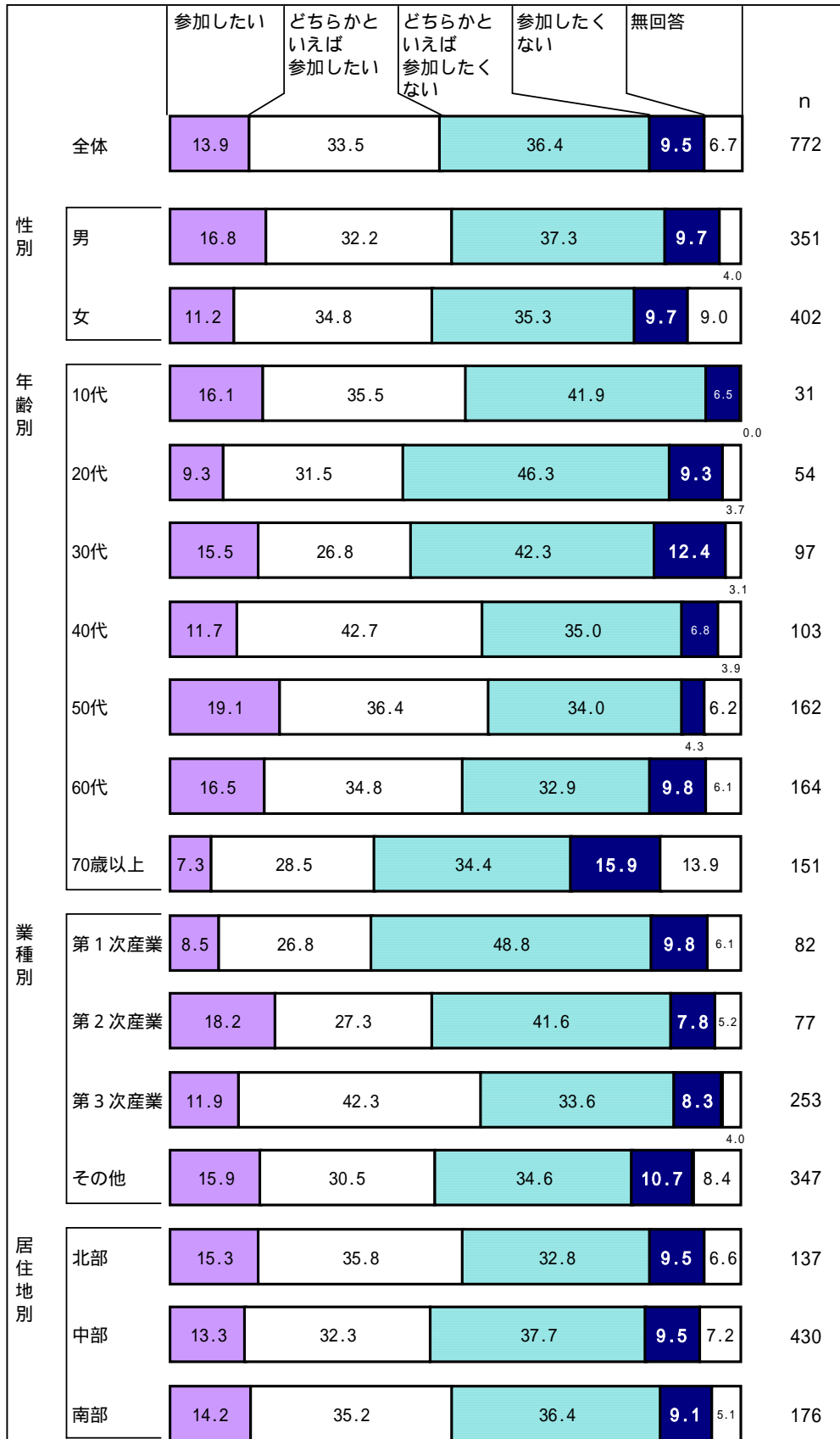
年齢別で“参加”率をみると、50代で55.5%と最も高く、次いで40代(54.4%)、10代(51.6%)、60代(51.3%)、30代(42.3%)、20代(40.8%)、70歳以上(35.8%)の順となっており、20代、30代、70歳以上では“不参加”(55.6%・54.7%・50.3%)が5割を超え“参加”を上回る。

さらに居住地別で“参加”率をみると、北部(51.1%)で最も高く、次いで南部(49.4%)、中部(45.6%)の順となっている。[図表 55 参照]

図表 54 ボランティア活動について(全体)

	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	無回答	n
全体	13.9	33.5	36.4	9.5	6.7	772

図表 55 ボランティア活動について（全体、性別、年齢別、居住地別）



(2) 参加したいボランティア活動

問 33 付問 あなたは、今後(今後とも)どのような活動に参加したいと思いますか。【“参加”と回答した人のみ/複数回答】

「自然保護や環境保全等に関する活動」が第1位。次いで「福祉に関する活動」、「地域づくりやまちおこしに関する活動」の順。

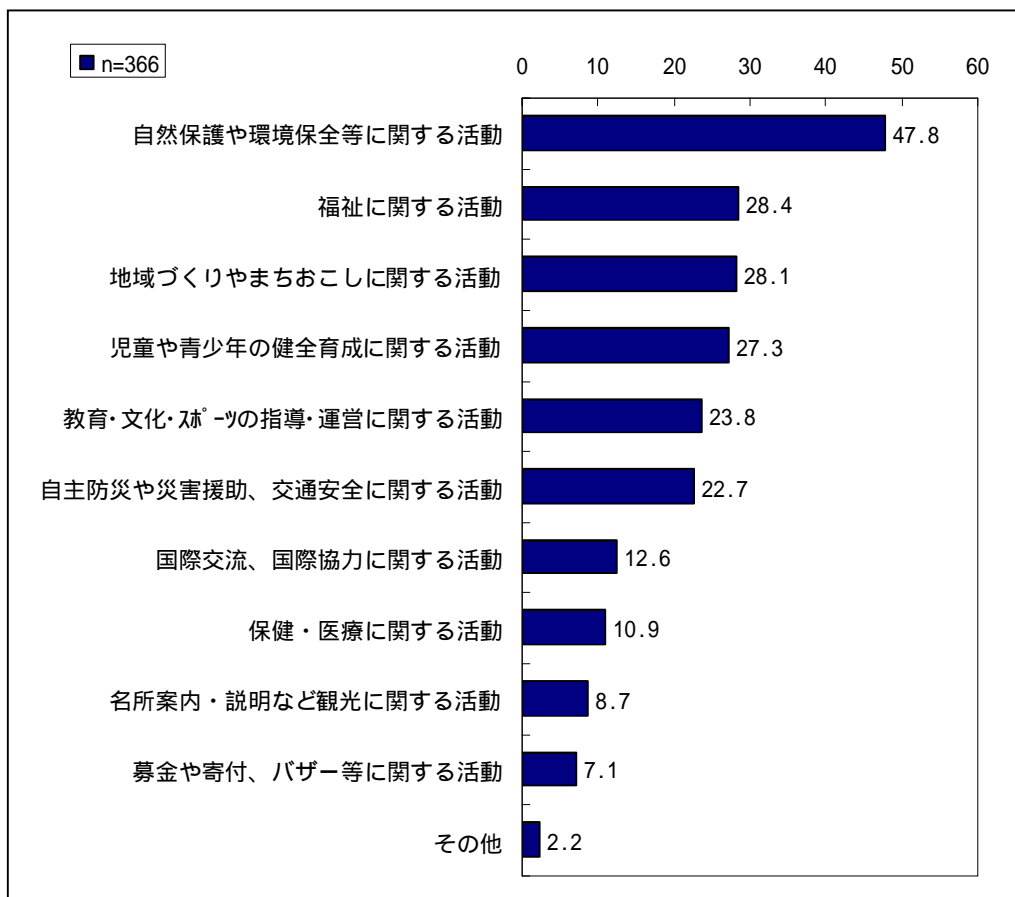
問 33 でボランティア活動に“参加”の意向を持つ人(全体の 47.4%・366 人)にどのようなボランティア活動に参加したいかをたずねたところ、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関するボランティア活動」(47.8%)が第1位に挙げられ、次いで「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関するボランティア活動」(28.4%)、「地域づくりやまちおこしに関するボランティア活動」(28.1%)、「児童や青少年の健全育成に関するボランティア活動」(27.3%)、「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関するボランティア活動」(23.8%)などの順となっている。[図表 56 参照]

性別で見ると男性、女性とも「自然保護や環境保全、リサイクル等に関するボランティア活動」(51.7%・43.8%)が第1位となっている。

年齢別で第1位回答をみると、20代では「自然保護や環境保全、リサイクル等に関するボランティア活動」・「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関するボランティア活動」(同率 31.8%)が、この他のすべての層では「自然保護や環境保全、リサイクル等に関するボランティア活動」が挙げられている。

なお、10代では「国際交流、国際協力に関するボランティア活動」との回答が 37.5%となっており、国際的な活動への参加意向が、他の年齢層より高い様子がうかがえる。

図表 56 参加したいボランティア活動（全体 / 複数回答）



12 行財政について

(1) 行財政で重点をおくべき項目

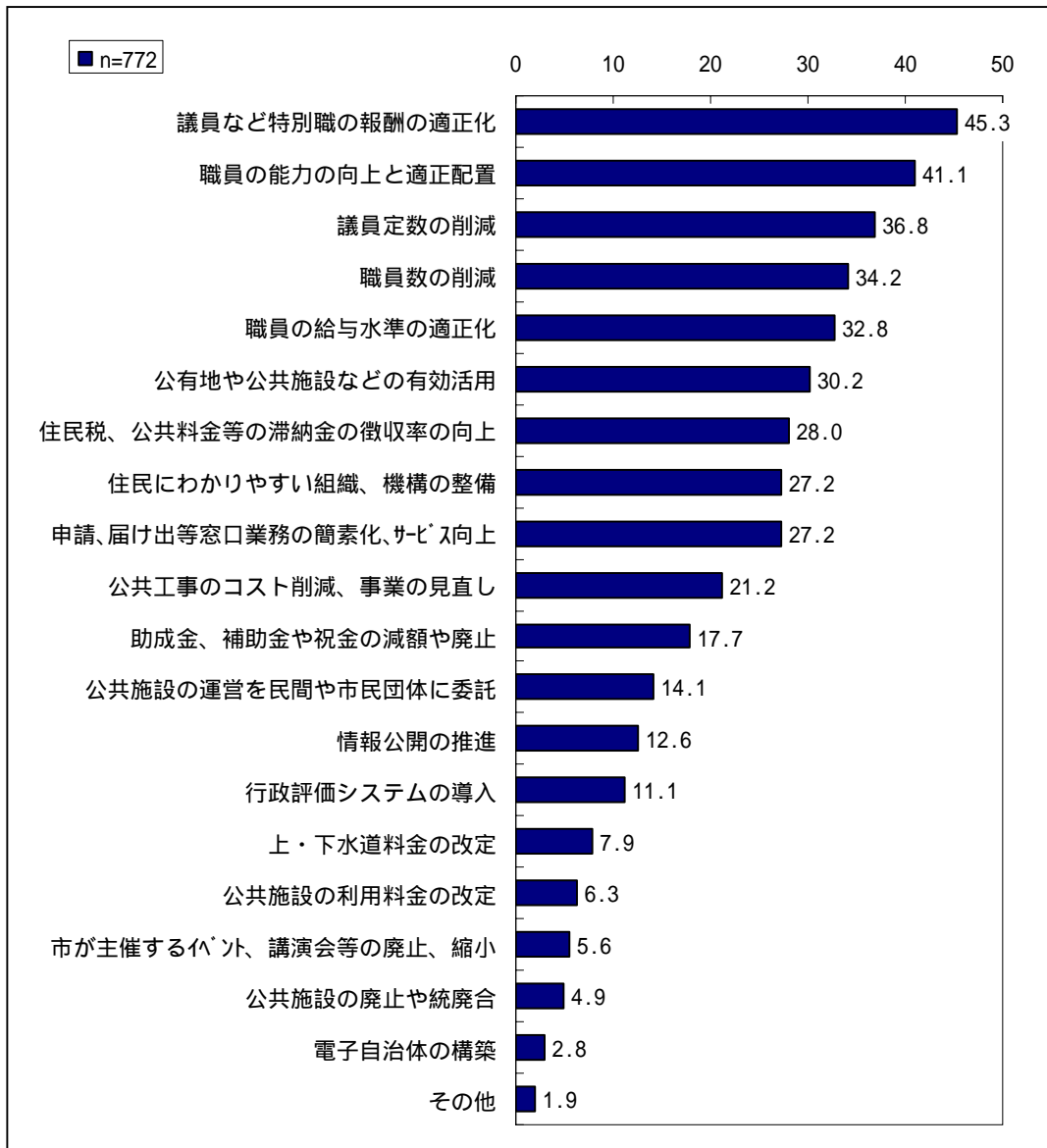
問 34 あなたは、今後の行財政改革で重点をおくべき項目は何だと思えますか。【複数回答】

「議員など特別職の報酬の適正化」が第1位。次いで「職員の能力の向上と適正配置」、「議員定数の削減」の順。

今後の行財政改革で重点をおくべき項目をたずねたところ、「議員など特別職の報酬の適正化」(45.3%)が第1位に挙げられ、次いで「職員の能力の向上と適正配置」(41.1%)が続き、特別職の報酬の見直し、職員の資質向上などに関する項目が上位に挙げられている。その他では「議員定数の削減」(36.8%)、「職員数の削減」(34.2%)、「職員の給与水準の適正化」(32.8%)などの順であった。[図表 57 参照]

これを年齢別で見ると、10代で「住民にわかりやすい組織、機構の整備」(45.2%)、20代・30代・50代・70歳以上では「議員など特別職の報酬の適正化」(53.7%・51.5%・43.8%・44.4%)、40代で「職員の能力の向上と適正配置」(45.6%)、60代で「議員定数の削減」(48.2%)がそれぞれ第1位となっている。

図表 57 行財政で重点を置くべき項目（全体 / 複数回答）



13 広域行政について

(1) 広域行政で必要な取り組み

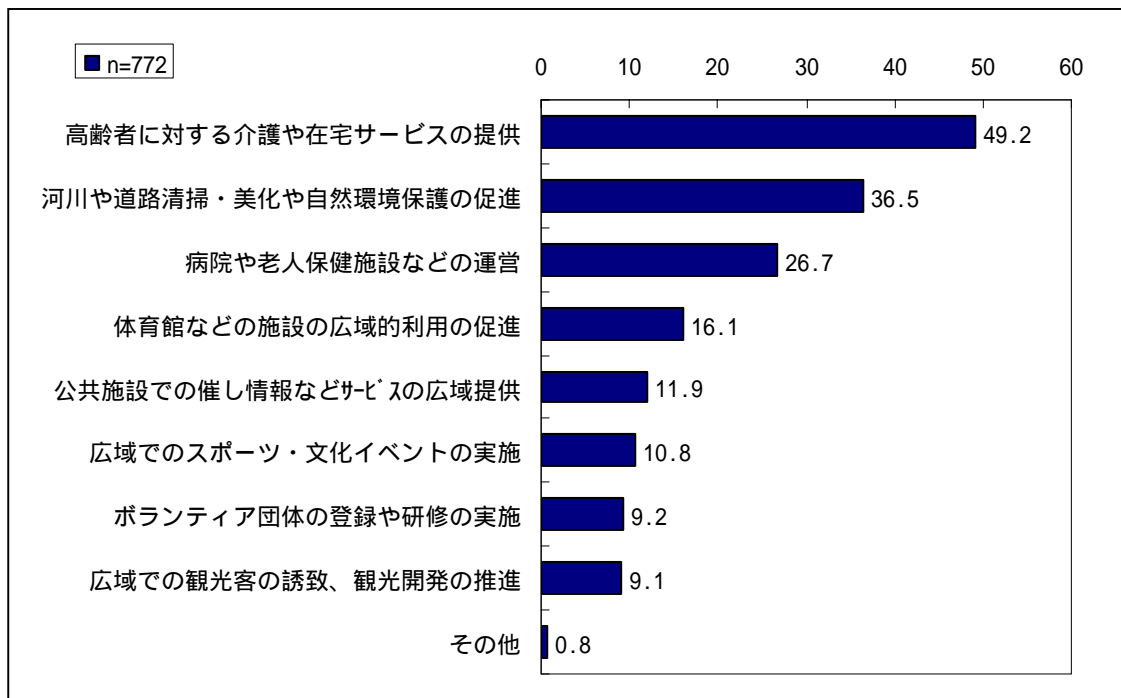
問 35 現在、市では行政サービスの向上のためにごみの処理や消防などで、広域での事業に取り組んでいますが、今後のサービス提供についてどのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

「高齢者に対する介護や在宅サービスの提供」が第1位。次いで「河川や道路清掃・美化や自然環境保護の促進」、「病院や老人保健施設などの運営」の順。

今後、広域事業として取り組むべきことについては、「高齢者に対する介護や在宅サービスの提供」(49.2%)が他を引き離して第1位に挙げられており、特に高齢者介護・福祉サービスの提供を広域で連携して対処すべきと考えていることがうかがえる。その他では「河川や道路の清掃・美化や自然環境の保護の促進」(36.5%)、「病院や老人保健施設などの運営」(26.7%)が続く結果となっている。[図表 58 参照]

これを性別・年齢別で見ると、年齢別の40代では「河川や道路の清掃・美化や自然環境の保護の促進」(43.7%)が第1位となっているが、このほかの層で「高齢者に対する介護や在宅サービスの提供」が第1位となっている。また、年齢別の10代・20代では「体育館などのスポーツ・レクリエーション施設の広域的利用の促進」(25.8%・31.5%)、70歳以上では「病院や老人保健施設などの運営」(33.8%)への要望が比較的強い傾向がみられた。

図表 58 広域行政で必要な取り組み（全体 / 複数回答）



14 市のキャッチフレーズ及び自由意見について

(1) 市のキャッチフレーズ

10年後のあるべき市の姿を、簡単な標語やキャッチフレーズで表現するとしたら、どのようなものが考えられますか。

自由意見欄にキャッチフレーズ等を記入した人は256人と、有効回答者(772人)に対する記入率は33.2%であった。これらの自由記述されたキャッチフレーズ等は全262件となっている(キャッチフレーズは原文と同じ)。[\[図表 59 参照 \]](#)

図表 59 市のキャッチフレーズ(年齢別、性別)

10代

性別	キャッチフレーズ
男性	みんなから好かれる街 南国市 改革 自然と、懐かしさの残る街 第二の県庁所在地 仲良きまち、南国 美しい南国市を 目指せ！！県庁所在地！！
女性	みどり豊かで、きれいな南国市 光ある未来へ 今と変わらん南国市 残そうよ10年後もこのまちを 自然と住みやすい街 人に優しい南国市 生き生きした人たちと南国市 緑の癒しをあなたに与えます

20代

性別	キャッチフレーズ
男性	クオリティーライフ どこにも負けない住み良い市 活気と活力のある街南国市 活気のある親しみやすい南国市 活動する南国市 記憶に残る町づくり南国 輝ける希望の市政南国市 教育都市南国 高齢者に優しいまち 子供たちの未来につなげる南国市 住みやすい南国市 進化 人に自慢できる私の街 緑のまち
女性	安全！活気！充実！ 今もそしてこれからも、みんなの故郷南国市 支えあう南国市 農業と情報の一体出来るまち

30代

性別	キャッチフレーズ
男性	きらめく南国 クリーンで明るい市政 のんびり南国市 自然の多いまち 住みやすい南国 住みよいまち 南国市 住みよい南国 神様が喜ぶ地、南国 神様の祝福都市・南国 南国市、自然と子供があふれる市 明るいまち 南国市 明るい未来南国へ 龍馬空港から韓国へひとつ飛び

性別	キャッチフレーズ
	緑（緑地）と青（海・川・空）に包まれた街・南国市 緑と海と情報化
女性	Freedom & Together いつもニコニコ笑顔の南国市！！ スローライフが生きる街 一人ひとりの笑顔を見守る南国市 活気あふれる街 気候も人もあったかい街なんこく 響きあう心と、いつも聞こえる笑い声 健全で活気のある市 高知県で一番暮らしやすいまち 高齢者に優しい街づくり 子供から高齢になるまで健康で生きがいを見つけられる市 子供から高齢者までやさしく余裕のあるまち 子供の笑顔があふれる緑多き街 市政に対して住民一人一人が責任を持つ社会 時の過ぎゆくままに 自然と文化の街・南国 住みやすい街 人 自然（みどり） かがやく 誰からも愛される南国市 南の国はやさしい住まい 二毛作の南国市は生命の泉～生命の泉である二毛作農業を推進・実行する南国市 暮らしやすい南国市 未来が明るい南国市
不明	いきいき南国市

40代

性別	キャッチフレーズ
男性	<p>「うちの市長は日本一ぜよ」といえるまち</p> <p>「南国」らしい自然、観光面重視、住みやすいまち</p> <p>10年後アットおどろく南国市</p> <p>いきいき未来都市</p> <p>おもしろい 南国市</p> <p>どうぜよ？あんたも南国市に住まんかえ！</p> <p>みんな生き生き南国市</p> <p>安らか南国市...（安全・安心できる街）</p> <p>安心して安全に暮らせる楽しい街</p> <p>医、食、人が安心できる市</p> <p>高知第二の都市南国</p> <p>黒潮土佐の扉：ちょっと寄って行きませんか？</p> <p>産業文化都市</p> <p>子供教育の充実、南国市の農業振興(後継者育成)</p> <p>住みたいな 南国市</p> <p>笑顔でゆきかう街</p> <p>人にも自然にもやさしい心豊かな街づくり</p> <p>豊かな自然、豊かな暮らし</p> <p>豊かな心で豊かな地域づくり</p>
女性	<p>あったかい人々、あかるい人々、あつい人々の南国人</p> <p>ふれ愛たすけ愛のまちなんこく</p> <p>まほろばの地に、ゆたかなこころ集い、すこやかな明日へ。</p> <p>みんないきいき明るいくらし</p> <p>温故知新を感じられる南国市で心豊かに！</p> <p>何でもやります南国市</p> <p>子どもから高齢者までが安心して住める緑の多い都市</p> <p>子供から老人まで笑顔がいっぱいの南国市</p> <p>自然いっぱい健康いちばんいきいき南国市</p> <p>自然にも、人にも優しい豊かなまち</p> <p>将来、子供が住みたいと思う町</p> <p>心に花さく</p> <p>心豊かで緑豊か 安全で安価 暮らしやすい南国市</p> <p>生き残れるか南国市</p> <p>生き生きと緑の文化 - 南国市！ -</p>

性別	キャッチフレーズ
	青い空に白い雲、笑顔の似合う南国の地 大家族で仲良く話せる南国市 暮らしやすいまち、南国市 豊かな人生 南国市 来る道行く道迎える道

50代

性別	キャッチフレーズ
男性	10年後、今の小学6年生が全員市内に住みたいと思う南国市 きれいな海と川でのんびり歩く南国市 このままで明日があるか南国市 なぜか？なんこく！ 皆様が元気でいられる南国市 環境保全都市（環境保全文化都市） 輝く未来 南国市 元気な南国 左右上下百成市 市内消費 100% 支えあい、もっと住みよい南国市 自然豊かな南国市！ 心の中に"ゆとり"のある毎日 人と自然が調和した元気都市 世界に開かれた緑豊かな南国市 草花の薫る未来都市 土佐のまほろば南国市、気持ちふれあい、和気あいあい 日本一「安全」な市 明るい笑顔と安全なまち南国市 陽光あふれる南国市
女性	Light city あなたがつくる豊かな都市 いつまでも若さを保とう南国市 かなえよう！生かされているまちづくりを！次代に継げる誇れる郷土作りを！ きれいな南の国 フレッシュ・南国 ぼっちり

性別	キャッチフレーズ
	<p>ようこそ高知の玄関、南国市へ</p> <p>安心安全（明るいまち・住みたいまち）南国市</p> <p>海、山、川、なくすな自然あふれた南国市</p> <p>環境を整える自然の中に生きる</p> <p>健全笑顔の南国市</p> <p>好きです、離れたくない、離れられない、南国市</p> <p>高齢者にやさしい緑のまち</p> <p>今日も明日もあさっても、自然と一緒に楽しく生活</p> <p>自然と共存できるやさしい南国市</p> <p>自然に優しい心豊かなまち南国市</p> <p>自然豊かな南国高知</p> <p>生き生きと笑顔の南国市民</p> <p>生き生き元気健康文化都市</p> <p>声かけ合い頑張れる南国市</p> <p>全世代で支えあうバランスの良い社会</p> <p>豊かな自然と豊かな心で暮らせる市</p>
不明	<p>ホットする南国市</p> <p>各世代が各々元気</p>

60代

性別	キャッチフレーズ
男性	<p>サンサンと空澄み渡る南国市</p> <p>みどりと文化の町 なんこく市</p> <p>一度は住んでみたい南国市</p> <p>快適で心豊かな生活が送れる田園都市</p> <p>各世代か行動で連携した元気なまち</p> <p>環境良く便利さバツグン南国市</p> <p>空気と水のきれいなまち</p> <p>健康と長生</p> <p>高知市との合併</p> <p>子供の歓声が聞こえる中山間地</p> <p>子孫のため守り続けよう田園都市南国</p> <p>子等の声 はじめて楽し 南国市</p> <p>住みよい町</p> <p>住みよい南国市</p>

性別	キャッチフレーズ
	<p>住んでたのしい町 住んで良かったまち 食の安全安心は地域をつなぎ全国に友をつくる 人口、市民所得 10%アップし市財源 10%アップ 生きた青空 緑の南国 生まれて来てよかったこのまち 太平洋...明るい南国市 大河のようなまち 津波の来ない南国市に県庁を移そう 豊かさと活力のある都市(南国市) 夢もてる、安住の地南国市 理想のまち南国市 緑と花とやすらぎのまち 老人や子供が安心して住める街</p>
女性	<p>あかるい町 南国市 キラキラと皆で輝く南国市 フレンド南国市 めざせ黒字経営 らぶ・タウン・なんこく 活気ある南国市 環境にやさしい南国市 県民が一度は住みたい南国市 子供を増やそう 思いやり心の通う南国市 自然、輝く笑顔でふれ合う南国市 住みたくなる南国市 住みよい南国市 助け合いのくらし豊かな南国市 人と自然にやさしい緑のまち 爽やかに、みどりの風キラリ南国市 地かため 未来の笑顔 足もとに 日本一住みよい南国市 豊かな田園都市 南国 未来には、大都市の、花一輪の、まちとなれ 明るい南国市、緑の美しい南国市</p>

性別	キャッチフレーズ
	明るく、元気 明るく自然いっぱいのわが故郷南国市 優しく活気のある町南国市 緑と文化の街南国市 老いも若きも笑顔で暮らす南国市 老人も若者も住みやすい南国市
不明	光と緑の市

70 歳以上

性別	キャッチフレーズ
男性	おらくのなんごく きちっと締まった南国市 ほたる舞い飛ぶ南国平野 みんなイキイキ元気な街 よく働き、よく納め適切な運用による福祉社会を 介護老人のいない南国市 健康で明るい南国市 公害の無い南国市に 国際交流と産業文化の都市づくりを... 今も昔もスローライフ 住みよい暮らしよい田園都市南国 人様の痛みがわかる子が宝 青い海、波うつ稲穂、緑豊かな南国市 他の市より誇れる南国市でありたい 南国の自然を生かそう 南国市を農業と文化の街に 豊かな自然と歴史のまち、未来を開く産業と健康福祉のまち、南国市 明るい住みよい街を自分の足で歩ける 10 年後 陸・海・空、調和のとれた南国市 緑ゆたかな教育文化の都市（まち）なんごく 老人に優しいマホロバ
女性	さやさやと稲穂波打つ南国市 さわやか ひまわり みんなニコニコ明るい南国市

性別	キャッチフレーズ
	<p>皆んなで築く、明るく、健やかな文化のまち</p> <p>頑張ろう、ゆとり、明るい南国市</p> <p>健康で活気溢れる街</p> <p>健全な南国市は健康な家庭生活から</p> <p>高知副都市輝くなんこく</p> <p>高齢者でも生き生き暮らせる南国市</p> <p>借金増やすな子供を増やせ</p> <p>手をつなぎ福祉の力、未来まで</p> <p>正直に生きて得する南国市</p> <p>生々（イキイキ）ドキドキ南国市</p> <p>声かけあえば、必ずかえるよ、よい返事</p> <p>青い空、海、伸びゆく南国市</p> <p>発展とやすらぎの調和</p> <p>美しく、豊かであったか、南国市</p> <p>不正の無い明るく平等な市政</p> <p>平和な南国市</p> <p>豊かな自然 優しい心</p> <p>輪が広がる、みんなで築く明るい南国市</p>
不明	<p>セイフティー・クリーン・タウン(シティ)・南国</p> <p>環境の保護と長寿の南国市</p> <p>健康で長生き出来る南国市をめざせ</p> <p>健康文化都市・活力ある南国市に！</p> <p>元気都市南国</p> <p>住みよい南国市にしようね</p> <p>福祉社会</p>

(2)自由意見

最後に、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて市の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがありましたら、率直なお考え、ご要望をお聞かせください。

自由意見欄に意見等を記入した人は306人(居住地不明者含む)と、有効回答者(772人)に対する記入率は39.6%であった。これらの自由記述された要望や意見を集約すると記入された意見は全514件となっている。[図表60参照]

集約された意見を、「生活環境・基盤分野」、「福祉・保健・医療分野」、「教育・文化・スポーツ分野」、「産業分野」、「行財政・まちづくり・その他分野」という5つの分野で区分し、居住地別に件数・意見の内容をまとめると以下のとおりとなる。[図表61参照]

図表60 自由意見の記入状況(全体、居住地別)

	全体	居住地別			
		北部	中部	南部	居住地不明
自由意見記入数	306	49	175	71	11
有効回収票数	772	137	430	176	29
記入率(%)	39.6	35.8	40.7	40.3	37.9
意見の件数	514	89	294	112	19

図表 61 自由意見の記入内容（全体、居住地別）

北部（90件）

生活環境・基盤分野

項目	自由意見	意見数
道路	街灯の整備	4
	緊急車両が通れるような道路の整備	1
	側溝・排水路の整備	1
	通学路の整備	1
	道路の整備	1
	道路端の側溝と道路の境の整備	1
	鷹ヶ池中学校から北の道路の拡幅	1
	歩道の整備	1
	計	11
上・下水道	上下水道の完備	1
	上下水道の整備	1
	上水道の整備	1
計	3	
ごみ・し尿・リサイクル	ゴミの分別の徹底	1
	家庭でのビニール類焼却禁止の徹底	1
	焼却炉でのゴミ処理料金を安くしてほしい	1
計	3	
河川・海岸	国分川堤防の整備	1
計	1	
消防・防災、防犯・交通安全	カーブミラーの整備	1
	災害時の避難場所の整備	1
	山間部における避難路の整備	1
	信号の整備	1
	地震対策の充実	1
	不審者の見回りの強化	1
	防災施設・防火水槽・消火栓の整備	1
	防犯灯の設置	1
計	8	
その他	テレビや携帯電話の電波が入るようにしてほしい	1
	農地を宅地へと転換してほしい	1
計	2	

教育・文化・スポーツ分野

項目	自由意見	意見数
教育施設・内容	教育レベルの引き上げ	1
	若者の倫理教育	1
	他人への思いやりがあるような子供の育成	1
計	3	

項目	自由意見	意見数
文化活動・施設	図書館・文化ホールの建設	1
	図書館の充実	1
	図書館の整備	1
	計	3
その他	市民参加イベントの充実	1
	計	1
河川・海岸	国分川堤防の整備	1
	計	1

保健・医療・福祉分野

項目	自由意見	意見数
児童福祉・子育て支援	保育料の見直し	1
	計	1
障害者福祉	障害者福祉の充実	1
	計	1
高齢者福祉	介護施設の件数を増やしてほしい	1
	老人福祉施設の充実	1
	計	2
その他	バリアフリー化の推進	1
	家族数の多い家庭や収入が少ない家庭により多くの支援を	1
	核家族化防止対策の充実	1
	福祉の充実	1
	計	4

産業分野

項目	自由意見	意見数
農林業	農林業の振興	1
	計	1
商工業	スーパーがほしい	1
	大型スーパーが欲しい	1
	中心商業地の再開発	1
	北部への量販店の誘致	1
	計	4
雇用対策・企業誘致	雇用対策の充実	1
	計	1
その他	御免駅・空港付近の活性化	1
	産業の活性化	1
	バッティングセンターの設置	1
	計	3

行財政・その他分野

項目	自由意見	意見数
住民サービス・住民負担	税金が高い	3
	住民サービスの向上を	2
	サービスの徹底	1
	市街化農地の税金について見直しを	1
	支所の窓口業務（申請、届出等）の拡大と充実	1
	住民負担の軽減を	1
	税金を安くしてほしい	1
	計	10
職員	職員の資質向上	5
	職員数の削減	1
計	6	
議員	議員数の削減	1
	議員報酬の削減	1
計	2	
公共施設	公共施設の充実	1
	市役所の美化	1
	市役所を年中無休に	1
計	3	
行財政	公共事業は地元企業に優先的に発注すべき	1
	行政のスリム化	1
	十分な計画の下に採算性のある施策をすべき	1
	平等な行政を望む	1
計	4	
まちづくり	高齢者の住みよいまちづくり	1
	若者にとって魅力のあるまちづくり	1
	住んで良かったと思えるまちづくり	1
	本当の幸せづくりのできる南国市	1
計	4	
定住対策	定住対策の促進	1
計	1	
その他	少子化対策の充実	1
	行政と市民の心の支え合いが必要	1
	高齢・過疎対策に取り組むべき	1
	市役所へのアクセス向上	1
	住民自治意識の向上を	1
	他人の立場に立って互いに助け合うべき	1
	民間ではできないことを行政が行うべき	1
	計	7
総計	89	

中部（294件）

生活環境・基盤分野

項目	自由意見	意見数
道路	道路の拡幅	4
	道路の整備	3
	歩道の整備	3
	市道拡幅	2
	J R からサンシャインへの道路整備	1
	へんろ石～鳶ヶ池中までの道路整備	1
	空港周辺の道路のヤシ並木道の充実	1
	県道介良赤国線（竹中～物部）に街路灯を設置してほしい	1
	高月タクシーから西の道路の整備	1
	高知東道路に接続するトンネルの開通をして欲しい	1
	国道 55 号線を U ターン禁止に	1
	国分周辺の道路整備	1
	市役所裏の道路整備に疑問	1
	舟入川沿いの道路の整備	1
	十市パークタウンから新鮮館東側へ抜ける橋の整備	1
	渋滞の解消	1
	人口増に対応した道路の整備	1
	大桶交差点への右折車線設置	1
	道路の整備は完結してほしい	1
	道路の補修	1
用排水路の整備	1	
	計	29
公共交通機関	空港へのアクセス向上	1
	交通の利便性向上	1
	終電時間を延ばしてほしい	1
	中山間地域の交通の利便性向上	1
	計	4
上・下水道	下水道の整備	6
	下水道の拡張	2
	安全な水を供給してほしい	1
	市全体の下水道整備	1
	水道の整備	1
	南国市全域への浄化槽の設置	1
	計	12
ごみ・し尿・リサイクル	ごみステーションの違反の取り締まり徹底	1
	ごみ収集場の整備	1
	ゴミ袋をより安くしてほしい	1
	市民のゴミ出しのマナー改善	1
	市民の清掃活動への積極性が足りない	1
	計	5

項目	自由意見	意見数
自然環境	自然環境の保護	2
	山林田園風景の残る市に	1
	自然が少なく寂しい	1
	森林伐採に反対	1
	豊かな自然を大切にしてほしい	1
	計	6
河川・海岸	河川の整備	2
	台風に備えた河川水路の整備	1
	津波や洪水などの防災対策	1
	計	4
公園・緑地	ピクニックの出来るようなきれいな公園を作って欲しい	1
	公園・緑地の整備	1
	公園の充実	1
	子どもが遊べる公園の充実	1
	誰もいない公園が目立つ	1
	計	5
消防・防災、防犯・交通安全	火災のサイレン後、放送が聞こえない	1
	街灯の整備	1
	危険箇所の整備	1
	救急車の適正配置	1
	交通安全設備の整備	1
	交通安全対策の充実	1
	信号機の設置	1
	南国市役所前に信号機を設置してほしい	1
	夜中のバイクの騒音取り締まり強化を	1
		計
その他	ダムの水質をきれいにしたい	1
	マンション・アパート建設が多すぎる	1
	マンション建設が多すぎる	1
	空港周辺の生活環境全般の見直し	1
	景観の保護	1
	鶏舎の公害対策	1
	桜並木がほしい	1
	市営住宅の家賃の見直し	1
	市街地の整備	1
	市内の環境美化	1
	捨て犬などペット問題対策を	1
	静かな環境を守って欲しい	1
	駐車場の充実	1
	クリーニング工場の騒音・臭気対策	1
	安全な環境づくり	1

項目	自由意見	意見数
	電子情報網の拡大	1
	遊休施設などの有効活用	1
	計	17

教育・文化・スポーツ分野

項目	自由意見	意見数
教育施設・内容	各種教育施設の充実	1
	学校にフェンスをとりつけて欲しい	1
	教育・教育関係施設の充実	1
	教育の充実	1
	土日など休校時の児童の受け入れ施設の整備	1
	計	5
文化活動・施設	文化施設の充実	7
	図書館の充実	4
	図書館の整備	2
	図書館・文化ホールの建設	1
	図書館その他の文化施設の充実	1
	図書館の駐車場の整備	1
	図書館の立地が悪い	1
	総合コミュニティセンターの整備	1
	文化ホールの拡充	1
	文化ホールの整備	1
	文化施設の整備	1
		計
スポーツ活動・施設	スポーツ施設の充実	1
	計	1
国際交流・地域間交流	地域の結束力向上を	1
	計	1
その他	イベントの開催場所は交通の利便性などを考慮してほしい	1
	ボランティア活動の拠点となるような会館の整備	1
	学生ボランティアの制度化	1
	計	3

保健・医療・福祉分野

項目	自由意見	意見数
保健・医療	医療施設の充実	1
	計	1
児童福祉・子育て支援	子育て支援の充実	3
	エンゼルプランに力を入れて欲しい	1
	公立幼稚園の整備	1
	高齢者の経験を生かし、健全な子育てを	1
	子どもが安心して暮らせるまちづくりを	1

項目	自由意見	意見数
	市立幼稚園の拡充	1
	母子家庭への援助を増やして欲しい	1
	計	9
障害者福祉	障害者福祉の充実	2
	計	2
高齢者福祉	介護判定の基準を明確に	1
	介護福祉サービスの充実	1
	介護保険の見直し	1
	高齢者が安心してくらせるようにしてほしい	1
	高齢者のための環境整備	1
	高齢者福祉の充実	1
	計	6
その他	少子化対策の充実	2
	児童虐待に関するカウンセリングケアの人材の育成	1
	福祉の充実	1
	計	4

産業分野

項目	自由意見	意見数
水産業	うなぎの稚魚の水際捕獲の全面禁止	1
	計	1
農林業	ブランドづくりなどによる農業の振興	1
	休耕地の見直し	1
	行政が農林業を支援して欲しい	1
	小・中学生に自然や農業の大切さを教え、農業後継者の育成をしてほしい	1
	農業後継者の育成	1
	農業用水路の整備	1
	法人による農林業促進	1
	用水路の整備等による農業振興	1
	計	8
商工業	商店街の充実	2
	旧商店街区域の再開発	1
	景観に配慮した商店街の整備	1
	後免町の商店街の再開発	1
	工業の騒音、用水垂れ流しの監視	1
	商店街の再開発	1
	大人向けレジャー施設が多すぎる	1
	地場産業育成による特色有る工業地域の整備	1
	北部に大型スーパーが欲しい	1
	計	10

項目	自由意見	意見数
観光・レクリエーション	花火大会の開催場所を交互に変えてほしい	1
	観光業の振興	1
	観光名所の整備	1
	市内の案内図の充実	1
	計	4
雇用対策・企業誘致	雇用の場の確保	2
	若者の雇用の場の確保	2
	科学者の活躍出来る場の拡充	1
	企業誘致による税収の確保	1
	定年退職後の雇用対策の整備	1
	計	7
その他	パチンコ店が多すぎる	1
	産・学・行の連携強化	1
	産業の振興	1
	場外馬券場などをなくしてほしい	1
	計	4

行財政・その他分野

項目	自由意見	意見数
住民サービス・住民負担	税金が高い	5
	税金を安くしてほしい	3
	行政サービスについてNPOとの協働、連携を図ってほしい	1
	市役所のサービス時間の延長	1
	手軽に住民票を取り出せるようにしてほしい	1
	住民サービスの向上	1
	土日の住民サービスの実施	1
	計	13
職員	職員の資質向上	8
	公務員と一般社員の給料差を縮めてほしい	1
	市役所庁舎に活気を	1
	職員のボランティア活動参加	1
	職員の対応の改善	1
	職員は市内に居住し、公共交通機関で通勤するべき	1
	職員を能力給に	1
	職員数の適正化	1
	職員用駐車場は有料にするべき	1
計	16	
議員	議員に関する情報公開	1
	議員定員と給料の削減・報酬特権の見直し	1
	議員の定数・給料・報酬の見直し	1
	計	3
公共施設	市役所の駐車場の整備	2

項目	自由意見	意見数
	公共施設の充実	1
	公共施設は全館禁煙に	1
	公共施設は中心地に作って欲しい	1
	市役所の出入り口の整備	1
	温泉などの施設の充実	1
	足を運びやすい市役所づくり	1
	市役所内は禁煙にすべき	1
	計	9
行財政	行政のスリム化	2
	税金徴収の徹底	2
	「市民の声」を拾い上げる仕組みづくり	1
	高齢者、障害者、子どもにやさしい行政	1
	高齢者にやさしい行政を望む	1
	財政の再建	1
	市を発展させてほしい	1
	市民の声を取り入れた行政を望む	1
	住民のための行政を望む	1
	重点施策に徹底して取り組んで欲しい	1
	税金・公共料金の徴収の徹底	1
	税金の有効活用	1
	大胆な行政改革	1
	地球環境保護のための取り組み	1
	低所得者のことも考えて欲しい	1
	南国市民憲章の実現	1
	不公平のない行政	1
	役所的発想の転換と民間思考の取り入れ	1
	計	20
まちづくり	計画的なまちづくり	4
	高齢者と子供が暮らしやすいまちづくり	2
	ハイビスカスなど熱帯(亜熱帯)にふさわしい花で、インパクトのある街づくり	1
	安心して子どもを育てられるまちづくり	1
	安心して生活できるまちづくり	1
	安心安全なまちづくり	1
	安全で住みやすいまちづくり	1
	皆が笑顔で暮らせるまちづくり	1
	環境のよい豊かなまちづくり	1
	計画的なまちづくり	1
	計画的な都市開発	1
	計画的な土地利用に基づいたまちづくり	1
	交通弱者にもやさしいまちづくり	1
	おだやかで住みよいまちづくり	1

項目	自由意見	意見数
	子どもから大人まで全ての人が住みやすく、楽しく暮らせるまちづくり	1
	子どもが安心して暮らせるまちづくり	1
	市が主導のまちづくり	1
	市民の意見をとりいれたまちづくり	1
	治安のよい安全なまちづくり	1
	自然あふれるまちづくり	1
	自然環境と共生したまちづくり	1
	住みたいと思えるまちづくり	1
	住みよいまちづくり	1
	住民参画のまちづくり	1
	特徴のあるまちづくり	1
	文化施設を備えた、南国市中心部の再開発	1
	豊かな自然を生かし、健康で文化の香り高い住みやすいまちづくり	1
	計	31
定住対策	若者の定住化対策	2
	定住対策の促進	1
	計	3
地域格差	市の東方面も発展させてほしい	1
	地域各格差をなくしてほしい	1
	計	2
その他	アンケートは予算の無駄使い	1
	アンケートを有効活用してほしい	1
	このアンケートを生かして欲しい	1
	回覧はやめて広報を充実してほしい	1
	計画については3～5年後に検証し、広報すべき	1
	個人情報開示に反対	1
	公共事業の計画性向上とスピード化	1
	公募による審議会の開催を	1
	市長に頑張ってほしい	1
	市民の声を取り入れて欲しい	1
	住基ネットに反対	1
	食文化の見直し	1
	団体のネットワーク化を図る	1
	男女共同参画の実現	1
	同和地区の空き家が目立つ	1
	南国市健康づくりの成果について教えてほしい	1
	計	16

合併について

項目	自由意見	意見数
合併について	高知市との合併を検討してほしい	1
	高知市との合併検討を	1
	市町村合併に取り組むべき	1
	計	3
	総計	294

南部（112件）

生活環境・基盤分野

項目	自由意見	意見数
道路	道路建設の見直し	2
	街灯の整備	1
	緊急車両が進入できるような道路の整備	1
	黒潮ライン等の道路の美化	1
	生活道路の整備	1
	道路の整備	1
	緑ヶ丘の足ヶ谷の坂に街灯を	1
		計
公共交通機関	交通の利便性向上	1
	計	1
上・下水道	下水道・排水処理施設の整備	1
	下水道の整備	1
	水道の整備	1
	計	3
ごみ・し尿・リサイクル	正しいゴミ処理の徹底	1
	計	1
自然環境	自然環境の保護	2
	環境保全	1
	排気ガスの削減	1
	計	4
河川・海岸	河川の整備を工夫してほしい	1
	海岸の砂浜の浸食が不安	1
	川と海をきれいに	1
	計	3
公園・緑地	公園の充実	1
	大規模な公園・緑地の整備	1
	計	2
消防・防災、防犯・交通安全	災害時連絡網の整備	1
	地震に備えた国土調査の実施	1
	地震に備えた防災システムの充実	1
	防災対策の充実	1
	防犯対策に力を入れて欲しい	1
	計	5
その他	「野吹き」禁止の徹底	1
	水田へおいてある土を移動してもらいたい	1
	市役所周辺をきれいな街並みに	1
	計	3

教育・文化・スポーツ分野

項目	自由意見	意見数
教育施設・内容	教育の充実	1
	若者の育成に力を注ぐべき	1
	中学校にも給食を取り入れてほしい	1
	計	3
文化活動・施設	図書館の充実	2
	文化施設の充実	2
	図書館の整備	2
	公民館の充実	1
	図書館・文化ホールの建設	1
	計	8
スポーツ活動・施設	国体施設の有効活用	1
	計	1

保健・医療・福祉分野

項目	自由意見	意見数
児童福祉・子育て支援	子育て支援の充実	1
	働く女性への子育て支援の充実	1
	保育の充実	1
	保育料金の見直し	1
	計	4
高齢者福祉	高齢者に対するサービスの充実	1
	高齢者福祉の充実	1
	地域ぐるみでの独居老人の支援	1
	計	3
その他	高齢者が活躍できる場の充実	1
	手当が必要な人に必要な分だけ届くようにすべき	1
	福祉の充実	1
	計	3

産業分野

項目	自由意見	意見数
水産業	漁業の振興	1
	計	1
農林業	香長平野の農業活性化	1
	農業の振興	1
	農道の整備	1
	計	3
商工業	御免町の商業の活性化	1
	商業の振興	1
	計	2

項目	自由意見	意見数
観光・レクリエーション	海岸線を観光スポットに	1
	計	1
雇用対策・企業誘致	企業の誘致	1
	高齢者の雇用の場の確保	1
	若者の雇用	1
	若者の雇用の場の確保	1
	計	4
その他	農林水産業の高齢化対策	1
	計	1

行財政・その他分野

項目	自由意見	意見数
住民サービス・住民負担	税金が高い	2
	市役所の窓口業務の時間の延長	1
	申請・届出等の手続きの利便性の向上を	1
	市役所のサービス時間の延長	1
	計	5
職員	職員の資質向上	3
	だれが職員かすぐ分かるようにすべき	1
	職員の給料の見直し	1
	職員は民間並みに働くべき	1
	職員定数の決定は外部協議を通して決めるべき	1
	職員の適正配置	1
	計	8
議員	議員の報酬の見直し	1
	議員数の削減	1
	計	2
公共施設	三和地区の公共施設整備	1
	市役所の駐車場の整備	1
	計	2
行財政	よく検討した上で各事業を行ってほしい	1
	行政のスリム化	1
	市の税財源増を図るべき	1
	市民に優しい行政であってほしい	1
	自然の中で豊かに暮らせる施策を	1
	住民に分かりやすい行政を	1
	住民のための行政を望む	1
	人・物の適正配置	1
	民間委託の推進及びNPO・ボランティア支援	1
	無駄な公共事業の中止	1
	無駄のない行財政運営を	1
	計	11

項目	自由意見	意見数
まちづくり	各地区の声を取り入れた、バランスのとれたまちづくり	1
	活気のあるまちづくり	1
	環境に配慮したまちづくり	1
	計画的なまちづくり	1
	現バイパス、新計画東部道路線上を中心として南北に計画的まちづくり	1
	高齢者の住みよいまちづくり	1
	自然を活用した豊かで明るいまちづくり	1
	質素なまちづくり	1
	住民参画のまちづくり	1
	平等なまちづくり	1
	魅力のあるまちづくり	1
	立地条件を活かした市街地の再開発	1
		計
定住対策	若者の定住化対策	2
	少子化対策・結婚支援	1
	定住促進	1
	計	4
地域格差	地域格差をなくしてほしい	1
	計	1
その他	住民の意見を取り入れた総合計画を作成すべき	1
	農協病院・消防跡地の有効利用	1
	副県都では寂しい	1
	計	3
	総計	112

不明（19件）

生活環境・基盤分野

項目	自由意見	意見数
道路	街灯の整備	1
	歩道の整備	1
	計	2
公共交通機関	空港までのアクセス向上	1
	計	1
ごみ・し尿・リサイクル	ごみ捨て場の整備	1
	計	1
消防・防災、防犯・交通安全	地震対策を早急に行って欲しい	1
	計	1
その他	飛行機の騒音対策を	1
	計	1

教育・文化・スポーツ分野

項目	自由意見	意見数
教育施設・内容	教育レベルの引き上げ	1
	計	1
国際交流・地域間交流	地域連携の充実	1
	計	1

産業分野

項目	自由意見	意見数
商工業	商店の充実	1
	計	1

行財政・その他分野

項目	自由意見	意見数
職員	職員の資質向上	2
	職員の給与見直し	1
	職員数の削減	1
	計	4
議員	議員定数の削減	1
	計	1
公共施設	市役所の美化	1
	市役所ロビーの照明を明るく	1
	計	2
行財政	住民のための行政を望む	1
	計	11
まちづくり	ベッドタウンとしてのまちづくり	1
	住民が協力してまちづくりを	1
	計	2
	総計	19